

島根県高等学校PTA連合会

高校生総合補償制度

当制度は島根県高等学校PTA連合会において生徒の安全な学校生活のために平成7年度から導入されている補償制度です。

損害保険会社の使命と社会的責任（CSR）



CSR活動のテーマは『子ども』。社会生活の中のあらゆるリスクと向き合う企業として、世界の未来を担う『子どもたちの未来』を支援していくことが、私たち損害保険会社の果たす責任であると考えています。



制度引受保険会社

【幹事会社】 **AIG損害保険株式会社 山陰支店**



〒690-0006

島根県松江市伊勢宮町519-1 松江大同生命ビル6F

TEL : 0852-26-2781 (受付時間 9:00~17:00 土日祝日、年末年始を除く)



AIG損害保険会社は経済産業省の実施する健康経営優良法人認定制度における『健康経営優良法人2020（大規模法人部門）』の認定法人です。

えん ご縁づくり

～新たな明日への礎のために～

目次

島根県の歴史	2	分科会	
島根県の食文化	3	第1分科会	34
島根県の観光	4	第2分科会	36
島根県の伝統工芸	7	第3分科会	38
島根県の伝統芸能	8	第4分科会	42
「島根大会」ポスター&シンボルマーク	9	第5分科会	45
近年10年の全国大会の歩み	10	第6分科会	48
大会概要		表彰	
ご挨拶 全国高P連会長 泉満	12	第70回全国大会会長表彰個人名簿	52
歓迎のことば 実行委員会会長 大屋光宏	13	第70回全国大会会長表彰団体名簿	53
祝辞 島根県知事 丸山達也	14	第70回役員等表彰者個人名簿	54
開催地からのご挨拶 松江市長 上定昭仁	15		
祝辞 出雲市長 飯塚俊之	16	アトラクション	
祝辞 安来市長 田中武夫	17	アトラクション学校紹介	56
祝辞 雲南市長 石飛厚志	18		
大会概要	19	資料	
大会日程・大会内容・会場等	20	歴代会長名	62
会場へのアクセス	21	年次別全国大会一覧	63
大会役員名簿・実行委員会名簿	23	令和3年度役員名簿	68
実行委員会組織図	24	令和3年度委員会名簿	69
		都道府県市高等学校PTA連合会一覧	70
		京都大会決算報告書	74
全体会			
全体会 記念講演	28	協賛企業	76

島根県の歴史



豊かな古代文化

島根県は出雲・石見・隠岐の三国から成り立っています。神話の舞台となった出雲は、出雲大社をはじめ数多くの古社があり、太古の神々の歌が聞こえてくるようです。また、出雲国風土記(いずものくにふどき)の巻頭を飾る「国引き」の神話は古代出雲びとの壮大なロマンを語っています。

石見には万葉の歌人柿本人麻呂(かきものひとまる)が国司として赴任し、石見の美しい情景を妻への想いととも情熱的にうたいあげました。

日本海に浮かぶ隠岐には、都びとの流人とともに中央文化が流入し、数々の貴重な伝統文化を残しています。このように古代の島根は、豊かな文化に彩られています。



荒神谷遺跡(出雲市斐川町)

尼子氏の出現

鎌倉幕府が成立すると、全国に守護が置かれましたが、出雲、石見、隠岐の守護はいずれも近江の佐々木氏でした。彼らとその一族の多くは、それぞれ土着して有力在地領主となりましたが、石見守護は承久の乱に京方となって敗れたため、以後は在地土豪の益田氏が実質的な守護となりました。

室町時代になると、出雲、隠岐守護には京極(きょうごく)氏、石見には大内氏が任じられましたが、応仁の乱後、下剋上の風潮が一段と強まり、富田(とだ)城(広瀬町)を拠点とする京極氏の守護代尼子(あまこ)氏が急速に強大化し、奥出雲の砂鉄や石見銀山を手に入れて、16世紀初めの最盛期には山陰、山陽にまたがる大戦国大名に成長しました。しかし、間もなく衰退の色を強め、永禄9年(1566)安芸(あき)の毛利元就(もうりもとゆき)によって滅ぼされました。



月山富田城跡(安来市広瀬町)

近世の状況



世界遺産 石見銀山 龍源寺間歩(大田市)

関ヶ原の合戦後、出雲、隠岐の太守として入国した堀尾吉晴は、富田城を廃して松江に築城しました。その後、寛永15年(1638)徳川家康の孫、松平直政が入城して親藩松江藩が誕生し、明治維新まで続きました。その間、広瀬、母里の2支藩が成立しています。茶人大名で有名な7代藩主治郷(はるさと)(不昧(ふまい))のとき、藩政改革に一応成功しましたが、幕末の激動期にはその対応に苦しみ、維新政府による鎮撫使(ちんぷし)の派遣を受けました。

石見は銀山領(天領)、浜田藩、津和野藩から成っていますが、石見銀山は17世紀前半最盛期を迎え、わが国最大の産出量を誇りました。浜田藩主は複雑に代わりましたが、幕末には親藩松平家となり、そのため、第2次長州征伐に際し、長州の攻撃を受け、浜田城は炎上しました。津和野藩は坂崎出羽守に次いで亀井氏が藩主となりましたが、幕末には長州と結んで倒幕運動に参加しました。

隠岐は天領に編入されましたが、松江藩預かり地の時代が長く、藩代官の支配を受けました。そのため維新时期には島民の不満から隠岐騒動が起こりました。

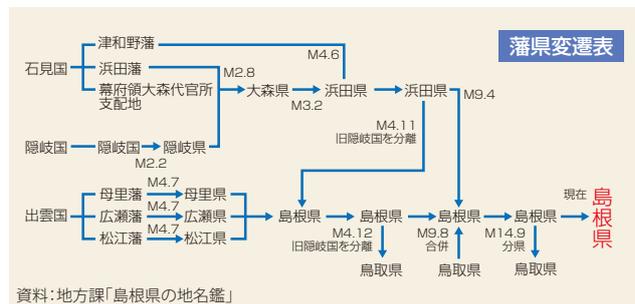
島根県の誕生

明治維新期の行政区域は、複雑に変わりました。まず明治2年(1869)2月隠岐県が成立、8月には浜田藩と隠岐県を含めた大森県が生まれましたが、翌3年2月浜田県と改称され、4年(1871)6月には津和野藩も浜田県に編入されました。

一方、出雲では明治4年の廃藩置県により、7月に松江、広瀬、母里の3県が成立しましたが、11月には3県合併して島根県が生まれました。この年12月には、いったん島根県に編入されていた隠岐が鳥取県に移りました。明治9年(1876)4月には浜田県が島根県に編入、次いで8月には鳥取県も合併され、ここに出雲、石見、隠岐、伯耆、因幡5カ国をあわせた大島根県が誕生しましたが、5年後の明治14年(1881)9月、鳥取県が再置されて、現在の島根県が誕生しました。

島根県の県名は、明治4年(1871年)11月に名付けられました。県庁所在地(松江市)が古くは島根郡(出雲国の東北部、島根半島の東部)に属していたためだとされています。島根郡という地名は、『出雲国風土記』に「島根と号くる所以は、国引き坐しし八束水臣津野命の詔りたまひて、名を負せ給

へるなり、故、島根と云ふ」とあり、八束水臣津野命によって名付けられたとされています。また、それまでの県名(松江県)が使われなかったのは、明治維新の際に松江藩が倒幕に消極的な立場をとったためであると言われています。なお、島根という言葉は島または島国の意味で、根は島に付く接尾語です。

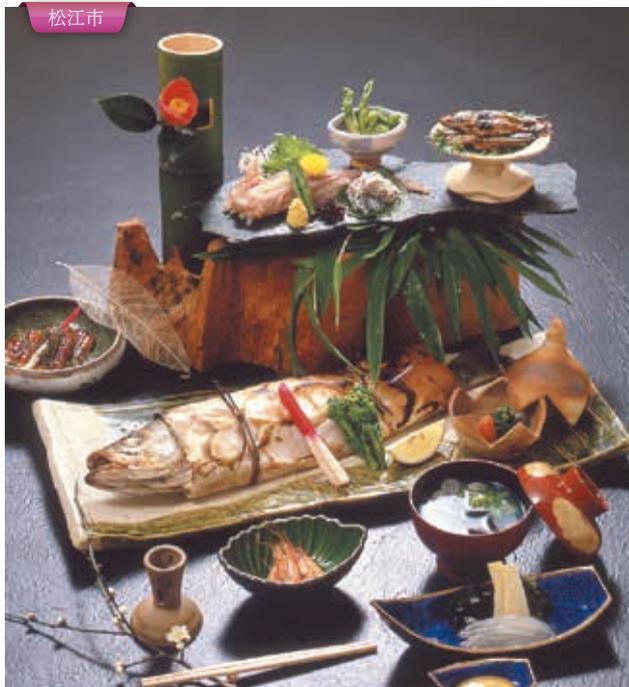


島根県の食文化

恵まれた自然風土のなか、豊かに発展してきた島根の食をご紹介します。

特集

島根県の食文化



松江市

しんじこちっちゃん

宍道湖七珍

宍道湖は、周囲約45km、全国で7番目に大きい湖です。わずかに塩分を含む汽水湖のため魚種が豊富で、宍道湖で獲れる魚介の中で代表的な「スズキ、モロゲエビ、ウナギ、アマサギ、シラウオ、コイ、シジミ」を宍道湖七珍と呼びます。スズキの奉書焼き、しじみ汁等の料理は松江を代表する味覚として有名です。



出雲市

いずもそば

出雲そば

そばの実を黒い甘皮ごと挽く「挽きぐるみ」という独特の製法でつくられた蕎麦です。色が黒く香り豊かで強いコシがあり、そば本来の甘みを味わえます。米の代わりに粥や団子で食べていたそばが麺になったのは江戸時代と言われています。茶人大名の松江藩主松平不昧公は挽きぐるみの自然な風味を気に入って、茶懐石にもとりいれました。



大田市

はこずし

箱寿司

箱寿司は、お祭りの時には欠かせない味で昔は各家庭に箱寿司を作るための専用の木枠があり、地域のお祭りなどの祝いの席にふるまいました。ご飯、具材、ご飯、錦糸卵の順番で木枠に入れ、上から圧をかけることで形成していく、いわゆる押し寿司で、肉や魚などは使わず、具材は人参、かんぴょう、しいたけ、油揚げ、ストかまなどを細かく切って、甘辛く炊いたものを使います。



松江市

ほてほてちゃ

ぼてぼて茶

茶筥で泡立てた番茶の中に、おこわ、煮豆、きざんだ高野豆腐や漬物などを入れ、箸を使わず、茶碗の底を軽くたたき、片側に寄せた具をお茶と共に一気に口に放り込むように食べます。お茶を泡立てるときの音がぼてぼてと聞こえたことからその名がついたといわれ、仕事の合間に立ったまま食べられる間食や非常食として根付いたとされています。



雲南市

やきさば

焼き鯖

島根県雲南地方は、山間部にありながら、海の幸を使った「焼サバ」が名物です。その理由は、冷蔵方法がない時代に、生のサバを輸送できる限界地点だった雲南地方で焼いて加工し、さらに奥の山間地域に届けたことにあるようです。



松江市

ちゃとわかし

茶と和菓子

松江は、「日本三大和菓子処」としても有名です。お茶と切っても切り離せないお菓子も同じく、松平不昧公の茶人としての活躍により発展したといえます。松江の三大銘菓である「若草・山川・菜種の里」は、不昧公が好んだ和菓子として受け継がれています。



津和野町

うずめし

うずめ飯

うずめ飯は一見、お茶漬けのようですが、ご飯をすくうと、ワサビの清涼感のある香りとともに、さまざまな具材が現れるのが特徴です。江戸時代に、ぜひたくを嫌った津和野藩主の目を気にして、具をご飯に「埋め」たことが由来の一つとして伝わっています。



松江市・出雲市

あごのやき

あご野焼き

飛魚(あご)の新鮮なすり身に、出雲地方に伝わる「地伝酒」を加えた調味料を練りこみ、金ぐしに筒状に塗りつけ、炭火で香ばしく焼き上げます。外皮の香ばしさ、あごの身に練り込まれた酒気の瑞々しい食感などが美味しさの特徴です。



隠岐の島町

おきべこ

隠岐ベコ

隠岐ではアメフラシのことをベコと呼びます。食習慣が残る地域は全国でもごく一部です。内臓を取って下茹でし、写真のしょうゆ煮や、酢味噌で和えていただきます。ベコ自体の味はほぼなく、食感を楽しまます。

島根県の観光

～日本海に沿って東西に長い島根県には、地域ならではの見所があふれる～

松江市



ほりかわゆうらんせん

堀川遊覧船

松江城を囲む約3.7kmの堀川を、小舟でゆったりと巡る観光遊覧船。船頭さんのガイドを聞きながら、松江城天守閣をはじめ、武家屋敷、塩見縄手など、歴史や風情のあるスポットを巡ります。



こくほう まつえじょう

国宝 松江城

松江開府の祖、堀尾吉晴公が築城した松江城は、千鳥が羽根を広げたように見える入母屋破風の屋根が見事なことから、別名「千鳥城」とも呼ばれています。天守閣からは、360度松江の町を見渡すことができます。2015年7月国宝に指定されました。

特集

島根県の観光



しんじこ

宍道湖

日本国内で7番目に大きい湖。有数の渡り鳥の飛来地でもあり、数多くの野鳥を見る事ができます。また、宍道湖の美しい夕景は「夕日百選」に選定されています。宍道湖で獲れる宍道湖七珍は、島根の代表的な郷土の味覚です。



ゆうしえん

由志園

牡丹、花菖蒲、紅葉、寒牡丹など、四季折々の花々と緑に彩られた1万坪の回遊式日本庭園。年中牡丹が咲く室内庭園「牡丹の館」や、島の誕生の様子がうかがえる「熔岩庭園」など、見どころ満載です。



まつえふおーげーるぱーく

松江フォーゲルパーク

松江フォーゲルパークは、花と鳥の楽園です。国内最大級の展示温室では約1万株の花々が年中満開に咲き誇ります。

また、2つの鳥の温室をはじめ園内各所で約90種におよぶ世界中の鳥たちと出会えます。



やえがきじんじや

八重垣神社

八重垣神社は、日本最古の短歌とも言われる古歌「八雲立つ出雲八重垣妻ごみに八重垣つくるその八重垣を」に由来する神社です。「鏡の池」は、全国から訪れる人が絶えることがないパワースポットとして定着しています。

安来市



あだちびじゅつかん

足立美術館

5万坪の日本庭園と横山大観をはじめとする近代から現在の日本画、陶芸など日本有数の美術品を鑑賞できます。主庭の「枯山水庭」をはじめとした多様な庭園は米誌ランキングで「18年連続日本一」に選ばれています。



きよみずでら

清水寺

用明天皇即位2年(587)尊隆上人により開基されたと伝えられています。戦国時代の合戦で本堂以外は焼失しましたが、江戸時代に復興されました。境内には本堂をはじめ県や国の重要文化財が数多くあり、三重塔は山陰唯一の木造の多重塔であり、総けやき造りの美しい姿に圧倒されます。



がつさんとだじょうあと

月山富田城跡

尼子氏の本城として築かれ、当時はその地勢を活かした設計により、戦国時代屈指の難攻不落の名城として名を馳せていましたが、度重なる毛利氏の猛攻の前に落城し、今は当時を偲ぶ遺構がわずかに残るだけです。艱難辛苦に耐える悲運の武将、山中鹿介のいた城としても有名です。

出雲市



いづもひのみさきとうだい
出雲日御碕灯台

日御碕は島根半島の西端、日本海を望む景勝地です。大山隠岐国立公園にも含まれており、南方に浮かぶ経島の「経島ウミネコ繁殖地」は、国の天然記念物に指定されています。その岬に建つのが、石作りの灯台としては日本一の高さを誇る「出雲日御碕灯台」です。



しまねけんりつこたさいづもれきしはくぶつかん
島根 古代出雲歴史博物館

荒神谷遺跡の銅剣(国宝)358本や、1か所からの出土数では全国一の加茂岩倉遺跡の銅鐸39個(国宝)、そして13世紀半ばのものと思われる出雲大社本殿の宇豆柱(重要文化財)等を展示。また、「神話シアター」では、神話をわかりやすく大迫力の映像で楽しんでいただけます。



いづもおおやしろ

出雲大社

©拝殿

縁結びの神様「大国主大神」で有名な出雲大社。毎年神在月の頃になると、日本各地の神々が出雲大社に集まり、色々な「縁」を結ぶ「神議り」を行うそうです。御本殿は「大社造り」と呼ばれる日本最古の神社建築様式で建てられており、国宝に指定されています。



すさじんじや
須佐神社

オロチ退治で有名なスサノオ命を祀り、パワースポットとして注目されています。出雲大社とともに縁結びの神様としても知られ、ご縁を求めて多くの参拝客が訪れています。本殿の裏手には、樹齢約1200年の大杉がそびえ、その強い生命力と神聖な雰囲気包まれます。



奥出雲町

すなのうつわきねんひ

砂の器記念碑

松本清張の「砂の器」は、昭和35年読売新聞に掲載された推理小説の傑作でベストセラーとなりました。「亀嶽」の地名とズーズー弁が推理の鍵をにぎり、この地方がひろく知られるきっかけとなりました。記念碑は、湯野神社参道入り口に昭和58年松本清張の揮毫により建立されました。



とろっこれっしや「おくいずもおろちごう」

トロッコ列車「奥出雲おろち号」

出雲神話のオロチ伝説が息づく神秘とロマンあふれる奥出雲と備後落合を結ぶ、トロッコ列車。ガラスや壁のない、大きく開放された窓からは心地よい風が通り抜け、そこから見る絶景は観光客の人気を集めています。



いはらきねんかん

絲原記念館

約400年の歴史をもつ絲原家は、藩政期には松江藩内の9鉄師の一人として鉄師頭取も勤めました。白壁土蔵造りの趣のある記念館には絲原家が伝承してきた美術工芸品やたたら製鉄資料などが展示されています。



かべやしめうせいかん

可部屋集成館

可部屋はタタラ製鉄業を営み、江戸時代、松江藩の鉄師頭取役をつとめ、下郡役を申しつけられていた櫻井家の屋号です。タタラ関係資料、不昧公直筆の掛軸、古文書をはじめ、当家で常用された調度品、武器、あるいは同家を訪れた文人墨客の美術工芸品約4,500点を収蔵し公開しています。



おにのしたふるい
鬼の舌震

斐伊川の支流馬木川の急流で削られた3kmにわたる大渓谷です。V字谷の左右には、大天狗岩、小天狗岩などの岩壁が屹立しています。谷のいたるところには、はんど岩や亀岩、千疊敷、天狗遊岩、畳石など風化や水食による奇岩や怪岩が横たわり、河底には大小の罅穴群がみられます。



大田市

さんべさん

三瓶山

島根県のほぼ中央に位置し、アウトドアの好適地として県内外から多くの人が訪れています。中国地方随一の自噴量を誇る三瓶温泉をはじめ、小屋原温泉、湯抱温泉など温泉も豊富に湧出しているため、日帰りで楽しむだけでなく、滞在型の観光にも適しています。

大田市



おもりのまちなみ

大森の町並み

江戸時代の武家屋敷や代官所跡、石見銀山で栄えた豪商・熊谷家住宅など、歴史的な建造物や文化財が並び、当時の面影を残す大森の町並みです。

にまさんどみゅーじあむ

仁摩サンドミュージアム

キュッキュと鳴る「鳴き砂」で有名な琴ヶ浜の地域資源を活用したミュージアム。特徴的な大小6つのガラスのピラミッドは、最も大きなもので高さ21mもあります。その内部には高さ5.2m、直径1mの世界最大の一年計砂時計「砂暦」が時を刻んでいます。

邑南町



だんぎょけい

断魚渓

昭和10年に国の名勝に指定された延長約3.6kmの渓谷で、峡底一面に大岩盤が露出して千畳敷を形成し、その中には幅およそ1~2mの自然の水路、祝川が形成されています。その祝川が流れて神楽淵に落ちるところに有名な断魚の淵があります。

津和野町



たいこだいにいなりじんじや

太鼓谷稲成神社

津和野の町から城山の方向を眺めると、朱塗りの鳥居がぎっしりと並んだ参道が見え、その先に日本五大稲荷の一つに数えられる太鼓谷稲成神社があります。安永2年、津和野七代藩主亀井矩貞が城の鎮護と領民の安穩を願って、京都伏見稲荷から齋き祀ったのが始めです。

西ノ島町



くがいがん

国賀海岸

隠岐を代表する景勝地です。海面から300mの高さにそそり立つ断崖と、日本海の雄大な景色は見るものを圧倒します。対照的に、丘の上では牛や馬が放牧され、のどかな風景が広がります。また、国賀巡りができる定期観光船もあるので、海上から眺めるのもおすすめです。

おきのうしつき

隠岐の牛突き

古くから隠岐に伝わる「牛突き」。承久の乱(1221年)で隠岐へ流刑になった後鳥羽天皇を慰めるために始まったとされ、今では観光用に定期で開催されるほか、年に3回「牛突き」の大会が開催されています。体重が1t近くの牛同士の取り組みは、まさに手に汗握る迫力です。

浜田市



しまねかいようかんあくあす

しまね海洋館アクアス

中四国最大級の水族館で約400種1万点もの生物を展示しています。シロイルカによる「幸せのバブルリング®」は、全国的にも有名となりました。ほか、アシカとアザラシのパフォーマンスも開催しています。

益田市



ひきみきょう

匹見峡

匹見川の上流から延長約4kmにわたって広がる渓谷で、滝や深淵が連なり、巨岩怪石が多く「魚飛」に始まる20有余の奇景が連続しています。両岸には多数のキシソツジが群生しています。匹見峡を代表する景観であり、西中国山地国定公園に指定されています。

もりおうがいきゅうたく

森鷗外旧宅

もりおうがいきねんかん

森鷗外記念館

森鷗外記念館は、独立した鷗外の専門的な記念館としては世界で初めてのものです。国指定史跡・森鷗外旧宅の南側に隣接し、鷗外旧宅を展示物の一部として取り込んでいます。

隠岐の島町



ろーそくじま

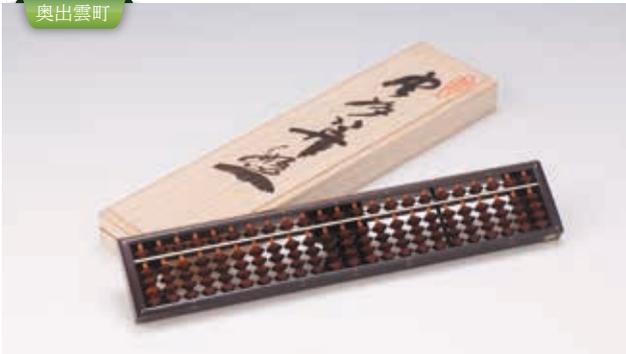
ローソク島

高さ20mの岩の頂点に夕日が落ちるとき、さながらローソクにかりが灯ったように見えるので、「ローソク島」と呼ばれ、夕景スポットとして大人気。まさに大自然が作り出した芸術作品です。「ローソク島遊覧船」に乗って、海上から夕日を眺めるのもおすすめです。

島根県の伝統工芸

島根の暮らしに息づく伝統工芸をご紹介します。

奥出雲町



雲州そろばん(うんしゅうそろばん)

天保元年(1830年)頃、亀嵩の大工・村上吉五郎を祖とし、梅の木の芯を珠に、芯竹はスズ竹、枠は樺の木を使い作られたのが始まりと言われています。堅牢で使い易く全国に知られている雲州そろばんは、昭和60年、国の伝統的工芸品に指定されました。

浜田市



石州和紙(せきしゅうわし)

万葉歌人柿本人麻呂により奈良時代から始まったとされ、良質な「コウゾ」と恵まれた水質により雅味に富む独特の和紙が生産されてきました。特徴は、弾力のある強靱性であるにもかかわらず驚くほどの軽さと柔らかな肌ざわりを持つことです。長期保存に耐えるため、美術工芸や書籍として、また近年は地元の小学生が自分の卒業証書を漉く等、広く利用・愛用されています。平成元年に国の伝統的工芸品に指定されました。

松江市



八雲塗(やくもぬり)

明治時代初期、中国漆器にヒントを得て創案し、出雲の古歌「八雲立つ」より八雲塗と命名されました。塗りこめられた素地に、様々な色調の色漆、青貝金銀粉を用いて文様を描きあげた後、天然透漆を塗り重ね、研ぎ出して仕上げます。年月を経るごとにこの透漆が透明度を増し、描かれた文様が色鮮やかに浮かび上がるのが、他の産地にはない、八雲塗りの最大の特徴です。

松江市



出雲石灯籠(いずもいしとうろう)

宍道町の来待地区で産出する「来待石」は、苔が付きやすく庭園にしつとりと馴染みやすいことから石の美術品として人気があります。江戸時代には、その品質が松江藩(松平直政)によって認められ、藩外持ち出し禁止の「御止石」として保護されていました。昭和51年、石工品で初めて国の伝統的工芸品に指定されました。

松江市



出雲めのう細工(いずもめのうざいく)

めのう製作の縁起は神話の時代までさかのぼり、松江市玉湯町は三種の神器の一つ「八坂瓊勾玉」の発祥の地であるといわれます。玉湯町内にある花仙山から産出する青めのうは古代から勾玉などに加工されており、現在も各種装身具や装飾品として珍重されています。

隠岐の島町



隠岐黒曜石細工(おきくようせきざいく)

黒曜石は、火山から噴出した花崗岩質の溶岩が急速に冷えガラス状に結晶したもので、古代においては、矢じりや刃物など生活文化に深い関係を持っていたとされます。隠岐産の黒曜石は純度が高く純黒の色沢の優美さで知られ純黒であるがゆえに仕上げの研磨ではより高度な技術を要します。従来からある硯・置石などの製作に加え、ネクタイピンやネックレスなどのアクセサリー類の製作も行っています。

島根県の伝統芸能

島根の暮らしに息づく伝統芸能をご紹介します。

特
集

島根県の伝統芸能



隠岐の島町

隠岐国分寺蓮華会舞 (おきこくぶんじれんげえまい)

平安時代から伝承される、宮廷舞楽の流れを汲む民俗芸能の舞が国の重要無形文民俗化財に指定されています。毎年4月21日に奉納公演が行われています。



石見神楽 (いわみかぐら)

石見地方に伝わる伝統芸能。豪華絢爛な衣裳、そして早いテンポで豪快に舞うのが特徴。定期的に公演があり気軽に見ることができます。



松江市

ホーランエンヤ (ほーらんえんや)

10年に一度、約100隻の船が大橋川と意宇川を舞台に一大絵巻を繰り広げる、絢爛豪華大船行列「ホーランエンヤ」。370年の歴史を有す「松江城山稲荷神社 式年神幸祭」の通称で、水の都松江が誇る日本最大級の船神事です。



安来市

安来節 (やすぎふし)

どじょうすくい踊りで親しまれる民謡。「アラエッサッサ」の合いの手とユーモラスな踊りで全国的に有名です。



松江市

美保関諸手船神事 (みほのせきもろたふねしんじ)

出雲の「国譲り神話」にちなんだ神事。大国主命が国譲りの意向を確認するため、美保関で釣りをしていた事代主命(彥ひすすま)を諸手船で迎えに行ったという故事にちなみ、毎年12月3日に行われます。



津和野町

津和野鷺舞 (つわのさぎまい)

津和野町の弥栄神社に伝承される古典芸能神事で、国の重要無形民俗文化財に指定されています。2羽の鷺がゆったりとしたお囃子に合わせ優雅に舞う姿は、津和野町の夏の風物詩です。

「島根大会」ポスター&シンボルマーク



●ポスター



デザイン

島根県立出雲高等学校1年(平成30年度)

新野美琴

作品の趣旨

画面真ん中に向かって手を伸ばしていく構図にすることで「全国からPTA役員が集まり、縁を結ぶ」ことを表しました。稲佐の浜の夕日をバックとし、雲の中に松江城、出雲大社を描くことで島根県の名所いくつかが目で見えるようにしました。また、県花の牡丹で華やかさを添えています。

●大会シンボルマーク



デザイン

島根県立出雲高等学校2年(平成30年度)

若槻穂波

作品の趣旨

島根県の伝統工芸である勾玉、「神話の国」出雲地方に伝わる「因幡の白兔」を描き、過去から未来へと伝わる島根の伝統を表現しました。また、叶結びを大きく描き、ひもを円に形作ることで、今回のテーマである「ご縁づくり」を表現しました。

デザインについて

2020→21には、令和3年に延期となったこの大会に、令和2年の開催をめざして準備に携わったすべての島根県高P連会員の思いを込めています。

近年10年の全国大会の歩み



2010年

第60回東京大会

会場

東京都日本武道館他



大会テーマ 人間力を育てて作ろう 大きな輪
～家庭・学校・地域・社会 心と心をつなげよう～

2011年

第61回北海道大会

会場

北海道立総合体育センター「北海きたえーる」他



大会テーマ いのち 輝け!
～人・夢・愛 ひたむきに頑張る君たちを応援したい～

2012年

第62回和歌山大会

会場

和歌山ビッグホエール他



大会テーマ 和をもって響き合え!
～つれもて広げる 共有の輪～

2013年

第63回山口大会

会場

山口県スポーツ文化センターアリーナ他



大会テーマ 夢から志へ
～たくましく生きるチカラを育むために、今、私たちができること～

2014年

第64回福井大会

会場

福井県サンドーム福井他



大会テーマ 「教育と造福」
～未来に引き継ぐ 知と恵み～

2015年

第65回岩手大会

会場

岩手県岩手産業文化センター他



大会テーマ 未来圏からの風をつかめ!
～新時代を担う君たちと共に～

2016年

第66回千葉大会

会場

千葉県幕張メッセ他



大会テーマ 「再発見!愛」
～今こそ信じよう愛の絆～

2017年

第67回静岡大会

会場

静岡県小笠山総合運動公園エコパ他



大会テーマ 「有徳の人」づくり
～未来のために行動する「一人」を育てよう～

2018年

第68回佐賀大会

会場

佐賀県総合体育館他



大会テーマ 「広めよう 高めよう 慈しむ心」
～君たちがつくる希望の明日を～

2019年

第69回京都大会

会場

京都市勤業館みやこめッセ他



大会テーマ Kyoから!未来を拓く
～受け継ぎ、創る新たなストーリー～



大会概要



国宝 松江城天守(松江市)

えん
ご縁づくり
～新たな明日への礎のために～



ご挨拶

一般社団法人全国高等学校PTA連合会

会長

泉 満

本大会の開催に当たり、ご尽力くださいました全ての方々に深甚なる感謝を申し上げます。また全国各地から新たな様式で参加いただいた会員の皆様に心より御礼申し上げます。

本大会は2度目の東京オリンピックと同じ2020に開催予定でした。第70回という記念大会の華々しい開催に向け関係者一丸となって準備を進めていた当時(2019)は、テクノロジーの進歩を背景に、世界の様々な課題を乗り越えて、人類のよりいっそうの進歩が期待されていました。国と国との壁が取り払われ、人とモノが自由に行き来しつつも個人の多様性が約束されたグローバルな社会の実現を思い描いていたはずです。そして情報技術をはじめ様々な技術革新によって、私たちの日常生活が大きな変化を迎えようとしていた矢先、「新型コロナウイルス」が現れました。一年半の時間が過ぎ、今なお災禍の真ただ中ですが、持続可能なPTAへの在り方と学びの機会の確保のため、また安心安全かつ感染対策を徹底した大会の開催を探究した結果、Web開催という新たな様式への挑戦となりました。成功か失敗か、称賛か非難か、そのような陳腐な二項軸の答え(評価)は求めていません。このコロナ禍の逆境とすべての関わる人たちの創造あるこの探究が子どもおとなも大きく成長させ、人と人、学校と家庭・地域の絆を結びなおす絶好の機会となるはずです。そしてこの経験が子どもたちやおとなたちの大きな自信と誇りを創造し、子どもや学校を支える、教育に参画する土壌がレガシーとして受け継がれていくことを期待しています。神の国島根県、全国から万の神が集い、あらゆる「ご縁」を話し合う神秘の地においてデジタルを最大限駆使した大会を開催することの尊い意義を体感できるはずです。

一方で新型コロナウイルスは14世紀にヨーロッパで大流行したペストと比較されます。この感染症は世界の

22%の人の命を奪ったとされています。14世紀はルネサンスの時代、当時のヨーロッパは多くの痛みとともに世界に文芸復興の道を示しました。その時代、ギリシャ・イスラム文献の解読がこれほど進んだ時代はなかったでしょう。まさに歴史と向き合うことが世界を創造するきっかけとなったのです。そうしてAfterペスト、哲学が、医学が、科学が、文学が、美術が、音楽が、ルネサンス期の絶大な力の根源でした。ルネサンス期への創造的時代へと生きる上での根源的な問いをArtに求めたのです。

今まさに日本の教育界においてリベラルアーツ(教養教育)に代わってSTEAM教育の重要性が強調されています。科学・秘術・工学・数学そして芸術の頭文字を重ね合わせた造語です。この言葉は2013年オバマ大統領がアメリカの重要な国家戦略としてSTEM教養を支援すると発表され話題になりました。これに今のAI時代へ想像力と感性が必要とされるという考えからSTEM教育にArt(芸術)を加えたSTEAM教育が重要視されています。しかし日本はこの世界が求めている潮流に大きく立ちおいています。感性を伴った芸術(Art)と科学(Science)によって着眼点が生まれ、工学(Engineering)によって設計図が描かれ、技術(Technology)という工法で生成される。それがAI時代の「ものづくり」の新たな創造性をもった仕組みと考えます。言わば「科学的技術システムと文化的伝統の間を取りもつ人材」が要求されてその価値は高まるでしょう。文化と伝統、すなわちArtを介して分断を乗り越え学びつづける「能動的な学修」が求められています。

本大会に新たな様式で参加される皆様が、能動的なデジタル学修を通し多くの学びと気づきを得て、今後の持続可能なPTA活動の発展に活かしていただくよう祈念いたします。



歓迎のことば

第70回全国高等学校PTA連合会大会
島根大会実行委員会会長

大屋 光宏

加盟約200万人の会員のみなさま! 第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会は、コロナ禍により1年の延期の後、新たな形式で開催することとなりました。

改めて述べるまでもなく、社会は大きな変革期を迎えています。環境問題、エネルギー問題そして人口問題などの社会的背景と人工知能・バイオテクノロジーなどの科学技術の飛躍的進歩により、私たちが培ってきた経験や常識は役に立たないほどの爆発的な変化をしています。そして、この激しい社会の変化に対応するため、社会は先入観にとらわれ変わることでできない大人ではなく、「柔軟な発想を持ち」「キャリア意識の高い」10代、20代の若い人たちに期待を寄せています。高校生の保護者である私たち会員の果たさなければならない役割そして責任も大きくなり、次世代を担う子どもたちを育てるためには親も学び続けなければなりません。

しかしながら、今回の新型コロナウイルス感染症は私たちの日常を脅かし、学びの場も奪っていきました。そして「新型コロナウイルス感染症」は私たちPTAに対し、PTAの意義そして全国大会など研修のあり方を問いかける「抜き打ちテスト」となりました。大会の開催方法と開催意義について、島根県の会員そして全国高P連の泉満会長を始めとする役員のみなさんと何度も協議を繰り返してきました。最終的に参加者と運営者の安心感を確保し、会員のみなさんの学びを保障するためネット配信を中心とした無観客での大会としました。

全体会はライブ配信ですので式典、小泉凡先生・佐野史郎さん・山本恭司さんの基調講演そして高校生のアトラクションの臨場感を感じてください。6つの分科会は事前収録を行い配信します。高校生のアトラクションもあります。分科会には島根県の保護者や高校生も登場し分かりやすい分科会としています。いつでも視聴できますの

で、会員のみなさまの学びやPTA研修等の研修材料としての活用も期待しています。

今回の島根大会の会場はIT空間です。時空を超えて200万人の会員のみなさんが、「絆」ではなく、緩やかなつながりである「ご縁」で結ばれます。島根の地に集まることはできませんがこの「ご縁」が新たなつながりとなり、親の力、PTAの力の向上となり高校生の成長に寄与できることを望んでいます。

島根県も全国大会を開催することにより全国の会員のみなさんと「ご縁」ができました。コロナ禍が終息したのちには、ぜひ島根に来ていただき古より変わらず受け継いできた出雲大社をはじめとする歴史、森鷗外・西周を輩出した文化、たたら製鉄などの技術、石見神楽などの伝統芸能そして豊かな自然と美しい景観を楽しんでください。

最後になりましたが、大会開催にあたりご指導とご協力をいただきました島根県をはじめとする行政と協力業者のみなさん、全国高P連の役員のみなさんそして多くの準備と知恵を出していただいた島根県の会員のみなさんに心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。



祝 辞

島根県知事

丸山 達也

第70回全国高等学校PTA連合会大会が「縁結び」の地である島根を会場に、盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

この大会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催が延期されておりましたが、この度、全国の皆様には、大会史上初めてとなるオンラインで御参加いただくという形で開催する運びとなりました。オンラインでご縁を結び、御参加いただいております全国のPTAの皆様、教育関係の皆様を心から歓迎申し上げますとともに、本大会の開催にあたり御尽力をいただきました全国高等学校PTA連合会をはじめとする関係の皆様へ、心より感謝申し上げます。

また、皆様には、コロナ禍にあっても、それぞれの地域において、子どもたちの健やかな成長を支え、学校と地域をつなぐ要としての重要な役割を果たしていただいておりますことに深く敬意を表します。

さて、島根県では、「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」を目指して、「島根創生計画」に掲げた様々な施策を総力をあげて推進しているところです。

変化が激しく予測が困難な現代社会においては、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材を育成することが求められています。この「島根創生計画」では、子どもたち一人一人に、自らの人生と地域や社会の未来を切り拓くために必要となる「生きる力」を育むため、学校・家庭・地域が目標を共有し、協働を図りながら、島根らしい魅力ある教育を進めることとしています。

県内では、地域の「ひと・もの・こと」を活用し、幼児教育、小・中学校での「ふるさと教育」や高校を中心に実践する「地域課題解決型学習」など、就学前から高校段階までの一貫性のある学びや、地域の人々との関わりの中

での探究的な学びを各地域で展開しています。島根を「原点」とするこうした主体的な学びは、子どもたちにふるさとへの愛着と誇りを育み、将来に向けての大きな財産になるものと思います。

本大会のテーマは、「ご縁(えん)づくり～新たな明日への礎のために～」であります。島根県には、縁結びで有名な出雲大社、国宝の松江城、世界遺産の石見銀山遺跡、隠岐ユネスコ世界ジオパークなど、数多くの豊かな自然や古き良き文化・歴史があります。また、「美肌の湯」「美人の湯」をはじめとした豊富な温泉や、日本酒、そば、しじみなど美肌効果が期待される食材も揃っています。

御参加の皆様には、この大会で「ご縁」を結んでいただくとともに、全国の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症が収束した暁にはぜひ御来県いただき、こうした島根の魅力にも触れていただければ幸いです。

結びに、本大会の御成功と皆様の今後ますますの御活躍をお祈りいたしまして、お祝いの御挨拶といたします。



開催地からのご挨拶

松江市長

上定 昭仁

このたび、「第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会」が開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスが世界的に猛威を振るう中、当初の予定より1年延期しての開催となりました。また、現在もコロナ感染拡大に終息の兆しが見通せないところ、本大会実行委員会の皆様には、感染防止対策やオンライン参加の導入など、本日の開催に至るまで並々ならぬご尽力を重ねてこられましたことに、改めて敬意を表します。

全国各地域においてPTA活動を担っていただいている皆様におかれましては、子どもたちの健全な成長のため、学校と地域をつなぐ貴重な役割を果たしていただき、感謝申し上げます。

島根県は、本大会のテーマ「^{えん}ご縁づくり～新たな明日への礎のために～」に謳われております通り、「縁結び」の地として広く知られております。本大会は、コロナ禍の難しい状況において行動に制限を受けて苦労している子どもたちを支えたいと思う皆様が、一緒に学び共感する「ご縁」を結ぶ場であり、オンラインであっても同じ気持ちを共有する皆様方の「ご縁」がつながるものと確信しております。

本大会ならびに分科会での研究協議や意見交換などを通じて、多くの気づきや学びを得られ、その成果を各地域へ持ち帰って、それぞれのPTA活動をさらに充実・発展されますことを期待いたしております。

また、松江市は、明治時代に活躍した文筆家・小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)に愛されたまちであり、小泉八雲の多様性を受け容れる柔軟な考え方「オープンマインド」を育む教育に力を入れております。各々の違いを認め、偏見を持たず、異文化や新しい概念を吸収するという小泉八雲の精神は、変化の早い、先行きが不透明な今の時代に求められる価値観であり、「誰一人取り残さない」とい

う「SDGs」(国連サミットで採択された持続可能な開発目標)の理念とも合致します。

松江市では、誰もが明るい未来を感じられる「夢を実現できるまち」「市民が誇れるまち」の創造を目指しております。子どもたちが夢や希望を持つてのびのびと成長を遂げられるための「オープンマインド」を養い、ふるさと松江のことはもちろん、日本全国や海外に積極的に目を向けて視野を広げる教育の機会を設けることで、子どもたちの好奇心と無限の可能性を引き出したいと考えております。

今回は、島根県に皆様をお迎えすることが叶わず大変残念ですが、コロナ禍が落ち着いた折には、ぜひ「水の都・松江」をお訪ねいただけますと幸甚です。

本大会に参加される方々も、それぞれの地域で様々なバックグラウンドをお持ちであると思います。分科会で最新の研究協議を通じ、多くの気づきや学びを得られ、意見を交わし、その成果を各地域へ持ち帰り、それぞれのPTA活動をさらに充実・発展させられていくことと思っております。

結びになりますが、本大会が参加される皆様にとって実り多いものとなり、それぞれのPTA活動がさらに盛んになることをご祈念申し上げまして、開催地を代表しての歓迎のご挨拶とさせていただきます。



祝 辞

出雲市長

飯塚 俊之

第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会が、本日ここに開催されますことを心からお喜び申し上げます。

本来であれば、全国から多くの高等学校PTA関係者の皆様を島根県にお迎えし、新たな「ご縁」を結びながら、子どもたちや家庭を取り巻く環境について語り合い、子どもたちの健やかな成長を願いつつ、交流を深めるはずでした。出雲市でも分科会の開催が計画されていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本大会は1年の延期を経て無観客開催となり、皆様には映像を通してお会いすることとなりました。

この1年は私たちの生活が大きく変化し、誰も想像しなかった不安で辛い日々が続いています。学校生活においても、マスク姿が日常となり、対面授業や友人との交流が制限され、休業を余儀なくされた時期もありました。子どもたちの不安を少しでも取り除き、その笑顔を守り続けるため、PTA関係者の皆様もご尽力されたことと思います。1日も早い収束を祈り、いつか皆様とお会いできる日を待ち望みながら、今私たちにできることに取り組んでいきたいと思ひます。

本日、全国からご参加のPTA関係者の皆様は、それぞれの地域や学校の現場で、子どもたちの安心・安全を守るため、日々熱心に取り組まれています。家庭や地域における人との結びつき「ご縁」を大切に、子どもたちの成長を見守っていくことが、私たち大人の役割であると感じます。感染症の影響のみならず、子どもたちを取り巻く社会環境の急激な変化や、情報化社会の進展、少子高齢化などの様々な問題に対しご尽力いただいておりますことに、深く感謝を申し上げます。

さて出雲市は、島根県の東部に位置し、北部には国引き神話で知られる島根半島、南部には中国山地、中央には出雲平野が広がり、多彩で豊かな自然に恵まれています。斐伊川と神戸川に育まれた出雲平野では農業生産が盛んに

行われ、日本海側には多くの漁港も有しています。出雲大社や荒神谷遺跡をはじめとする歴史・文化遺産も数多く、「神話のふるさと」として知られています。

私たちは、この地で守られ、根付いてきた「ご縁」という言葉を大切に、たくさんのご縁を結ばせていただきたいと思っています。今回皆様の来雲は叶いませんでしたが、いつの日か訪れていただき、出雲の自然や歴史、文化、産業などの魅力に触れ、「神話のふるさと出雲」を体感していただけることを願っております。

現在出雲市では、日本遺産「日が沈む聖地出雲」をはじめ、日本ジオパークに認定された「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」及び「大山隠岐国立公園満喫プロジェクト」を同時進行で展開しています。これらの取組を通じ、「縁結びのまち出雲」の魅力为全国へそして世界へ発信し、元気な出雲、活力のある出雲そして笑顔の絶えない出雲をめざし、市民とともに更なる飛躍に向け、「前へ」進んでいきます。応援をよろしく申し上げます。

結びになりましたが、本大会にご参加の皆様の今後ますますのご活躍と全国高等学校PTA連合会の一層のご発展を祈願するとともに、このご縁がより深まり、広がっていくことを祈念しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

安来市長

田中 武夫

全国高等学校PTA連合会大会が島根県で開催されるに当たり、地元安来市を代表いたしまして心から歓迎し、お祝いの言葉を申し上げます。

我が国におけるPTA組織は、戦後の荒廃の中から、新学制のスタートと時期を同じくして、全国各地の小学校から高等学校において、父母と教師が協力して組織を立ち上げられました。

以降、学校・家庭・社会における児童・生徒の健全な成長を図り、様々な活動を展開されてきました。

貴PTA連合会におかれましても、昭和27年の発足以来、長きにわたり、高等学校PTA活動を通して我が国の次代を担う青少年の健全育成を図り、もって生涯学習社会の形成に寄与するため、調査の活動や政府等への働きかけを重ねてこられたことに、深く敬意を表するものであります。

今日、教育を取り巻く環境は、人口減少・急速な技術革新・グローバル化等の社会状況変化や若者のSNS利用・地域コミュニティの弱体化・家庭の状況変化・教師の負担増等の教育をめぐる状況変化など様々な課題が山積しています。

こうした中で、「ご縁づくり～新たな明日への礎のために～」をテーマに、“これからの学校教育の形” “SNSの正しい活用” “地域社会と連携した教育魅力化” “体験や出会いを大切にしたキャリアデザイン” “グローバルにつながるSDGsと教育” 未来社会に対応する深い学びと連携・協働“などの諸課題について考える大会を開催することは大変意義深く、高等学校教育の発展に大きく寄与するところであり、ご同慶にたえないところであります。

さて、安来市では、市内の県立高校の魅力化を通じて、若者が地元に戻ってきて定住してくれる「人材還流サイクル」づくりを推進しています。

特に、情報科学高校は、文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業【プロフェッショナル型】」の採択を受け、本市や産業界との協働によりコンソーシアムを構築し、様々な取り組みを行っているところであります。

また、新型コロナウイルスの影響で遠方への修学旅行等が出来ない社会情勢を鑑みて、安来への教育旅行の誘致に取り組んでいます。

フィリピン戦犯助命嘆願活動をして今年度中学校社会科の教科書に掲載された加納莞蕾の作品を展示している加納美術館での平和学習をはじめ、日本古来の鉄づくり「たたら製鉄」を学べる和鋼博物館でのサステナブル（持続可能）なモノづくり学習、どじょうすくい踊り体験ができる安来節演芸館での日本文化学習など個性的な学習ができる素材が数多くあります。

さらに、アメリカの日本庭園専門誌ランキングで日本庭園が「18年連続日本一」に選ばれ、世界的に高い評価を受けている足立美術館も市内にあります。

今回、新型コロナウイルス感染症の流行により、オンラインによる開催となり、皆さま方を安来市にお迎えできなくなったことは残念ですが、またの機会に是非、安来市にいらしていただくことを期待しております。

終わりに臨みまして、本大会を契機に次代を担う子どもたちのため一層活発なPTA活動を推進されますことをお祈りいたしますとともに、ご参加の皆さま方のご健勝を祈念しまして、お祝いと歓迎の言葉といたします。



祝 辞

雲南市長

石飛 厚志

第70回の全国高等学校PTA連合会大会島根大会が関係の皆さまのご尽力により開催されますことに、心よりお祝い申し上げます。

本大会にご参加の皆さまにおかれましては、学校・家庭・地域での様々な取り組みを通じて子どもたちの成長を日々支えておられますことに、心より敬意を表しますとともに感謝を申し上げます。

さて、急激な人口減少社会の進展に加えて、ICTをはじめとするテクノロジーの目覚ましい発展、新型コロナウイルスへの対応等、子どもたちを取り巻く教育環境はかつてないスピードで変化を遂げています。

こうした状況において、子どもたちの健やかな成長を支えるためには、子どもたちにとって真に魅力的な教育環境を社会全体で創っていくことが必要です。本市では、コミュニティ・スクールを通じた学校・家庭・地域(企業・NPO等含む)・行政の連携・協働による取り組みに早くから注力してまいりました。また、子どもたちが主体的に地域課題の解決に挑む「子どもチャレンジ」を支援し、意欲ある若者の育成にも努めております。

新学習指導要領を見据えた高校改革や特色ある学校づくりが進められるなか、多様な関係者とのつなぎ役でもあるPTAの皆さまへの期待は、これまで以上に高まっていると思っています。

残念ながら本大会はWEB方式で開催されると伺っておりますが、最前線でご活躍される講師陣を迎え、「ご縁(えん)づくり～新たな明日への礎のために～」をスローガンに実施される本大会を機に、PTA活動の一層の充実に向けて参加者同士のご縁の輪を深めていただければ願うところです。

本市は、ヤマタノオロチ伝説の舞台でもあり、清らかな水と緑の「豊かな自然」、銅鐸やたたらをはじめとした「誇

るべき歴史遺産」、恵まれた風土によって育まれた「豊かな食文化」、世代を超えた「地域の和」などの誇るべきたくさん「幸」があります。

次代を担う子どもたちの育成は、ふるさとを思う多くの人々によって受け継がれてきたこうした「幸」を未来へと紡ぐことでもあり、これはまさに持続可能なまちづくりへの原動力でもあります。本市としましても子どもたちのために、また未来のために、PTAの皆さまとともに一層の努力をして参りたいと意を強くしているところであります。

新型コロナウイルス感染症に端を発する様々な不安が和らぎ、誰もが平和で心豊かに暮らせる日常が戻りましたら、雲南市へ是非とも足をお運びいただきまして、雲南の「幸」を体感していただければ幸いです。

結びに、本大会開催のためにご尽力された関係者の皆さま、PTAの皆さまお一人お一人に改めて心から感謝しますとともに、大会の成功、ご参会の皆さまのご健勝、ご多幸を心よりお祈りして、ご挨拶とさせていただきます。



第70回全国高等学校PTA連合会大会『島根大会』概要

メインテーマ 「^{えん}ご縁づくり」

サブテーマ ～新たな明日への礎のために～

令和2年、世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症は、東京オリンピック・パラリンピックなどのイベントを始め、高校生の全国大会や交流の場などを延期や中止に追い込みました。私たちの全国高等学校PTA連合会大会島根大会も例外ではなく、昭和27年に大会が始まって以来、初めての中止となりました。しかしながら、その後全国高等学校PTA連合会で協議を重ね、島根大会は令和3年への延期が決定いたしました。

新型コロナウイルス感染症の流行は、これまでの日本社会の強み・弱みの両面を浮き彫りにしました。教育についても例外ではありません。人と人との生身の行き来、対面の授業や会話が困難になったことで、学校と生徒一人一人をつなぐICTが、いかに有効なツールであるかが実証されました。今後、このような危機に対応し格差のない教育を維持するためには、ICT機器やネットワークの一層の整備と積極的な活用が教育界に広がっていかねばならないと考えます。

長期の学校休業は生徒の学ぶ権利の保障ばかりではなく、あらゆる学校行事や部活動等に影響を与えました。しかし、私たちは改めて気づかされました。社会性の原点、他者と協力して新たな価値を生み出す原点は、人と人とが向き合い語り合うことであり、それは今後も揺るがないに違いありません。

島根県出雲地方では旧暦の十月を「神在月」と呼び、全国から八百万の神々が「出雲大社」を中心に集い、自然・人・ものなどあらゆる「ご縁」を話し合うと言われていています。未曾有の事態を経験した全国の会員が、この地に集い、子どもたちを取り巻く今後の日本社会、つまり日本の新たな明日への礎について語り合い親交を深めていくことは大きな意味があると考えます。

島根大会が全国に新たな「ご縁」を生み、私たち大人の「つなげる力」を一層強める機会になることを、そして子どもたちが日本のみならず世界へと豊かな「ご縁」を紡いでいく基盤になることを願っています。

- 大会期日 令和3年8月25日(水)
- 開催地 島根県松江市
- 会場 島根県民会館
- 主催 一般社団法人全国高等学校PTA連合会
- 主管 島根県高等学校PTA連合会
- 後援 文部科学省 全国高等学校長協会 中国・四国地区高等学校PTA連合会 島根県 島根県教育委員会 松江市 松江市教育委員会 安来市 安来市教育委員会 雲南市 雲南市教育委員会 出雲市 出雲市教育委員会 島根県公立高等学校長協会 島根県高等学校教頭・副校長協議会 島根県公立学校事務長会 (公財)日本教育公務員弘済会島根支部 島根県商工会議所連合会 島根県商工会連合会 NHK松江放送局 TSKさんいん中央テレビ BSS山陰放送 日本海テレビ 山陰ケーブルビジョン 雲南夢ネット 出雲ケーブルビジョン エフエム山陰山陰中央新報社 朝日新聞松江総局 読売新聞松江支局 毎日新聞松江支局 産経新聞社 中国新聞社 島根日日新聞社
- 参加者 一般社団法人全国高等学校PTA連合会関係者
- 参加費 1校 7,000円
- 取扱業者 山陰中央テレビジョン放送株式会社(企画・運営・会場設営関係)
株式会社 日本旅行TiS松江支店(参加者登録・宿泊・輸送・弁当関係) 松栄印刷有限会社(印刷関係)



8月25日(水)・・・全体会

島根県内参加者受付 / 8:00～8:50

全体会 / 開会式、表彰式、記念講演・記念公演、閉会式 島根県民会館大ホール
会場からオンラインライブ配信いたします。

大会終了後、数日を経て12月31日(金)までアーカイブ配信をします。

時 間	内 容
8:50 ～	配信映像開始
9:00 ～ 9:20	参加連合会紹介
9:20 ～ 9:35	アトラクション 島根県立松江商業高等学校 吹奏楽部
9:40 ～10:35	開会式 開式の辞、国歌演奏、大会会長式辞、来賓祝辞、来賓紹介、表彰式、閉式の辞
10:40 ～12:00	記念講演・公演 講 師 小泉八雲記念館館長 小泉 凡氏 俳 優 佐野 史郎氏 ミュージシャン 山本 恭司氏 演題「小泉八雲がみた日本の魅力～五感でとらえた明治日本のすがた」 朗読「八雲彷徨～神々の首都 松江から」
12:05 ～12:20	アトラクション 島根県立浜田商業高等学校 郷土芸能部
12:25 ～13:00	閉会式 開式の辞、全国高P連旗返還、全国高P連旗授与、次期開催地挨拶、閉会の挨拶、閉式の辞

8月25日(水)・・・分科会オンライン配信開始日

14:00～ 6つの分科会ごとにオンライン配信いたします。その後、12月31日(金)までアーカイブ配信をします。

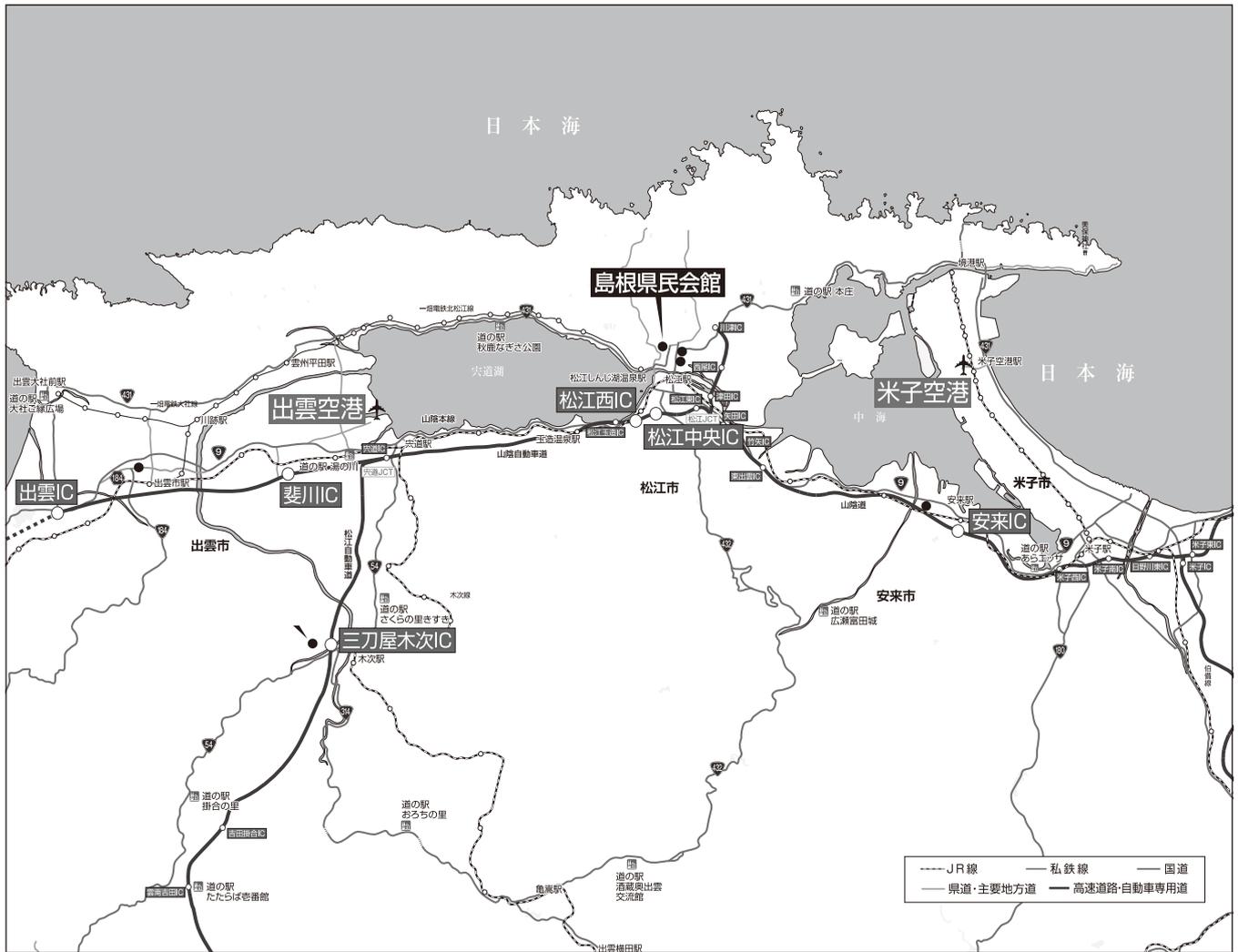
所要時間は、概ねアトラクション20分、基調講演・協議150分です。(第2分科会は、概ねアトラクション20分、基調講演60分です。)

第1分科会	アトラクション 島根県立江津高等学校 神楽愛好会 テーマ 「Withコロナにおける学校教育の形とこれからの学びのデザイン」 ～予測不可能な未来を生きていくには～
第2分科会	アトラクション 島根県立江津高等学校 神楽愛好会 テーマ 「正しく怖がる」で創るネットとのご縁 ～SNS・スマホで絶対に失敗しない方法とは～
第3分科会	アトラクション 島根県立三刀屋高等学校 演劇部 テーマ 「地域で育む未来への学び」 ～教育の魅力化でひろがる新たなご縁～
第4分科会	アトラクション 島根県立三刀屋高等学校 演劇部 テーマ 体験でつなぐ人々とのご縁 ～「人生100年時代」「不確かな時代」を生きるためのキャリアデザイン～
第5分科会	アトラクション 島根県立出雲農林高等学校 出農太鼓部 テーマ グローバルにつなぐ教育とのご縁 ～SDGs(持続可能な開発目標)と新たな明日への礎のために～
第6分科会	アトラクション 島根県立出雲農林高等学校 出農太鼓部 テーマ 未来社会に対応するための教育とのご縁 ～「主体的・対話的で深い学び」や「学校と社会の連携・協働」のあり方～

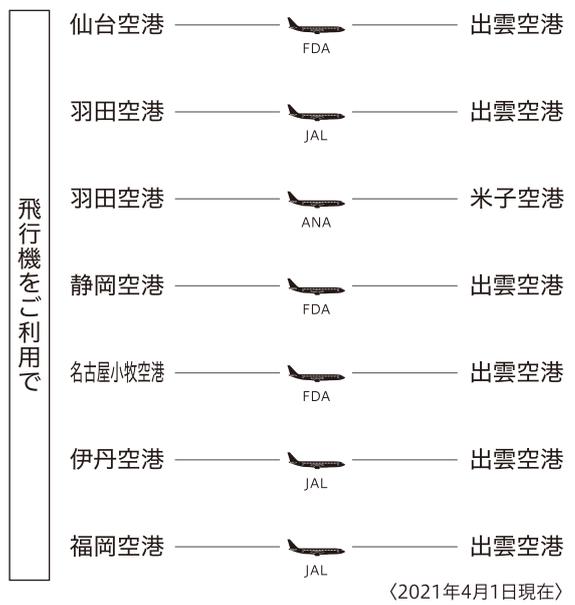
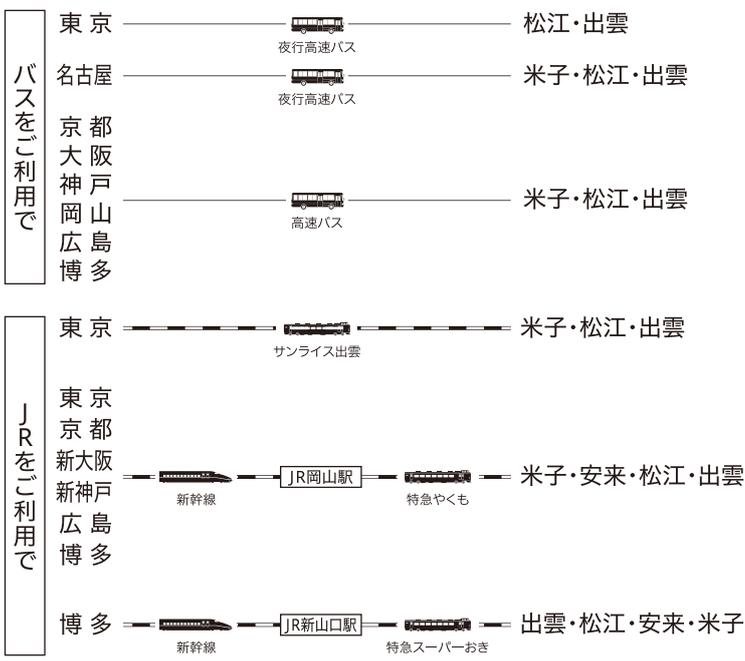
会場へのアクセス(広域)



大会概要



全国からのアクセス



変更になっている場合がありますので、詳細はご確認下さい。

会場へのアクセス 島根県民会館



◆島根県民会館

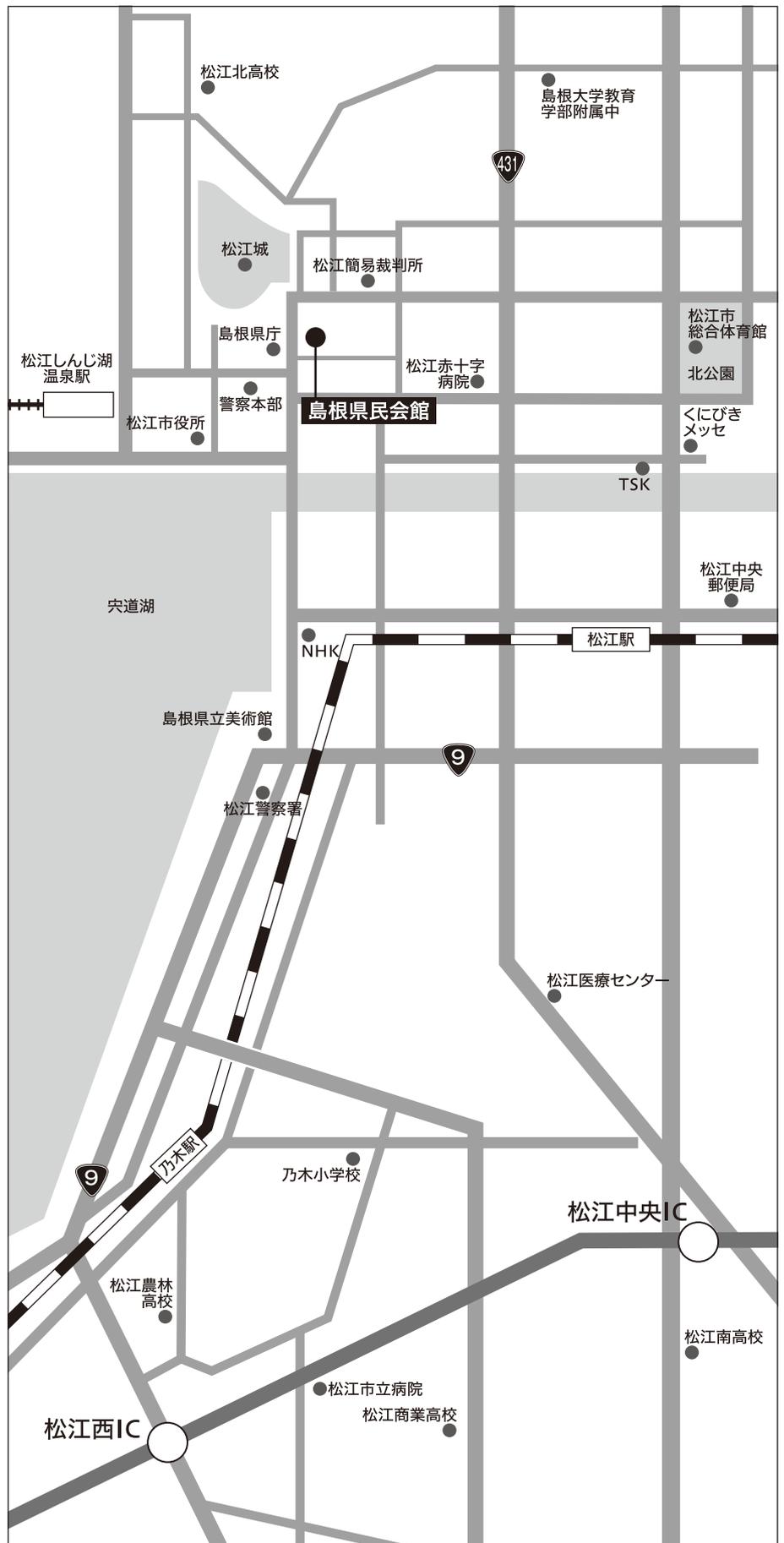
〒690-0887
 島根県松江市殿町158
 TEL:0852-22-5506
 ■最寄り駅/JR松江駅から
 徒歩:約25分(約1.9km)、タクシー:約15分
 ■松江中央又は松江西ICから車で約10分

●飛行機利用

■出雲空港から松江駅まで
 バスで約35分
 ■米子空港から松江駅まで
 バスで約45分

●自家用車駐車場

会場付近に、多少有料駐車場有り



大会役員名簿



大会役員			
大会会長	泉 満	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	会長(代表理事) 総務委員長
大会副会長	山田 博章	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	副会長 総務委員 進路対策委員長
	鎌田美千子	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	副会長 総務委員 調査広報委員長
大会運営委員	新井田 寛	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	専務理事(業務執行理事) 総務委員 賠償責任補償制度運営委員長
	中川 徹	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	常務理事(業務執行理事) 総務委員
	中野真衣子	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	理事 総務委員 健全育成委員長
	西川 昌孝	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	理事 総務委員
	海東 剛哲	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	理事 総務委員 研修委員長
	田名部智之	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	理事
	米山 賢	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	理事
	内海 潤	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	理事
	堀井 鉄也	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	理事
	関 隆之	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	理事
	谷口 直樹	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	理事
	中東 勢治	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	理事
	小柳 義則	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	理事
	金田 淳	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	代表監事
	黒田 耕作	一般社団法人全国高等学校PTA連合会	監事

全国高P連事務局					
事務局 長	中川 徹	事務局 次長	菊池 修	事務局 員	入野登代子

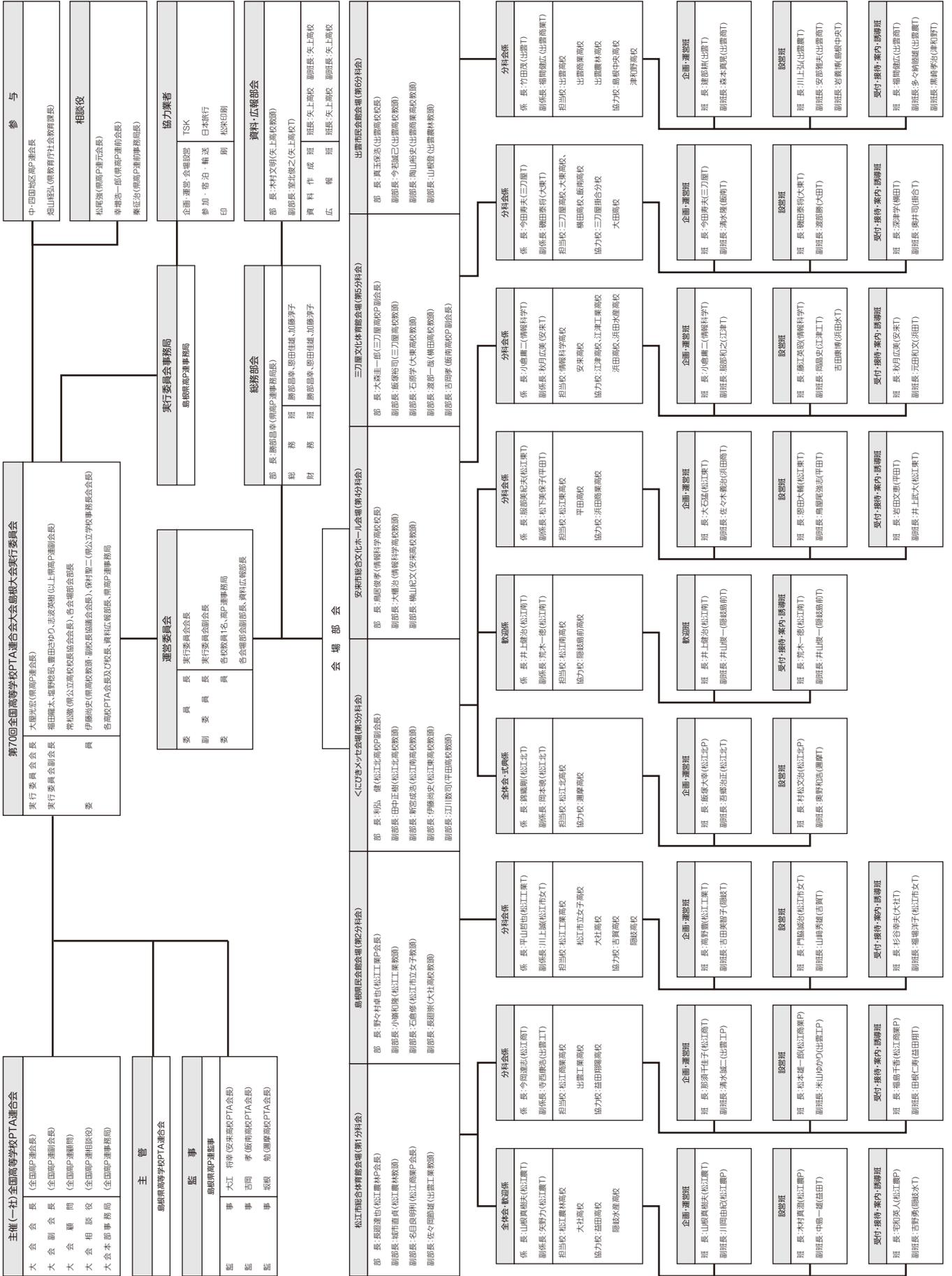
実行委員会名簿

	島根大会実行委員会役員(令和2年)		島根大会実行委員会役員(令和3年)	
実行委員会会長	大屋 光宏	島根県高等学校PTA連合会会長	大屋 光宏	島根県高等学校PTA連合会顧問
実行委員会副会長	本常 賢一	島根県高等学校PTA連合会副会長	飯塚 大幸	島根県高等学校PTA連合会会長
実行委員会副会長	今岡 学	島根県高等学校PTA連合会副会長	今岡 正和	島根県高等学校PTA連合会副会長
実行委員会副会長	豊田 さゆり	島根県高等学校PTA連合会副会長	前澤 信也	島根県高等学校PTA連合会副会長
実行委員会副会長	志波 英樹	島根県高等学校PTA連合会副会長	吉岡 弘恵	島根県高等学校PTA連合会副会長
実行委員会副会長	常松 徹	島根県公立高等学校長協会会長	常松 徹	島根県公立高等学校長協会会長 島根県高等学校PTA連合会副会長
実行委員会副会長	長廻 達也	島根県立松江農林高等学校PTA会長	志波 英樹	島根県立矢上高等学校校長
実行委員会副会長	野々村卓也	島根県立松江工業高等学校PTA会長	宅和 英人	島根県立松江農林高等学校PTA会長
実行委員会副会長	村松 文治	島根県立松江北高等学校PTA副会長	戸谷 淳	島根県立松江工業高等学校PTA会長
実行委員会副会長	小玉 佳彦	島根県立情報科学高等学校PTA会長	村松 文治	島根県立松江北高等学校PTA副会長
実行委員会副会長	大森圭一郎	島根県立三刀屋高等学校PTA会長	足立 朋広	島根県立情報科学高等学校PTA会長
実行委員会副会長	杉浦 弘明	島根県立出雲等学校PTA会長	神田 治	島根県立三刀屋高等学校PTA会長
実行委員会副会長			杉浦 弘明	島根県立出雲等学校PTA会長
実行委員会副会長			森口 英司	島根県立矢上高等学校PTA会長
参 与	畑山 経弘	島根県教育庁社会教育課長	野々内昭浩	島根県教育庁社会教育課長
相談役	松尾 強	元島根県高等学校PTA連合会会長	松尾 強	元島根県高等学校PTA連合会会長
相談役	幸増浩一郎	前島根県高等学校PTA連合会会長	幸増浩一郎	前島根県高等学校PTA連合会会長
相談役	秦 征治	前島根県高等学校PTA連合会事務局長	秦 征治	前島根県高等学校PTA連合会事務局長

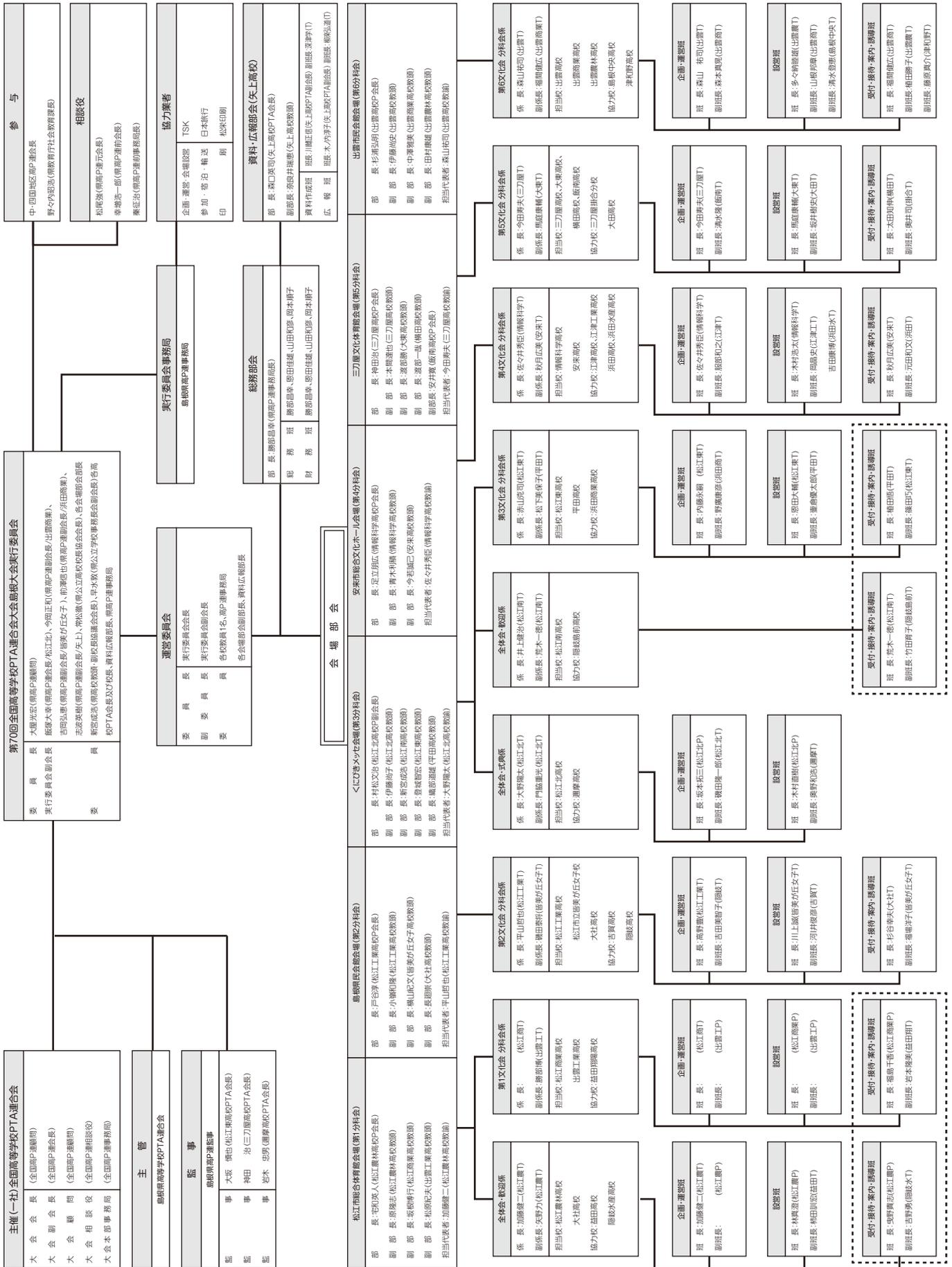
島根大会実行委員会事務局(令和2年)							
事務局 長	勝部 昌幸	事務局 次長	恩田 佳雄	事務局 次長	山田 和彦	事務局 員	加藤 淳子

島根大会実行委員会事務局(令和3年)							
事務局 長	勝部 昌幸	事務局 次長	恩田 佳雄	事務局 次長	山田 和彦	事務局 員	岡本 順子

実行委員会組織図(令和2年)



実行委員会組織図(令和3年)



大会概要



全体会



出雲大社(出雲市)

えん
ご縁づくり
～新たな明日への礎のために～

2021年8月25日 オンラインライブ配信をします。
2021年12月31日までオンラインアーカイブ配信をします。



(講演) 「小泉八雲がみた日本の魅力～
五感でとらえた明治日本のすがた」

小泉八雲記念館 館長 小泉 凡氏

(公演) 小泉八雲朗読のしらべ
「八雲彷徨～神々の国の首都 松江から」

俳優 佐野 史郎氏 ミュージシャン 山本 恭司氏

日本を代表する俳優の佐野史郎と世界的なギタリスト山本恭司は、ともに小泉八雲が「神々の国の首都」と畏敬し、親しんだ町、島根県松江市の出身です。その2人のライフワークとして、小泉八雲の作品を素材とした朗読パフォーマンスを、2007年より継続的に行っています。2014年には八雲の母の故郷ギリシャ、2015年には父の故郷アイルランド、2019年には作家としてのキャリアを築いたアメリカ、そして国内で多くの公演を果たし、人々を感動の渦に巻き込んできました。2人が紡ぐ言葉と音楽は、松江で生まれた新しい総合芸術といってもよいかもしれません。近年、「八雲のオープン・マインドなまなざし」が現代社会の文脈で再評価され、新しい文化資源として文化創造に活かされています。この朗読パフォーマンスもその大きな潮流の中に位置づけることができるでしょう。生涯、語り部と深く交わり作品を紡いだ八雲。その深遠なイマジネーションの世界を体感してください。

小泉 凡



小泉 凡氏 「講演」

小泉八雲記念館館長。東京都出身。成城大学・同大学院で民俗学を専攻後、1987年に松江へ赴任。妖怪、怪談を切り口に、文化資源を発掘し観光・文化創造に生かす実践研究や、小泉八雲の「オープン・マインド」を社会に活かすプロジェクトを世界の八雲ゆかりの地で展開する。2017年7月、日本・アイルランドの文化交流貢献で外務大臣表彰。主著に『民俗学者・小泉八雲』（恒文社、1995年）、『怪談四代記―八雲のいたずら』（講談社、2014年）ほか。日本ペンクラブ会員。焼津小泉八雲記念館名誉館長・島根県立大学短期大学部名誉教授。



佐野 史郎氏 「朗読」

俳優。松江市出身。1975年、劇団シェイクスピア・シアターの創立に参加。1980年、劇団状況劇場（唐十郎主宰）に移籍。退団後、1986年、林海象監督「夢みるように眠りたい」で映画主演デビュー。1992年テレビドラマ「ずっとあなたが好きだった」（TBS）のマザコン男「冬彦」役が社会現象となる。1999年、映画「カラオケ」で初監督。アレクサンドル・ソクーロフ監督「太陽」、カン・ジェギョ監督「マイウェイ」など海外作品にも出演。チェコのイジィ・パルタ監督によるラフカディオ・ハーン原作「雪女」ではプロデューサーとして名を連ねる。



山本 恭司氏 「演奏」

ミュージシャン。松江市出身。18歳でヤマハ・ネム音楽院に入学。在学中にBOWWOWのリード・ギタリスト、リード・ボーカリストに抜擢される。デビュー当時は、キッスやエアロスミスとのツアーが大きな話題を呼び、常に日本のロック・シーンをリードしてきた。その後、VOW WOWを結成しロンドンをベースにヨーロッパ、アメリカで約4年間活動。海外での評価も高く、海外有名アーティストへの影響力も大きい。バンド活動以外にも、ギター・インストゥルメンタル・アルバムのリリースやジャズ・フュージョン系ミュージシャンとのセッションなど、その幅広い音楽性を武器に世界の音楽シーンで活躍している。

小泉八雲 朗読のしらべ プログラム

Program—Lafcadio Hearn Reading Performance

八雲彷徨～神々の国の首都 松江から～

1 「夏の日の夢」より

冒頭にご紹介する「夏の日の夢」は、ハーンの幼い頃の思い出を綴ったもの。「その人」と言われる人は母、ローザ・カシマチに違いありません。

わくわくする話を聞かせ、美しい唄を唄ってくれた母のかすかな思い出は、ハーンにとって最も大切な宝物だったことでしょう。

The Dream of a Summer Day, *Out of the East*

平井呈一訳(『東の国から・心』恒文社より)

2 神々の国の首都

ラフカディオ・ハーン、帰化名、小泉八雲。カタカナでサインをする時、“ラフカディオ・ヘルン”と記したことから、松江ではヘルンさんと呼ばれ親しまれてきました。

これは、ヘルンさんが来日し、まもなく英語教師として赴任した松江の朝の光景を綴った作品からの抜粋。

松江は『古事記』にも描かれている神話の故郷の地で、実際の県庁所在地であることともかけて、ヘルンさんは松江を「神々の国の首都」と呼んだのでしょう。

朝、目覚めて聴こえてくる人々の日常の暮らしの音と相反するかのよう、宍道湖や大橋を前にした朝もやのなかの風景は幻想的で、現実のものとは思えないと綴っています。

その幻想的な水辺の光景は、もしかしたら幼い頃に目にしていた生まれ故郷のギリシャ、レフカダ島の水辺の風景と重なって感じられていたのかもしれませんが。

The Chief City of the Province of the Gods, *Glimpses of Unfamiliar of Japan*

平井呈一訳(『日本瞥見記』恒文社より)

3 飴を買う女

来日前、アメリカでジャーナリストとして腕を磨いたヘルンさんですが、小泉八雲の代表作といえば、やはり『怪談』です。

ヘルンさんは松江で娶った妻セツから数多くの怪談話を聞き、それを作品にしています。セツさんから“取材”した日本の伝承を“記事”にした…と言えるかもしれません。

「毎夜、水飴を買いに来る女に誘われて、ある夜、飴屋の主が後をついていくと、そこは墓場だった。女は幽霊で、しかも女がかき消えた場所の墓石の下からは赤ん坊の泣き声をする。飴屋の主が墓石をどけると、そこにはその女の骸あり、赤ん坊

はまだ生きていて、傍に水飴の入った茶わんが置いてあった。」

「母の愛は死よりも強い」と、ヘルンさんは幼い頃に別れた母への愛を募らせているようにも思えます。

松江のお隣、鳥取は境港出身、水木しげるさんの『ゲゲゲの鬼太郎』の誕生秘話とも重なります。鬼太郎も、松江の怪談から誕生したのかもしれませんがね？

The Chief City of the Province of the Gods, *Glimpses of Unfamiliar of Japan*

平井呈一訳(『日本警見記』恒文社より)

4 鳥取の蒲団の話

ヘルンさんは出雲地方のみならず、鳥取の記述も少なくありません。この物語は、日本海に面した冬の山陰の、現在よりもとても寒い時代の怪談。

「ある宿屋に泊まった客たちはみな、『寝ている蒲団から子供の声がある』と言って宿を逃げ出してしまう。困惑した宿屋の主人も妙だと思い、その蒲団で寝てみると、やはり子供の声が聞こえる。その蒲団は骨董屋から買って来た古い蒲団で、蒲団の売り主をたどってみると、両親を亡くし家賃を払えなくなった幼い兄弟から、家賃の代わりに無情な家主が取りあげたものだという。家を追い出された幼い兄弟は吹雪の中、雪に埋もれて亡くなっていた。おたがいに寒さを思いやる幼い兄弟の想いが、暖かな蒲団に乗り移っていたのだった。」

イギリスの軍医のチャールズ・ブッシュ・ハーンは、赴任先のギリシャでローザ・カシマチと出会い、結婚。ラフカディオ・ハーンは2歳で父の故郷、アイルランドに移り住みますが、両親は離婚。

両親を亡くし寂しい想いをする子供たちと、やはり両親と離ればなれに育った自分の幼少時代をヘルンさんは重ねていたのかもしれませんが。

By the Japanese Sea, *Glimpses of Unfamiliar of Japan*

池田雅之訳(『新編 日本の面影』角川ソフィア文庫より)

5 露のひとしづく

松江の伝統的な日本家屋の書斎の庭先から見える、朝露のひとしづくに映る逆さまになった風景を見て、ヘルンさんは、この露のひとしづくと自分の肉体とは変わらない存在だと感じます。

「あらゆるものはかき消えてしまう。かき消えてしまうものは、露のひとしづくだろうが人間だろうが、命あるものであろうが、そうでなかろうが、すべて同じだ。消失するという感覚を持つ、この身体があるからこそ、あらゆるものは消失すると感じ、あらゆる目に映るもの、感じるものを、存在するものとして捉えることができる。」

「露のひとしづく」は仏教の教え。

東洋的な思想はヘルンさんの身体に元々備わっていたものなのか、それともギリシャの神々、アイルランドの妖精たちの国で育ったからなのか？洋の東西、人種や言語、政治、宗教…あらゆるものを超えて分かちあい、共に幸いと感ずることができれば、どんなに良いだろう…とヘルンさんが導いてくれるように思われます。

ちなみにギリシャで小泉八雲の朗読公演を行った時、ヘルンさんの生まれ故郷、レフカダ島ではこの作品にもっとも共感していたそうです。

さすが、哲学の国!!です。

A Drop of Dew. *Kotto*

池田雅之訳(『新編 日本の怪談』角川ソフィア文庫)

6 さようなら

『古事記』を熟読していたヘルンさんですから、明治23(1890)年に来日してすぐに出雲の地、松江で暮らせたことはどんなに幸せだったことでしょう。しかも妻セツさんとも出会え、ヘルンさんはその後、熊本、神戸、東京と、転々となりましたが、ラフカディオ・ハーンは小泉八雲として帰化し、子供にも恵まれ、明治37(1904)年、54歳で生涯を終えるまで幸せな家族との暮らしを営むことができました。

その日本での、最初に暮らした松江は、やはりヘルンさんにとって特別な街でした。

その街との、英語教師として接してきた生徒たちとの別れの描写から、いかに松江の地を、出雲の風景を愛していたかがわかります。

あらゆるものに、別れは必ずあります。

ですが、例え永遠の別れが訪れようとも、この言葉に、魂と身体が宿ることができれば、時と場を超えて、永遠に、共にこの魂の故郷へ帰って来ることができると信じてやみません。

Sayonara, *Glimpses of Unfamiliar of Japan*

池田雅之訳(『新編 日本の面影』角川ソフィア文庫より)

解説:佐野史郎

原作 小泉八雲

監修 小泉 凡

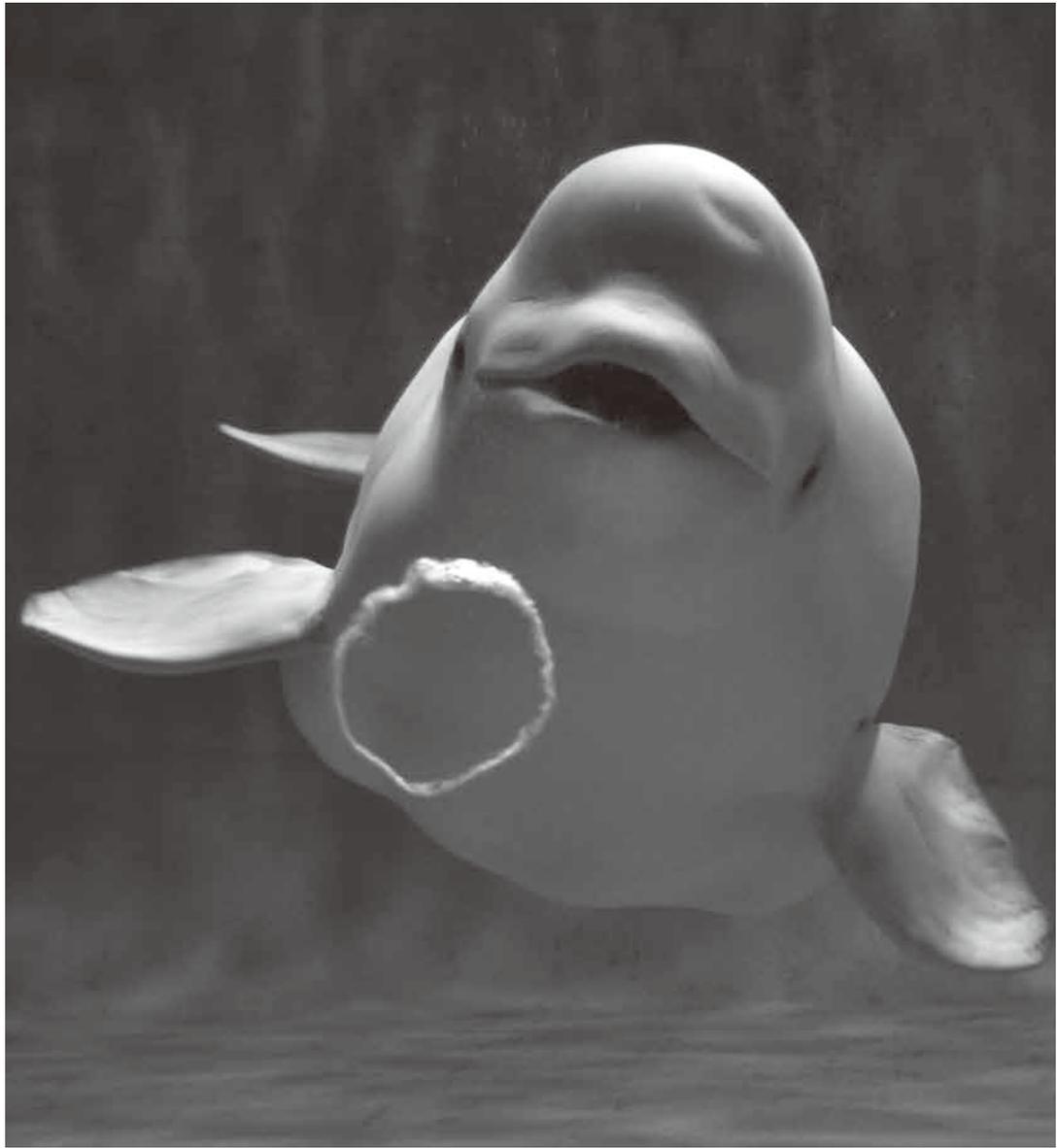
朗読 佐野史郎

音楽 山本恭司

日本語翻訳 平井呈一、池田雅之



分科会



しまね海洋館アクアス(シロイルカ「幸せのバブルリング®」)(浜田市)

えん
ご縁づくり

～新たな明日への礎のために～

2021年8月25日からオンライン配信をします。

2021年12月31日までオンラインアーカイブ配信をします。



〈映像配信/8月25日(水) 14:00〜〉

テーマ・サブテーマ

「With コロナにおける学校教育の形とこれからの学びのデザイン」
～予測不可能な未来を生きていくには～

企画 株式会社ベネッセコーポレーション

趣旨・内容等

新型コロナウイルスの流行により、否応なく変革が求められた2020年。休業や分散登校など「学校」の在り方だけでなく、家庭学習の増加やICTの活用など、子どもたちの「学び」を取り巻く環境そのものが大きく変わった。奇しくもコロナ禍により、これからの子どもたちが生きていく「予測不可能な社会」を目の当たりにする形となり、新教育課程でも言われる「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力」の育成の重要性をより強く感じた人も多いただろう。教育制度の解説や模擬授業を通して「困難な時代を生き抜くために、子どもたちにとって必要な学びとは何か？」を体感していただく機会とする。これからの日本を創る子どもたちと、彼らを育む学校、PTAの良い「ご縁」をつなぐ一助となることを願う。

基調講演講師

谷本 祐一郎 氏(株式会社ベネッセコーポレーション 教育情報センター センター長)

模擬授業講師

三浦 隆志 氏(授業デザイン研究所 代表/前岡山県立林野高等学校長)



谷本 祐一郎 氏

株式会社ベネッセコーポレーション 教育情報センター センター長

1985年、岡山県生まれ。学生時代、児童養護施設で非常勤職員として働いたことをきっかけに「教育」へ強い関心を持ち、2007年、(株)ベネッセコーポレーション入社。九州支社にて、大分県・熊本県・宮崎県の高校営業などを担当し、2016年より東北支社にて学校担当の統括責任者として従事。2019年より現職。これまで実施してきた講演会・研修会は300回を超える。現在は、大学入試の結果・動向分析、教育動向の読み解きや、全国の高校教員向けに各種セミナーを企画するなどしながら、情報発信を行っている。



三浦 隆志 氏

授業デザイン研究所 代表
前岡山県立林野高等学校長

1958年、岡山県生まれ。大学卒業後、岡山県に奉職。岡山芳泉高等学校、岡山工業高等学校、備作高等学校、邑久高等学校、岡山操山高等学校等に勤務。岡山県立勝山高等学校、教頭・副校長を経て、岡山県立玉島商業高等学校、岡山県立林野高等学校で校長を歴任。総合的な学習の時間におけるカリキュラム開発や資質・能力の育成を目指す授業改善、ICTの利活用(クラウドを活用しての新たな学習活動など)の研究を進める。2019年3月末、岡山県を退職。

【現在】

- ・「授業デザイン研究所」代表
- ・ノートルダム清心女子大学非常勤講師
- ・経済産業省「未来の教室実証事業」教育コーチ
- ・岡山県ICTPT外部委員(2020)
- ・全国の自治体で授業改善やICT利活用のアドバイザー



〈映像配信/8月25日(水) 14:00〜〉

テーマ・サブテーマ

「正しく怖がる」で創るネットとのご縁
～SNS・スマホで絶対に失敗しない方法とは～

企画 グリー株式会社

趣旨・内容等

現代社会において、インターネットはビジネスや生活に不可欠である一方、使い方を間違えると情報の漏えいやネット炎上につながるリスクも秘めている。この分科会では、SNSやスマホが怖いもの、リスクだと感じている方に、「ネットで絶対に失敗しない方法」を知っていただくことが出来ればと考える。ネットの専門知識は不要、メモ取りも必要なし、講演を終えた後、誰かに伝えたい「ネットで絶対に失敗しない方法」の答えを、参加された全ての方にご理解いただく。また、後半では日頃の講演では扱っていない「炎上させてしまったらどうしたら良いのか」という点を含め、ネット利用における『「思考力・判断力・表現力」の重要性』をキーワードに必要な知識、対処法について話をさせていただき、大人も子供もSNSを正しく利用する方法を考える機会とする。

基調講演講師

小木曾 健氏(グリー株式会社 社会貢献チーム マネージャー)



小木曾 健氏

グリー株式会社 社会貢献チーム マネージャー

1973年、埼玉県生まれ。2010年グリー入社。顧客対応部門、ネットパトロール部門の責任者を経たのち、2013年より現職。

全国の学校、企業、官公庁で2000回以上、40万人以上に対し「ネットで絶対に失敗しない方法」を伝える講演を行う傍ら、メディア、書籍出版、寄稿などを通じて、ネットリテラシーの向上を目的とした活動を行っている。

TV出演は、NHK「あさイチ」「フェイクバスターズ」、TBS「ひるおび!」、フジテレビ「ほんまでっか!?TV」ほか。著書は「11歳からの正しく怖がるインターネット: 大人もネットで失敗しなくなる本」(晶文社)、「ネットで勝つ情報リテラシー」(筑摩書房)、「13歳からの『ネットのルール』」(メイツ出版)ほか。



〈映像配信/8月25日(水) 14:00〜〉

テーマ・サブテーマ

「地域で育む未来への学び」
～教育の魅力化でひろがる新たなご縁～

趣旨・内容等

子どもたちの個性や能力を伸ばし、豊かな心を育むためには、さまざまな性格をもつ地域社会(自然、歴史、文化、伝統行事、産業)に学びの場を設定し、多様な体験活動の機会や多くの異なる世代の人々との出会いを与えることが必要である。地域の持続性、活性という観点から「地元の高校」の存在意義は重要であり、これからの時代に必要な資質・能力を子どもたちに育むために、地域や社会に開かれた教育課程の実現が求められている。また少子化により高校の小規模化・再編成が進むなか、高校をいかに魅力化していくかは、差し迫った課題である。一方、地域社会の多様な機関と連携・協働し、特色ある学びを実現している高校や、全国から生徒を募集する高校も増えている。本分科会では島根県における「教育の魅力化」及び「地域みらい留学」をテーマに、学校と地域社会がいかに連携・協働していくか、管理職や生徒・保護者等と共に探究する機会としたい。

※注釈 「地域みらい留学」とは

高校3年間で地域で過ごす「地域みらい留学」と、高校2年次に1年間地域で過ごす「地域みらい留学 高2留学」があり、全国約70校が参画している。

基調講演講師

岩本 悠 氏(一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム 代表理事/島根県教育庁 教育魅力化特命官)

演 題

地域社会のご縁でつむぐ高校魅力化の過去・現在・未来

コーディネーター

今村 久美 氏(認定NPO法人カタリバ 代表理事)

パネリスト

岩本 悠 氏

立石 祥美 氏(島根県立島根中央高等学校 校長)

山本 竜也 氏(島根県立津和野高等学校 高校魅力化コーディネーター/一般財団法人つわの学びみらい 事務局次長)

池本 洋一 氏(地域みらい留学生/津和野高等学校卒業生の保護者)

鈴木 元太 氏(地域みらい留学卒業生 大学生)

岩永 真詩 氏(島根県立隠岐島前高等学校2年生 地域みらい留学生)

青山 光輝 氏(島根県立隠岐島前高等学校2年生 島内生)

講師プロフィール



岩本 悠氏

一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム 代表理事
島根県教育庁 教育魅力化特命官

東京生まれ。学生時代にアジア・アフリカ20ヶ国を巡り、学習記『流学日記』を出版。その印税等でアフガニスタンに学校を建設。幼・小・中・高校の教員免許を取得し、卒業後はソニーで人材育成・組織開発・社会貢献事業等に従事。2007年より隠岐島前高校の魅力化プロジェクトを推進。2015年から教育魅力化特命官として島根県の高校魅力化に従事。2016年特別ソーシャルイノベーター最優秀賞を受賞(日本財団)。全国の高校支援のための(一財)地域・教育魅力化プラットフォームを設立。『地域協働による高校魅力化ガイド-社会に開かれた学校をつくる(岩波書店)』刊行、日本クリエイション大賞教育文化貢献賞受賞、文部科学省中央教育審議会臨時委員等。

コーディネータープロフィール



今村 久美氏

認定NPO法人カタリバ 代表理事

慶應義塾大学卒。2001年にNPOカタリバを設立し、高校生のためのキャリア学習プログラム「カタリ場」を開始。2011年の東日本大震災以降は子どもたちに学びの場と居場所を提供、2020年には、経済的事情を抱える家庭にPCとWi-Fiを無償貸与し学習支援を行う「キッカケプログラム」を開始するなど、社会の変化に応じてさまざまな教育活動に取り組む。ハタチ基金代表理事。地域・教育魅力化プラットフォーム理事。文部科学省中央教育審議会委員。東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 文化・教育委員会委員。経済産業省産業構造審議会委員。

パネリストプロフィール



立石 祥美氏

島根県立島根中央高等学校 校長

川本高校(母校)と隣町の邑智高校が統合し平成19年度開校した島根中央高校で、24年度から教育魅力化事業を担当。立地する川本町の役場と共に積極的な県外生徒募集も開始し、東京等で単独説明会を開催した。各学年0~5名だった県外生は、26年度には18名が入学、その後各学年30名前後で推移している。

この間3人の子どものも島根中央高校に入学し卒業。教員、保護者として、また卒業生、地域住民として学校に関わった。

30年度からは県教育委員会で教育魅力化事業を担当し、令和3年度から再び島根中央高校に着任となった。

現在の生徒数は216名、島根県内の27校、島根県外81校の計108校の中学校からの出身者が在籍している。

パネリストプロフィール



山本 竜也 氏

島根県立津和野高等学校 高校魅力化コーディネーター
一般財団法人つわの学びみらい 事務局次長

1988年 新潟県柏崎市生まれ

2014年 大学院修了後、津和野町へ移住し、町営英語塾HANKOH立ち上げに関わる

2017年 島根県立津和野高等学校 高校魅力化コーディネーターに着任

2021年 4月より現職

2017年より、マイプロジェクト支援、学校設定科目の立ち上げと運営、生徒募集、広報戦略立案と実行、進路サポート等に関わってきました。本年4月より、津和野町が100%出資して立ち上げた、教育魅力化と地方創生に向けた一般財団法人つわの学びみらいの事務局次長を兼務しています。しまね留学生と関わり始めて、今年で8年目。地域での新しい学びの形を通した、高校生の成長を目の当たりにし、喜びを感じている所です。



池本 洋一 氏

津和野高校卒業生の父親

埼玉県さいたま市在住。2021年3月に島根県立津和野高等学校を卒業した池本次朗の保護者。

次男は現在、慶應大学環境情報学部1年生。

株式会社リクルートにてSUUMO編集長を務める。移住関連の取材で島根県庁を訪問した際に、偶然、岩本悠さんがすぐ近くに居られ「しまね留学」の話を聞く。その話を家に持ち帰ってしたところ、次男が興味を持ち、お世話になることに。

仕事は、住まいの専門家としてテレビ・新聞・雑誌などのメディア出演や講演を行う。国土交通省の各種検討会の委員だけでなく、内閣官房のまち・ひと・しごと創生本部の検討会にも一部参加。趣味は子どもと一緒に全国いろんな街を巡り、地域で頑張っている方の話を聞くこと。



鈴木 元太 氏

地域みらい留学卒業生 東京大学3年

島根県立津和野高等学校卒。東京大学工学部都市工学科3年。北海道、神奈川県出身。神奈川県立の公立高校を退学後、地域みらい留学の制度を利用し津和野高校に再入学。地域系部活動グローバルラボに所属し、竹林整備に関する活動を行いました。推薦入試にて大学進学し、都市工学や建築を学んでいます。大学のオンライン授業化に伴い、2020年10月より津和野町にて学生サポーターとして津和野高校の活動支援に関わっています。高校周辺の情報が共有され新たなつながりや取り組みが生まれる環境を情報・空間設計の観点から取り組んでいます。よろしくお願ひします。

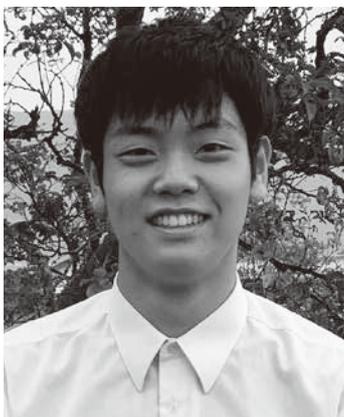
パネリストプロフィール



岩永 真詩氏

島根県立隠岐島前高等学校2年生 地域みらい留学生

東京都出身。私立女子中高一貫校から隠岐島前高等学校へ。現在、島留学2年目。女子バスケットボール部に所属して1勝を目指して練習に取り組む。また、地域活性化するために自分にできることは何かを考えながら、イベントを企画し、1人でも多くの地元の方々との交流に努めています。寮生活などを通して多様性に溢れる日々に向き合いながら、刺激と多くの学びを得て自己改造中。



青山 光輝氏

島根県立隠岐島前高等学校2年生 島内生

隠岐島前高等学校2年生の青山光輝です。私は小学生の頃にここ海士町に引っ越してきました。部活動は男子バレーボール部のキャプテンをしています。中学までの私は、何に対しても中途半端に学校生活を送っていましたが、高校に進学し、島の外から来た島留学生の積極的な姿に圧倒され、今は私がこの島でできることに挑戦しています。海士町に住んでいる地域の人と高校生が関わる機会があまりないので、なにか関わるきっかけを作りたいと考えています。



〈映像配信/8月25日(水) 14:00〜〉

テーマ・サブテーマ

体験でつなぐ人々とのご縁
～「人生100年時代」「不確かな時代」を生きるためのキャリアデザイン～

趣旨・内容等

「人生100年時代」の到来が現実味を帯びてきている現代において、従来の「教育を受ける」「仕事をする」「引退して余生を過ごす」という3つのライフステージモデルは大きな変化を迫られている。また、今回の突然の新型コロナウイルス感染症の世界的な広がり、人々に予測不可能な未来の存在を改めて意識させた。不確かで激しく変化する社会の中で流されることなく、同時に急激な変化にも対応しながら自らの人生を生き抜くためには、自らのキャリアを主体的につくり人生そのものを豊かにしていくための学びが必要となる。そして、そのような社会では「教育」「多様な働き方」「無形資産(経験や人的ネットワーク)」などの必要性がさらに高まってくると考えられている。第4分科会では、体験や人との出会いが自分のキャリア形成にどう結びついていくのかということを中心に、グローバルの視点に立ったキャリア教育、人生とキャリアなどについて、子どもたちだけではなく現代を生きる私たち大人自身の課題としても考える機会とする。

基調講演講師

中村 安希 氏(ノンフィクション作家)

演 題

とにかくやってみる

コーディネーター

丸山 実子 氏(島根大学 地域未来協創本部 人材育成・キャリアデザイン部門長 准教授)

パネリスト

中村 安希 氏
牧田 和樹 氏(一般社団法人全国高等学校PTA連合会 顧問)
熊谷 修山 氏(島根県立浜田高等学校 校長)
森脇 美麗空 氏(松江市立皆美が丘女子高等学校 卒業生)

講師プロフィール



中村 安希氏

ノンフィクション作家

カリフォルニア大学アーバイン校芸術学部演劇科卒。香港大学大学院ジャーナリズム専攻修士課程修了。09年、47カ国を巡る旅をもとに書いた『インパラの朝』で開高健ノンフィクション賞を受賞。他の著書に、『Beフラット』『食べる。』『愛と憎しみの豚』『リオとタケル』『ラダックの星』『N女の研究』『もてなしとごちそう』など。世界約100カ国を訪問取材し、新聞、雑誌などメディアへの寄稿多数。

現在は、林業、農業、有害鳥獣駆除など、地方の活動を経験中。

コーディネータープロフィール



丸山 実子氏

島根大学 地域未来協創本部人材育成・キャリアデザイン部門長
准教授

東京都出身 大学卒業後アルミニウムメーカーのOLからANA客室乗務員となる。その後、キャリアコンサルタントとしてニート・ひきこもり支援をNPOで担う傍ら、短大・大学でもキャリアセンターにて就職支援に携わる。その後、大手ホテルで人事部採用担当→キャリアに関わる教育業を東京で起業し代表となる。働きながら大学院で学んだことをきっかけに2016年より島根大学准教授 キャリアセンターキャリア教育部門長としてキャリア教育に携わる。2021年より地域未来協創本部 人材育成・キャリアデザイン部門長に着任。専門は、「ライフキャリアの視点を取り入れたキャリア教育」。

パネリストプロフィール



牧田 和樹氏

一般社団法人全国高等学校PTA連合会 顧問

1961年富山県生まれ。日本道路公団を経て牧田組入社、1990年代表取締役社長に就任、現在に至る。Bリーグ富山グラウジーズ社外取締役。

1999年度より富山大学人間発達科学部附属小学校PTAに関わり会長等を歴任。以降、同附属中学校PTA監事等を経て、2009年度ならびに2014~2015年度富山県立富山中部高等学校PTA会長、2014~2015年度富山県高等学校PTA連合会会長、2017~2019年度一般社団法人全国高等学校PTA連合会会長、2020年度より同顧問。

射水商工会議所(富山県射水市)会頭、富山経済同友会副代表幹事はじめ多数の各種団体役員に就任。経済人として県内小・中・高の各学校にて課外授業講師を務める。2016年より県内教員と共に人間力を学ぶ暁鐘塾を主宰。

パネリストプロフィール



熊谷 修山 氏
島根県立浜田高等学校 校長

大学卒業後、国語科教諭として、山口県で5年間勤務した後島根県に帰り県立高校を歴任しました。2011年に始まった島根県の「離島・中山間地域高校魅力化・活性化事業」に、教諭・管理職として開始当初より携わってきました。特に島根県内最小規模の吉賀高等学校には教頭・校長として、続いて隣接する津和野高校そして現在の浜田高校で校長として地域と連携して学校経営にあたってきました。その中でキャリア教育は、生徒と地域社会の接点であり、高校魅力化という視点からも、特に重視してきました。本日は、よろしくお願いします。



森脇 美麗空 氏
松江市立皆美が丘女子高等学校 卒業生

島根県生まれ松江市育ちです。学生時代より海外に興味があり、大学時代には「ラオス広報部」を立ち上げ部長として、メンバーと協力しながら活動しておりました。活動の目的として、発展途上国であるにもかかわらず、知名度の低さから十分な支援を受けられていないラオスの子供たちの現状を知ってもらうため、様々な場所でプレゼンテーションや絵本で支援しておりました。今回のパネルディスカッションにおいて、経験したこともふまえながら、意見を述べたいと思います。宜しくお願いします。



〈映像配信/8月25日(水) 14:00〜〉

テーマ・サブテーマ

グローバルにつなぐ教育とのご縁 ～SDGs(持続可能な開発目標)と新たな明日への礎のために～

趣旨・内容等

地球規模での人的な流動性や相互依存が高まり、グローバル化が大規模に広がっている。その中で新型コロナウイルス感染症拡大は、経済、気候変動、自然災害だけでなく感染症も地球規模で人々の暮らしに深刻な影響を及ぼすことを改めて私たちに気づかせた。国連は2015年にSDGs(持続可能な開発目標)として17の目標を設定し、グローバルな課題の解決に向け様々な取組みを行っている。第5分科会ではSDGsを取り上げ、現代社会の課題の解決につながる多様な価値観や行動を生み出すことを目指す日本や各国の取組みを知る機会とする。

また、各国の教育事情やそこで学ぶ子どもたちのようす、学校と保護者との関わりなどについて報告を受け、グローバルな視点で教育について考える機会とする。

基調講演講師

久木田 純氏(関西学院大学 SGU招聘客員教授)

演 題

地球と私たちの未来:21世紀の生き方とSDGs教育

コーディネーター

香川 奈緒美氏(島根大学 教育学部 准教授)

パネリスト

久木田 純氏

鈴木 有紀子氏(公益財団法人日本ユニセフ協会 学校事業部 副部長)

サミーラ グナワラデナ氏(株式会社タビカラ 代表取締役)

本間 康浩氏(島根県立飯南高等学校 PTA)

講師プロフィール



久木田 純氏

関西学院大学 SGU招聘客員教授

関西学院大学学長直属SGU招聘客員教授、大学院国連・外交コース担当。国連フォーラム代表理事。日本国際連合学会事務局長。

西南学院大学、シンガポール国立大学を経て、九州大学大学院で教育心理学修士号取得、同博士課程進学。1985年外務省JPO試験に合格、国連職員としてモルディブ、東京、ナミビア、バングラデッシュ、ニューヨーク本部で勤務後、東ティモールとカザフスタンのユニセフ事務所代表を歴任。国連退官後2015年9月より現職。2003年に世界銀行総裁賞受賞、2011年に東ティモール共和国勲章受勲。著書に『東ティモールの現場から～子どもと平和構築』（ソコト新書2012年、Kindle版2018）

コーディネータープロフィール



香川 奈緒美氏

島根大学 教育学部 准教授

島根県立大社高等学校卒業。

米国ミネソタ大学コミュニケーション学博士課程卒業後、テキサス大学で講師を務め、友人や家族、文化や価値観の異なる他者との相互理解やコミュニケーション行動についての研究を行い、多様性やジェンダーに関わる講義を担当。

2012年に島根大学に就任後は、グローバルな視野で考え、より良い社会のために行動できる市民を育てる教育と研究を行う。その他、宇宙航空研究開発機構(JAXA)と協働して、探求力を高め、主体的学びの態度形成を目的とした家庭教育プログラムや教員研修を実施している。コロナ禍においては、オンライン上で複数の国や地域の大学生や子どもたちが学び合うプログラムを立ち上げた。

パネリストプロフィール



鈴木 有紀子氏

公益財団法人日本ユニセフ協会 学校事業部 副部長

大学卒業後、一般企業勤務を経て1996年より日本ユニセフ協会に勤務しています。日本ユニセフ協会は日本の民間でユニセフを代表する組織として、募金活動や広報活動のほか、子どもの権利を実現するためのアドボカシー活動を実施しています。私自身はこれまでにユニセフ学校募金事業や広報、企業とのパートナーシップ等を担当し、現在は学校でのユニセフ活動、国際理解教育、「子どもの権利条約」等の推進に取り組んでいます。特にSDGs(持続可能な開発目標)については、学習をサポートする教材やウェブサイト「SDGs CLUB」等を制作するなどしています。子どもたちが自身と地球の未来に希望を持って様々な課題解決に取り組んでくれるよう願っています。



サミーラ グナワラデナ 氏

株式会社タビカラ 代表取締役

スリランカ出身 39歳

2001年に留学生として来日。2006年海士町に移住。海士町観光協会では島宿の立ち上げなど様々な戦略の実行を担う。「外国人による日本語弁論大会」で海士町のまちづくりについて語り、外務大臣賞を受賞。2015年から島根県奥出雲町観光協会の観光プロデューサーとして働き、観光協会の立ち上げ、法人化に関わる。2021年4月に株式会社タビカラを設立。



本間 康浩 氏

島根県立飯南高等学校 PTA

1973年飯南町頓原に生まれ(丑年の牡牛座、今年は4度目の年男)、高校卒業後すぐに地元へ就職し30年。気が付けば大学生1年生と高校生2年生の息子の父です。いつでも傍らにいて当たり前存在であった「子ども」としての彼らと、一緒にいる時間がそんなに残されていない現実、寂しさと、焦りにも似た感覚を覚えながら過ごす日々です。この度は役職のないPTA会員として分科会に参加させていただく機会をいただくこととなりました。

表題にある分科会のテーマに見合う意見を述べる事ができるか一抹の不安ありますが、一保護者として自然体で臨みたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



〈映像配信/8月25日(水) 14:00〜〉

テーマ・サブテーマ

未来社会に対応するための教育とのご縁
～「主体的・対話的で深い学び」や「学校と社会の連携・協働」のあり方～

趣旨・内容等

2022年度から年次進行で実施される高校の新学習指導要領では、変化が激しくAIも導入される未来社会を子どもたちが生き抜くために、大きく2点が示された。1つには、教育課程全体を通して目指す資質・能力を「学びに向かう力、人間性等」などの3つの柱で整理し、それらを育成するために主体的・対話的で深い学びの実現を図ること。2つめには、よりよい社会をつくるという目標を学校と社会が共有しながら連携・協働していく、いわゆる社会に開かれた教育課程を実現することである。

一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大により、学校の臨時休業や分散登校、オンライン授業等の授業形態の変化など「対話的な」学びを妨げ、様々なイベント・行事の自粛など学校と地域社会との連携・協働を分断する懸念材料も出てきた。第6分科会では、新学習指導要領と新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を念頭において未来社会に対応するための教育について考える機会とする。

基調講演講師

荒瀬 克己 氏(独立行政法人教職員支援機構 理事長)

演 題

生徒を主語にした学校づくりに向けて

コーディネーター

泉 雄二郎 氏(島根大学 教育・学生支援本部 大学教育センター 教授)

パネリスト

荒瀬 克己 氏

合田 哲雄 氏(内閣府(科学技術・イノベーション推進事務局) 審議官)

石田 学 氏(株式会社エブリプラン執行役員 グローカル研究所 所長/株式会社ERISA 常務取締役技術責任者)

杉浦 弘明 氏(島根県立出雲高等学校 PTA会長)

今岡 正和 氏(島根県立出雲商業高等学校 PTA会長)

講師プロフィール



荒瀬 克己氏

独立行政法人教職員支援機構 理事長

京都市立堀川高等学校長、京都市教育委員会教育企画監、大谷大学文学部教授、関西国際大学学長補佐を経て現職。中央教育審議会副会長、初等中等教育分科会長、同教育課程部会長、同教員養成部会委員、「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会委員・部会長代理、教員免許更新制小委員会委員、大学改革支援・学位授与機構国立大学教育研究評価委員会委員等を務める。

著書に『奇跡と呼ばれた学校』（朝日新書）、『「アクティブ・ラーニング」を考える』（共著、東洋館出版社）等。「月刊高校教育」（学事出版）にコラムを連載。

コーディネータープロフィール



泉 雄二郎氏

島根大学 教育・学生支援本部大学教育センター 教授

1957年島根県松江市生まれ。大阪大学基礎工学部卒業後、県内9つの県立高校、県教育委員会に勤務。2017年島根県立松江北高校で退職を迎え、その後島根大学教育・学生支援機構アドミッションセンター（現大学教育センター）に勤務し、現在に至る。

県立学校勤務時には、島根県立松江東高校のスーパーサイエンスハイスクールの立ち上げ、県教委の学力向上対策事業に関わった。

現在、島根大学で5年目を迎え、大学入学共通テストを課さず、高校生の「学びのタネ」（好奇心や探究心）を評価する新しい総合型選抜「へるん入試」の実施・広報や高校と大学の連携事業を主な業務として、地域創生をめざした県内高校、大学の教育改革に取り組んでいる。

パネリストプロフィール



合田 哲雄氏

内閣府(科学技術・イノベーション推進事務局) 審議官

1970年生、倉敷出身。92年旧文部省入省、福岡県教育庁高校教育課長、初中局教育課程企画室長、NSF(全米科学財団)フェロー、高等教育局企画官、初中局教育課程課長、財務課長を経て2020年4月から現職。2008年と17年の二度の学習指導要領改訂を担当。上越教育大学、東北大学の非常勤講師。単著に『学習指導要領の読み方・活かし方』（2019年）、共著に『学校の未来はここから始まる』（2021年）(ともに教育開発研究所)。



石田 学氏

株式会社エブリプラン 執行役員グローバル研究所長
株式会社ERISA 常務取締役技術責任者

私は、島根県松江市に生まれ、島根県立松江北高校を卒業後、京都大学文学部に入学しました。しかし度重なる留年のあげく中退した後、島根大学生物資源科学部生命工学科に入学し遺伝子工学を学びました。卒業後は地元のコンサルティング会社に入社し、地元中小企業のインドへの事業展開の支援や、人工知能を活用した認知症の診断支援プログラムの開発等、地元島根に新たな雇用を生み出すべく、国内外で業務に励んでいます。現在は業務の傍ら島根大学大学院医学研究科博士課程にて神経学の研究に取り組んでいます。紆余曲折ばかりで高校生の手本にはとてもなれないような人生を送ってきましたが、反面教師代表として何かお役に立てれば幸いです。



杉浦 弘明氏

島根県立出雲高等学校PTA会長

島根立出雲高等学校卒業 内科開業医 長男は島根県立出雲高等学校普通課3年 次男は出雲市立第一中学校1年 とともに 野球部。

私は地域の医療活動を個々の患者さんレベルから地域全体の保健活動まで様々な職種の方と常に情報連携し協働しています。医療も教育も連携と協働の大切さは同じだと思います。

小学校の学校医を20年間勤め、近隣の子供たちの成長を20年見てきました。全国の半数以上の学校で使用されている学校欠席者情報収集システムを12年前に開発しました。新型コロナウイルス感染症も含めて子供たちが感染症から守られることを願っています。

PTA活動を通して、将来の日本を担う高校生の健やかな成長をサポートしてまいりたいと思います。



今岡 正和氏

島根県立出雲商業高等学校PTA会長

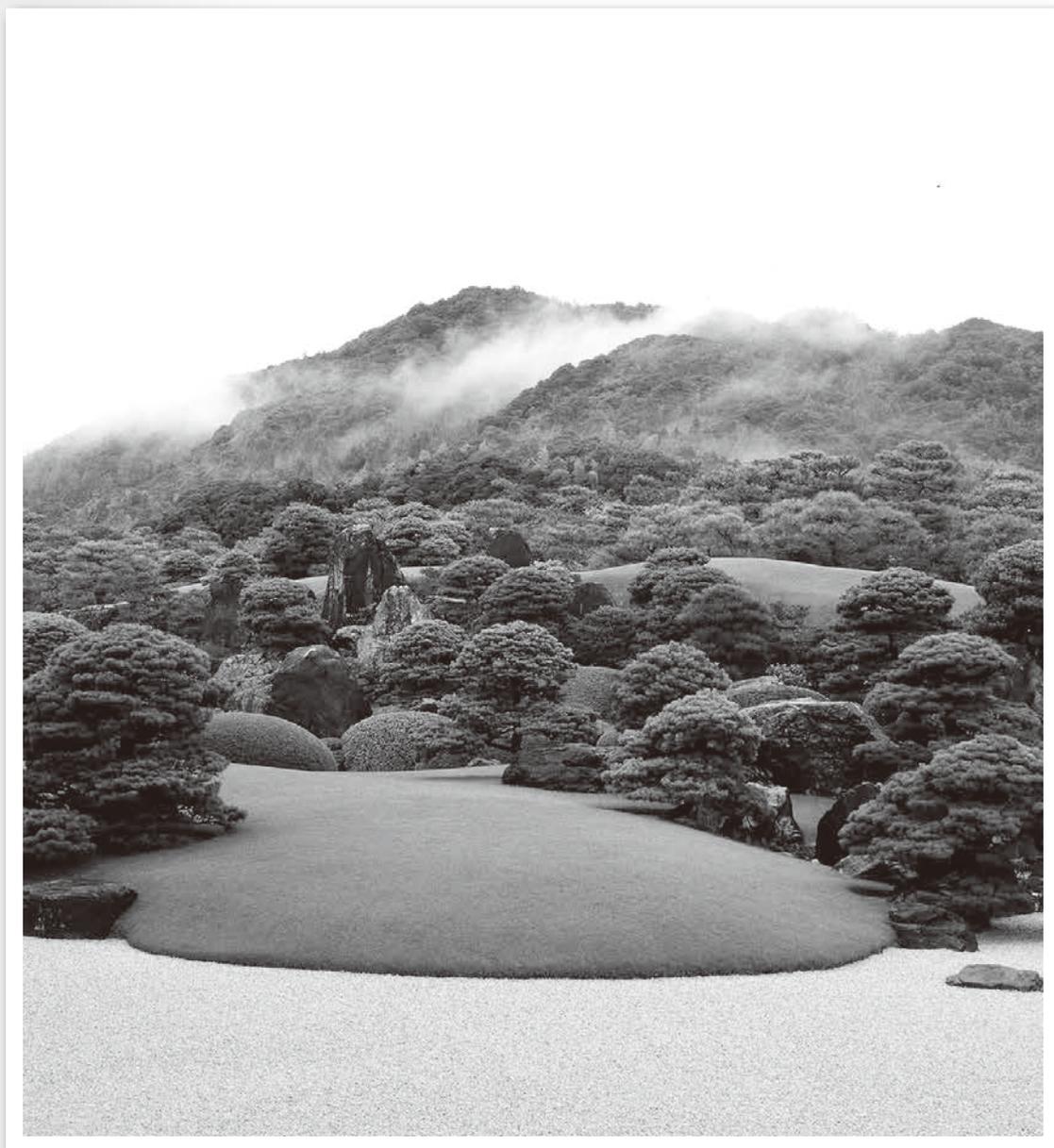
1976年生まれ、島根県出雲市在住、高校3年生の娘、小学3年生の息子を持つ二児の父です。

普段から、人との出会いを大切にしている、数ではなく、どんな人に出会ったかという質を大切し、今まで会った人たちを大切にしているからこそ、自然に人から人へのご縁がつながり、たくさんの方に囲まれていると思います。

今回のパネリストもそのご縁と思っています。よろしくお願いいたします。



表 彰



足立美術館(安来市)

えん
ご縁づくり
～新たな明日への礎のために～

第70回 全国大会会長表彰個人名簿



表彰

県名	個人	
	氏名	所属高校名
北海道	森 政徒	北海道札幌英藍高等学校
青森	金田 実	青森県立弘前実業高等学校
秋田	高橋 徳久	秋田県立大曲高等学校
	小澤 澄人	秋田県立能代支援学校
茨城	秋元 俊夫	茨城県立鹿島高等学校
栃木	見目 哲男	栃木県立宇都宮商業高等学校
	鈴木 政伸	栃木県立栃木商業高等学校
群馬	清水 祐一	群馬県立高崎高等学校
埼玉	田中 千晴	埼玉県立鳩山高等学校
	梅沢 美佳	埼玉県立浦和東高等学校
	細屋みどり	埼玉県立妻沼高等学校
千葉	吉田 香織	千葉県立安房拓心高等学校
	小出祐一郎	千葉県立市原高等学校
神奈川	馬場 大雄	神奈川県立城山高等学校
	葛山 聡	神奈川県立大和高等学校
山梨	島村 茂幸	山梨県立韭崎高等学校
新潟	遠藤 忠克	新潟県立長岡高等学校
	松野 始	新潟県立新潟工業高等学校
富山	小峰 正文	富山県立魚津高等学校
石川	濱坂 尋士	石川県立大聖寺高等学校
	寺下 由朗	石川県立能登高等学校
福井	北村 辰一	福井県立三国高等学校
	田中 正志	福井県立美方高等学校
岐阜	廣田 直子	岐阜県立山県高等学校
三重	坂崎 宣幸	三重県立稲生高等学校
大阪府	山本富美恵	大阪府立三島高等学校
	梅井佳代子	大阪府立農芸高等学校
大阪府	友實 聖美	大阪府立東淀工業高等学校
京都府	池本 泰	京都府立菟道高等学校
	藤田 淳志	京都府立大江高等学校
滋賀	川本 幸一	滋賀県立石部高等学校
	安達 昇	滋賀県立米原高等学校
奈良	毛利 敬子	奈良県立桜井高等学校
和歌山	河里 芳広	和歌山県立向陽中学校高等学校
	林 富弘	和歌山県立箕島高等学校
兵庫	大野 智子	兵庫県立兵庫工業高等学校
	橋本 達夫	兵庫県立尼崎北高等学校
	北山登志紀	兵庫県立柏原高等学校

県名	個人	
	氏名	所属高校名
鳥取	石亀 清和	鳥取県立倉吉農業高等学校
島根	野々村卓也	島根県立松江工業高等学校
	塩野 稔昭	島根県立出雲工業高等学校
	佐藤 龍美	島根県立島根中央高等学校
	豊田 さゆり	島根県立矢上高等学校
	志波 英樹	島根県立矢上高等学校
山口	筑本 浩行	山口県立岩国工業高等学校
	佐藤 淳子	山口県立大津緑洋高等学校
広島	島 靖英	広島県立黒瀬特別支援学校
	三好 尚子	広島市立広島商業高等学校
	武田 親	呉市立呉高等学校
岡山	依田 啓介	創志学園高等学校
	橋野 耕一	岡山県立津山高等学校
徳島	菊川公美恵	徳島県立城北高等学校
香川	綾野 義博	香川県立丸亀高等学校
	村山 祐介	香川県立香川中央高等学校
愛媛	加地 千草	愛媛県立新居浜商業高等学校
	上田 敏博	愛媛県立松山中央高等学校
高知	山岡めぐみ	高知市立高知商業高等学校
	川上 敦也	高知県立窪川高等学校
福岡	山本 美穂	福岡県立西田川高等学校
	藤 憲治	福岡県立福岡魁誠高等学校
	弥永 祐一	福岡県立小倉南高等学校
佐賀	山崎 裕史	佐賀県立香楠中学校・鳥栖高等学校
	野中 宣明	佐賀県立佐賀北高等学校
長崎	八並 学	長崎県立佐世保東翔高等学校
	田川 三洋	長崎県立川棚特別支援学校
熊本	坂口 明夫	熊本県立玉名高等学校・玉名高等学校附属中学校
	船崎 秀幸	熊本県立天草高等学校
大分	長嶋 浩二	大分県立日田高等学校
宮崎	立山 朱美	宮崎県立富島高等学校
	河野 宏幸	宮崎県立日南高等学校
鹿児島	田實 澄恵	鹿児島県立開陽高等学校
	松田 学	鹿児島県立種子島高等学校
沖縄	長山 勝美	沖縄県立名護商工高等学校
	船谷 政喜	沖縄県立南風原高等学校

以上74名

第70回 全国大会会長表彰団体名簿



表
彰

県名	団体	
	団体名	代表者氏名
青森	青森県立弘前実業高等学校父母教師会	葛西 達丞
岩手	岩手県立盛岡商業高等学校PTA	伊藤 哲也
	岩手県立花巻南高等学校PTA	及川 功
秋田	秋田県立湯沢翔北高等学校雄勝校PTA	菅 善徳
	秋田県立秋田西高等学校PTA	奈良 毅
宮城	仙台市立仙台高等学校PTA	和泉 恭子
山形	山形県立鶴岡南高等学校PTA	石井 裕樹
	山形県立寒河江高等学校PTA	佐藤 和彦
福島	福島県立会津学鳳高等学校父母と教師の会	荒川 修
茨城	茨城県立江戸崎総合高等学校PTA	茂木 孝允
栃木	栃木県立小山高等学校PTA	植村 一
群馬	群馬県立長野原高等学校PTA	宮崎 つばさ
	群馬県立中央中等教育学校PTA	阿久津 等
埼玉	埼玉県立春日部東高等学校PTA	高橋新野助
千葉	千葉県立船橋橋典高等学校PTA	清水裕美子
	千葉県立市川南高等学校PTA	竹林 真紀
神奈川	神奈川県立湘南高等学校PTA	板倉 宏之
	神奈川県立相模原弥栄高等学校PTA	田代 秀之
	神奈川県立多摩高等学校PTA	森山 弘子
新潟	新潟県立十日町高等学校PTA	村山 浩一
	新潟県立巻高等学校PTA	佐藤 政則
富山	富山県立桜井高等学校PTA	古川 和幸
	富山県立砺波高等学校PTA	今井 宏
福井	福井県立科学技術高等学校PTA	東 真一
	福井県立敦賀高等学校PTA	村中 康幸
長野	長野県穂高商業高等学校	西脇 睦博
岐阜	岐阜県立山県高等学校PTA	岡田みどり
	岐阜県立大垣西高等学校育友会	二ノ宮一貴
	岐阜聖徳学園高等学校保護者会	高田 篤敬
静岡	静岡県立浜松工業高等学校PTA	原田 和典
	静岡県立袋井特別支援学校PTA	石黒 加奈
愛知	愛知県立尾北高等学校PTA	杉浦 美和
	愛知県立大府特別支援学校PTA	若林 賢
	愛知県立名古屋西高等学校PTA	住田 正美
三重	三重県立四日市工業高等学校PTA	田中 弘輔
	三重県立神戸高等学校PTA	田野 春美

県名	団体	
	団体名	代表者氏名
大阪市	大阪市立東高等学校PTA	尾崎勝一郎
	大阪市立咲くやこの花高等学校PTA	村田 千恵
京都府	京都府立大江高等学校PTA	赤松 伸一
	京都府立向日が丘支援学校PTA	小林 美幸
和歌山	和歌山県立笠田高等学校PTA	青山 禄郎
	和歌山県立粉河高等学校PTA	川端 敏之
兵庫	兵庫県立神戸甲北高等学校PTA	尾川 優子
	兵庫県立香住高等学校PTA	滝本 郷
	兵庫県立洲本実業高等学校PTA	池尻ゆかり
鳥取	鳥取県立智頭農林高等学校PTA	安養寺 登
	鳥取県立倉吉西高等学校PTA	尾崎 宏之
島根	島根県立出雲商業高等学校PTA	今岡 正和
	島根県立江津高等学校PTA	益野 敬好
山口	山口県立岩国工業高等学校PTA	筑本 浩行
	山口県立大津緑洋高等学校PTA	佐藤 淳子
広島	広島市立広島中等教育学校PTA	山本やよい
岡山	創志学園高等学校PTA	森本仁樹子
	岡山県立勝間田高等学校PTA	岸本加奈枝
香川	香川県立石田高等学校PTA	木村 健次
	香川県立高松南高等学校PTA	福家 功
高知	高知県立須崎総合高等学校PTA	大野 明
	高知県立清水高等学校PTA	岡林 賢純
福岡	福岡県立稲築志耕館高等学校PTA	和多 玲華
	福岡県立福岡魁誠高等学校PTA	高村 臣慶
	福岡県立福岡農業高等学校PTA	戸田紀代美
佐賀	佐賀県立佐賀工業高等学校教育後援会	古賀 隆
	早稲田佐賀高等学校後援会	大河内正康
長崎	長崎県立壱岐商業高等学校PTA	脇田 良司
	長崎県立長崎鶴洋高等学校PTA	小畑 昭仁
熊本	熊本県立御船高等学校育友会	竹下 涉
	熊本県立高森高等学校後援会	白石 豊和
大分	大分県立臼杵高等学校PTA	眞部 健吾
	大分県立別府翔青高等学校PTA	沼田 守生
宮崎	宮崎県立延岡星雲高等学校PTA	岩田 浩之
	宮崎県立小林秀峰高等学校PTA	石山 拓磨
鹿児島	鹿児島県立明桜館高等学校PTA	勝田 正志
沖縄	沖縄県立与勝高等学校PTA	高宮城 学
	沖縄県立知念高等学校PTA	運天 貴也

以上74団体

第70回 役員等表彰者個人名簿



表
彰

所属	氏名	都道府県 市連	都道府県 市連事務局	全国	地区
岩手	清水 成樹	会長			
秋田	澤井 康孝		事務局長		
宮城	佐藤 慎也	会長			
山形	永森 忠大	会長			
福島	黒森 陽一	会長			
茨城	安見 貴志	会長			
栃木	澁江 一雄		事務局長		
群馬	柳澤 剛文	会長			
埼玉	栢田 幸弘	会長			
千葉	櫻井 澄香	会長			
山梨	金丸 正	会長		理事	会長
新潟	野本 博之	会長			
	中村 健郎		事務局長		
石川	中田 靖治	会長			
福井	齋藤 力	会長		理事	会長
	直正 修一		事務局長		
長野	西脇 陸博	会長			
岐阜	笠原 幸治	会長			
愛知	黒田 耕作	会長			
三重	藤原佐知子	会長		理事	会長
	水野 恵宏		事務局長		

所属	氏名	都道府県 市連	都道府県 市連事務局	全国	地区
大阪府	徳永寿美代	会長		理事	会長
大阪市	田中 智基	会長			
京都府	寺田 浩作	会長			
京都市	中村千恵美	会長			
	道越 隆夫		事務局次長		
奈良	安田 昌弘	会長			
和歌山	山田 博章	会長			会長
兵庫	計倉 克弥	会長			
鳥取	秦野 啓一	会長			
島根	加藤 淳子		事務局員		
山口	銭廣 義和	会長			
	山本 貴司		事務局長		
広島	伊福 聡	会長		理事	会長
岡山	福原 弘之	会長			
高知	中村 哲夫		事務局長		
福岡	中島 克美	会長			
全国	牧田 和樹				会長
	森崎 綾子				副会長
	大塚 一雄				常務理事 事務局長

以上40名

特別感謝状

第69回全国大会開催地に対する特別感謝状受賞団体

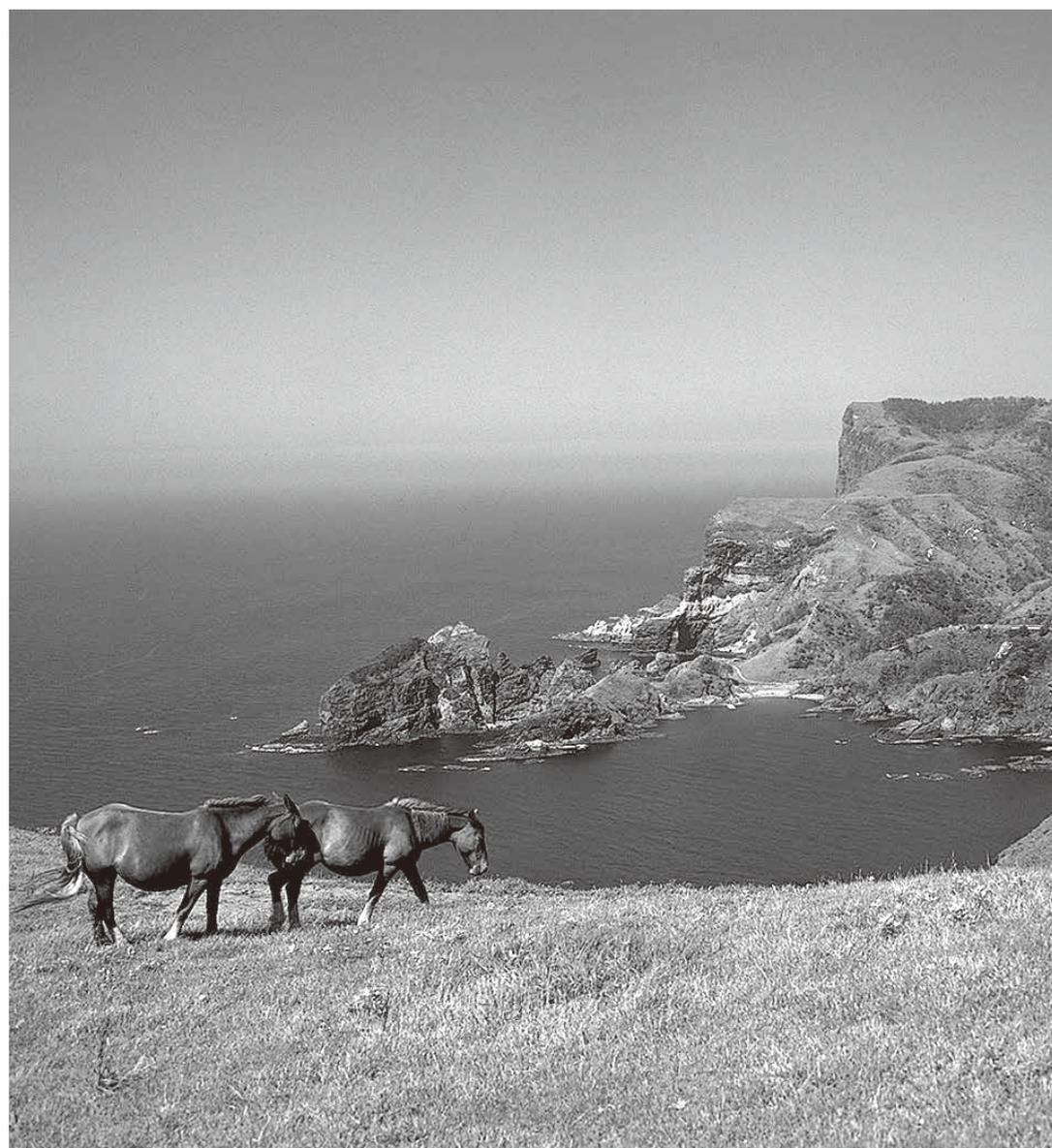
京都府立高等学校PTA連合会
京都市立高等学校PTA連絡協議会

第69回全国大会開催地実行委員長に対する特別感謝状受賞者

第69回全国大会京都大会実行委員長 奥野 貴史



アトラクション



国賀海岸(隠岐郡西ノ島町)

えん
ご縁づくり

～新たな明日への礎のために～



島根県立松江商業高等学校 吹奏楽部

▶ 団体紹介

本校吹奏楽部は、吹奏楽コンクールやマーチングコンテストなどの大会出場、そして定期演奏会をはじめとする地域での演奏活動に積極的に取り組んでいます。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、吹奏楽コンクールとマーチングコンテストが中止となりました。新たな目標を模索する中、生徒の「できるだけ多くの演奏の場を持ちたい」「他校とのジョイントコンサートができれば嬉しい」という前向きな気持ちから、8月には本校主催の「サマーコンサート2020『夏、吹奏楽』」(2回公演)を、10月には県内のマーチング仲間と「マーチングステージ2020『秋、マーチング』」を開催することができ、県内及び県外の多くの吹奏楽仲間とともに楽器を奏でる喜びを改めて感じる事ができました。そして、12月には第22回定期演奏会を例年通り行いました。

本大会はリモートでの出演となりますが、私たちのステージを楽しんでもらえたら幸いです。

一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、皆様の日常が戻ることを願っています。



サマーコンサート2020『夏、吹奏楽』



マーチングステージ2020『秋、マーチング』



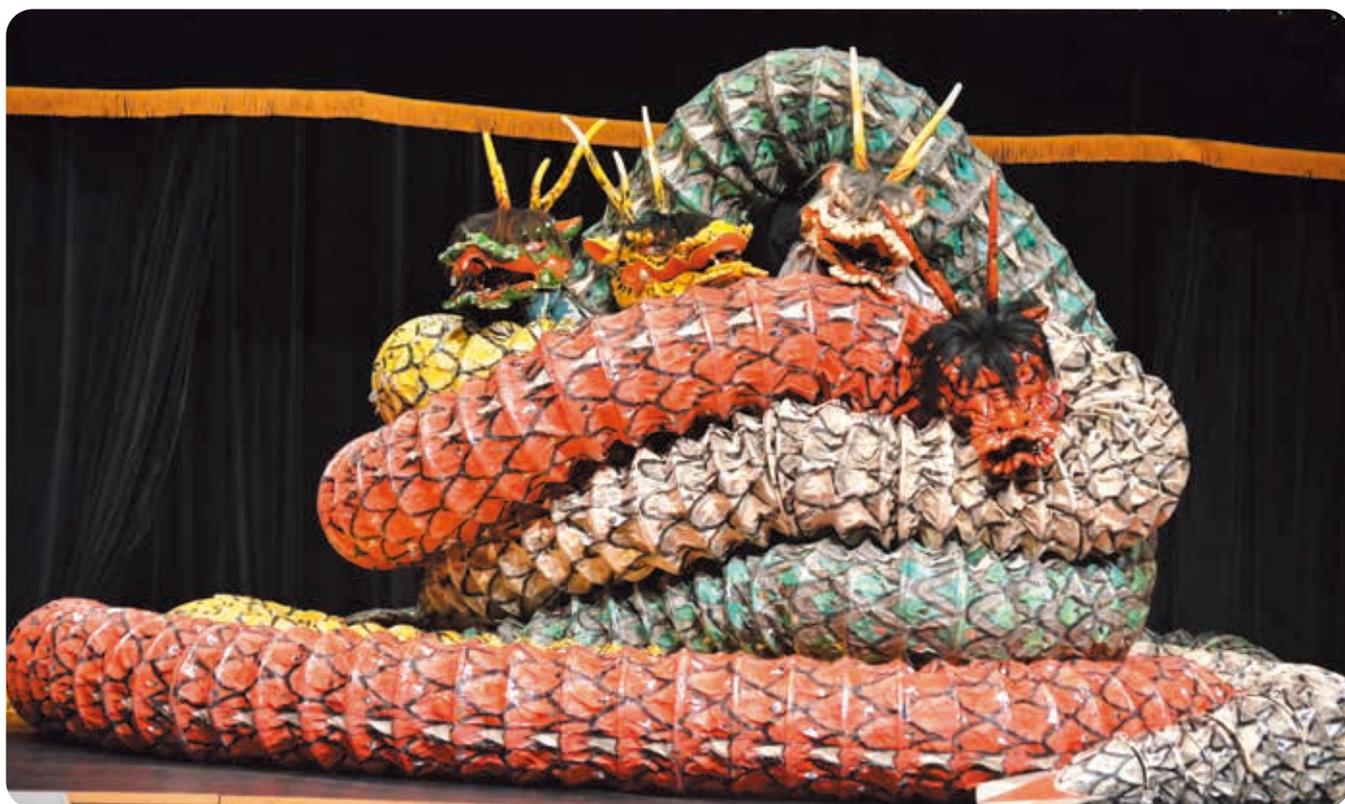
島根県立浜田商業高等学校 郷土芸能部

▶ 団体紹介

島根県立浜田商業高等学校郷土芸能部は平成17年に創部され、現在は3年生3名、2年生10名、1年生2名の計15名で活動しています。例年校外から公演依頼を多くいただいており、一昨年度は年間30公演を行いました。昨年度および今年度は新型コロナウイルスの影響もあり公演数は減少しましたが、観客の皆様にご満足いただけるよう日々の練習に取り組んでいます。また、神楽は自然への感謝の気持ちから大切に継承されてきたということを理解しながら、部活動を通して礼節と協調精神の醸成をはかり日頃の練習に取り組んでいます。

本日は「大蛇」を上演します。須佐之男命すさのおのみことは、出雲国の斐伊川上流で「八岐大蛇に毎年娘をさらわれ、残った末娘の稲田姫いなだひめも喰われてしまう」と嘆き悲しむ老夫婦と姫に出会います。須佐之男命は稲田姫を妻にすることを約束させ、毒酒で酔わせて八岐大蛇を討ち取ります。

日本の神話で最も有名な石見神楽の演目「大蛇」のダイナミックな動きをご覧ください。





島根県立江津高等学校 神楽愛好会

▶ 団体紹介

島根県立江津高等学校は、創立63年を迎えました。創立60周年を機に、創立時の精神に立ち返って「脱皮」をめざし、「地域の未来に資する学校」となるべく、全校生徒が勉学や様々な活動に取り組んでいます。

神楽愛好会は、「礼儀・感謝・向上心」を活動理念とし、神楽を通して地域を学び、地域社会に貢献できる人となるため、神楽公演や、神楽に関わるイベント、ボランティア活動等を行ってきました。特に近年では、神楽をもっと多くの人に深く知ってもらい、神楽をより楽しんでもらうために、江津市の市民大学・GOつくる大学において、生徒自身による、神楽やその演目の解説を積極的に行っています。

この度、披露させていただくのは島根県西部、石見地方の伝統芸能「石見神楽」の花形演目の一つである「八岐大蛇」です。この演目は、須佐之男命の大蛇退治神話を神楽化したものです。

本日は、神楽愛好会9名と愛好会の卒業生や愛好会をサポートする大人たちとで披露させていただきます。高校生と地域の様々な大人たちが定期的に交流できるのも江津高校神楽愛好会の特徴のひとつです。

それでは、出演者一同、精一杯披露いたしますので、最後までごゆっくりお楽しみください。





島根県立三刀屋高等学校 演劇部

▶ 団体紹介

高校演劇の全国大会への道のりは険しい。県大会で1番になっても出場できない。中国地方でいうならば各県の代表校によって開催される中国ブロック大会で最優秀賞を受賞した1校のみが、翌年度に開催される全国大会への切符を手にすることができるのだ。島根県立三刀屋高等学校はH16～H23(8年連続)、H28～R2(5年連続)に島根県代表として中国大会に出場し、そのうち10回上位入賞を果たしている。全国大会へはH18、H19、H20、H22、H24に出場。H18「三月記～サンゲツキ～」H20「暮れないマーチ」H22「オニんぎょ」では全国大会上位4校のみが出場する優秀校東京公演(国立劇場)でも上演を果たした。

昨年度は「ただ、今」で8年ぶり6回目の出場となる予定であったが新型コロナウイルス感染症流行によって高知での全国大会がWEB開催となり、今年3月に愛知県で開催された代替大会に出場した。

▶ ごあいさつ

コロナに振り回された1年でした。全国大会での上演もできず、その後も練習や上演が思うようにはできませんでした。そのような中でつくった「ただ、今」「ヤマタノオロチ異聞」という作品を収録してYouTubeで配信しております。本日も直接上演することはかないませんが、島根県雲南市で育ち、長崎で原子爆弾に被爆しながら平和と愛を語り続けた永井隆博士の遺された文章を、朗読劇としてお送りいたします。

なお、上演できなかった「ただ、今」の映像は昨年8月に島根県民会館で収録したものを「しまねっこCH」よりご視聴いただけます。





島根県立出雲農林高等学校 出農太鼓部

▶ 団体紹介

島根県立出雲農林高等学校は、島根県東部の出雲市にある島根県唯一の農業専科の高校です。学科は植物科学科、環境科学科、食品科学科、動物科学科の4学科あり、それぞれの学科で特色ある教育活動を実施しています。出雲農林高校和太鼓部、略して「出農太鼓部」は平成15年に活動を開始し、現在は18年目になります。主な活動として、地域のお祭りや各種イベントに参加し、和太鼓の魅力伝えていきます。また、近年では全国高等学校総合文化祭の島根県代表としても出場しています。

本日演奏する曲は「新七兵衛太鼓」と「彩」の2曲です。1曲目に演奏する「新七兵衛太鼓」は出農太鼓部の創部以来、先輩から後輩へ引き継がれている演目で、地元出雲市を流れる農業用水路「高瀬川」の開削に尽力した「大楳七兵衛」の努力と功績を称えるために創られた演目です。

2曲目に演奏する「彩」は、和太鼓のプロ集団である「鼓童」の演目を本校用にアレンジを加えた曲で、とても華やかな演目となっています。

新型コロナウイルスの影響で思ったような活動がなかなかできませんでしたが、本日演奏できること、皆様に太鼓を披露できることに感謝をし、一生懸命演奏いたします。





資 料



石見銀山～大森の町並み～(大田市)

えん
ご縁づくり
～新たな明日への礎のために～



初代	長岡文蔵	(自 昭和27年11月 至 昭和32年 8月)
二代	山口虎夫	(自 昭和32年 8月 至 昭和44年 8月)
三代	藤江黙成	(自 昭和44年11月 至 昭和48年 8月)
四代	花田 一	(自 昭和48年 8月 至 昭和50年 8月)
五代	仲川幸男	(自 昭和50年 8月 至 昭和53年 8月)
六代	竹田定雄	(自 昭和53年 8月 至 昭和57年 8月)
七代	鎌田道海	(自 昭和57年 8月 至 昭和59年 8月)
八代	小島幸生	(自 昭和59年 8月 至 昭和63年 8月)
九代	生田昇一	(自 昭和63年 8月 至 平成 5年 6月)
十代	木本由孝	(自 平成 5年 6月 至 平成12年 6月)
十一代	田邊一徳	(自 平成12年 6月 至 平成15年 6月)
十二代	渡邊綾子	(自 平成15年 6月 至 平成16年 6月)
十三代	藤井久丈	(自 平成16年 6月 至 平成19年 6月)
十四代	高橋正夫	(自 平成19年 6月 至 平成21年 6月)
十五代	高間專逸	(自 平成21年 6月 至 平成23年 6月)
十六代	相川順子	(自 平成23年 6月 至 平成26年 6月)
十七代	佐野元彦	(自 平成26年 6月 至 平成29年 6月)
十八代	牧田和樹	(自 平成29年 6月 至 令和 2年 6月)
十九代	泉 満	(自 令和 2年 6月 至 現在)

年次別全国大会一覧



回	年月日	場 所	主な協議題等	臨席大臣等	
1	昭和 27.11.27	岩手県東京事務所	高校教育の振興・外		
2	28.6.15	静岡県伊豆山潮音閣	教員給与三本立・外		
3	29.1.15	岩手県東京事務所	全国組織の確立について・外		
4	29.6.15	神奈川県箱根 強羅石倉温泉	高校教育予算の増額・外		
5	30.7.16	山梨県甲府市場村温泉	同上		
6	31.7.30	東京都立九段高等学校	高校設置基準立法化・外	文部大臣	清瀬 一郎
7	32.7.15	群馬県水上温泉去来荘	高校教職員の定数確保・外	文部大臣	松永 東
8	33.7.13～14	岐阜県下呂温泉会館	高校生の育英資本金増額・文部省に高校教育局(課)の設置・外	文部大臣代理 視学官	高山 雅雄
9	34.7.25～26	東京都立九段高等学校	高校危険校舎の改築促進・外	文部大臣	
10	35.8.3～4	鳥取県米子市公会堂	高校生の急増対策・外	文部大臣代理 視学官	鳥巢 道明
11	36.8.3～5	岩手県盛岡市公会堂	高校急増対策建物新・増築費の復活・外 10周年記念式典	文部大臣	
12	37.8.1～3	大分県別府市公民館	高校生の急増対策・外	文部大臣	
13	38.8.23～25	和歌山県白浜町 観光会館	高校生の急増対策・外	文部大臣	灘尾 弘吉
14	39.8.25～27	栃木県黒磯高等学校	昭和40年以後の高校生の進学・就職について・外	文部大臣代理 政務次官	
15	40.7.26～27	北海道札幌市 静修高等学校	大学進学希望者急増対策 文部省に高校教育局(課)設置について・外	文部大臣代理 視学官	
16	41.8.3～5	高知県高知市 高知新聞放送会館	文部省に高校教育局(課)設置・大学進学 急増と大学入試について・外	文部大臣代理 視学官	光定 道次
17	42.8.9～11	東京都 東京文化会館	高校設置・設備のための予算増額・大学入 試の改善について・外	文部大臣	剣木 亨弘
18	43.8.21～22	福島県 福島市公会堂	高校設備・設置に対する国の予算増額・大 学入試の改善・高校PTA活動の推進・外	総理大臣代理 内閣官房副長官 文部大臣	亀岡 高夫 灘尾 弘吉
式典	43.10.15	東京都 東京文化会館	高校教育制度制定 高校PTA発足20周年記念式典	文部大臣代理 政務次官	
19	44.8.25～26	新潟県 新潟県民会館	大学紛争の早期解決・教職員給与の改善・ 教職員定数法の改善・私学の振興	文部大臣代理 初中局長	宮地 茂
20	45.8.25～26	長崎市公会堂	高校教育の振興・教職員の給与の改善・教 育予算の増大・私立学校の振興	文部大臣代理 政務次官	西岡 武夫
21	46.8.25～26	名古屋市 愛知県文化講堂	学校教育振興 国庫補助の増額と公費増大・学級数教員定数 の改善・交通安全	文部大臣代理 文教委員長	師岡 和房 丹波 兵助
22	47.8.24～25	滋賀県 大津市立体育館	必修クラブ費・国庫補助交通安全	文部大臣	稲葉 修
23 式典	48.8.22～24	青森市市民会館	人材確保法・教育費の増額・高校生の生活指 導・定通振興(事故補償)(性教育) 25周年記念式典	文部大臣代理	説田 三郎
24	49.8.20～21	松山市県民会館	教育の正常化・公費の増額・大学入試の改 善・青少年健全育成	文部大臣	奥野 誠亮



回	年月日	場 所	主な協議題等	臨席大臣等	
25	50.8.20～21	札幌市 厚生年金会館	青少年の健全育成・高校教育の充実強化・ 大学入試の改善・社会環境の浄化・PTA活 動の促進	文部大臣代理 社会教育審議官	
26	51.8.19～20	横浜市 県民センター	学校管理下事故補償、大学入試の改善、青 少年の健全育成	文部大臣	永井 道雄
27	52.8.18～19	広島市 公会堂ホール	学校管理下事故補償 大学入試の改善 青少年の健全育成	文部大臣	海部 俊樹
28 式典	53.8.21	福岡市 九電記念体育館	高校新增築、大学入試の改善、学校管理下 事故補償 30周年記念式典	文部大臣代理 社会教育局長	
29	54.8.21～22	金沢市観光会館 (ほか)	PTAの組織と運営、PTAの活動と家庭教 育・新教育課程への公費増額	文部大臣代理 社会教育局長	
30	55.8.27～28	東京都 NHKホール (ほか)	高校教育の充実振興、教育環境の改善・PT Aの組織運営と活動	文部大臣	田中 竜夫
31	56.8.27～28	熱海市 救世会館 (ほか)	PTA活動の充実強化、生涯学習の推進充 実、国際視野を広げる教育の推進	文部大臣	田中 竜夫
32	57.8.24～25	宮城県スポーツセンター (ほか)	生涯学習とPTA活動・新しい高校教育とPT A活動・家庭教育の充実とPTA活動	文部大臣代理 政務次官	玉生 孝久
33	58.8.25～26	神奈川県 東海大学湘南校舎 (ほか)	生涯学習とPTA活動・新しい高校教育とPT A活動・家庭教育の充実とPTA活動・校外 生活指導とPTA活動	文部大臣	
34	59.8.27～28	鹿児島県体育館 (ほか)	高校教育とPTA活動・家庭教育とPTA活 動・校外生活指導とPTA活動・生涯学習とP TA活動	文部大臣代理 社会教育審議官	澤田 道也
35	60.8.28～29	北海道 真駒内競技場 (ほか)	高校教育に密着したPTA活動・家庭の教育 力を高めるPTA活動・生涯学習を進めるPT A活動・校外生活指導とPTA活動	文部大臣代理 政務次官	鳩山 邦夫
36	61.8.28～29	奈良県 中央体育館(ほか)	PTA活動の充実発展について・高校教育の 充実振興とPTA活動・家庭教育の充実とP TA活動・校外生活指導とPTA活動・人権 尊重の教育と豊かな地域づくりを目指すPTA 活動・21世紀を展望した高校教育のあり方	文部大臣代理 社会教育審議官	澤田 道也



回	年月日	場 所	主な協議題等	臨席大臣等	
37	62.8.25～26	徳島県 徳島市立体育館 (ほか)	PTA活動の充実発展・高校教育の振興と青少年の健全育成・家庭教育の確立と充実・地域社会の教育力の拡充・PTAにおける婦人部の活躍	文部大臣代理 政務次官	岸田 文武
38	63.8.25～26	富山県 総合体育センター (ほか)	高校教育の振興・家庭教育の充実・校外生活指導・生涯教育とPTA活動・高校教育PTAのあり方・良き人を目指す高校教育	文部大臣代理 政務次官	船田 元
39	平成元年 8.23～24	青森県 県営スケート場(ほか)	個性の尊重・生涯学習と高校教育・国際化の進展とその対応策・能力・適正・進路の多様化とその対応策・家庭教育・PTAのあり方	文部大臣代理 政務次官	町村 信孝
40 記念	2.8.27～28	東京都日本武道館 (ほか)	高校教育・進路指導・生活指導・家庭教育・社会参加・生涯学習時代とPTA、PTA活動の活性化、父母像と教師像	内閣総理大臣代理 総理府次長 文部大臣	小谷 宏三 保利 耕輔
41	3.8.26～28	三重県営総合競技場 体育館(ほか)	高校教育・進路指導・生活指導・家庭教育・教科外教育活動・「三不運動」その原点とPTAの対応	文部大臣代理 政務次官	中山 成彬
42	4.8.26～28	熊本県立総合体育館 (ほか)	高校教育・進路指導・生活指導・家庭教育・進学・就職問題・学校管理下、外の安全と救済・「生涯学習時代とPTA」パートⅢ	文部大臣代理 政務次官	松田 岩夫
43	5.8.26～28	北海道真駒内 アイスアリーナ	高校教育に密着したPTA活動・家庭の教育力を高めるPTA活動・生涯学習を進める観点からPTA事業のあり方等校外生活指導とPTA活動	文部大臣代理 政務次官	安部 基雄
44	6.8.25～27	大阪府立体育館 (ほか)	家庭・学校・地域社会の連携とともに、家庭を構成する一人ひとりの人権を守り、家庭のあり方を見直す。また、生涯学習時代を迎えて多様化するPTA活動の方向を探る。	文部大臣代理 政務次官	
45	7.8.24～26	コンベックス岡山 (ほか)	新しい教育観に立ち心豊かでたくましい人間性を育む。また、社会変革による教育環境の変化には、克服するべき課題もPTA活動の役割も大きい。	文部大臣代理 政務次官	佐藤 泰介
46	8.8.26～28	新潟市産業 教育振興センター (ほか)	心豊かに創造性をもって平和に生きる青少年を育成するため、個性の伸長、国際社会への貢献、家庭・地域の連携等、今日的課題を協議	文部大臣代理 生涯学習局長	草原 克豪
47	9.8.26～28	山形県総合 スポーツセンター (ほか)	成熟社会を迎えたいま個性を発揮し、しなやかな感性と柔軟な判断力を持ち、一人ひとりがたくましく生きながら豊かな未来を創造する若者を育成するために家庭・学校・地域との連携のあり方を協議した。	文部大臣	小杉 隆



回	年月日	場 所	主な協議題等	臨席大臣等	
48	10.8.26～28	群馬県グリーンドーム 前橋(ほか)	21世紀の我が国を担う、たくましい心身と豊かな人間性、創造力をもった青少年を育てるために、PTAとしていま何をすべきか、特に家庭の教育力の回復、家庭と学校・地域社会との連携の強化等について研究協議した。	文部大臣	有馬 朗人
49	11.8.25～27	岐阜メモリアルセンター (ほか)	21世紀を目指し社会の変化に主体的に対応できる心豊かな若者を育てよう。-そのためにPTA活動はどのようなべきか-等について研究協議した。	文部大臣	有馬 朗人
50 記念	12.8.25～27	日本武道館(ほか)	「PTAの教育実効を強化し発揮する新たな出発点になること」を大テーマとし、真に「子ども達の幸福追求を支援する」団体になろうと誓うこと。	文部大臣	大島 理森
51	13.8.22～24	ワールドコンベンション センター「サミット」(ほか)	青少年が、未来へ夢や目標を抱き「生きる力」を育み、創造的で活力に満ち、心豊かに成長するための今日的課題についての研究討議	文部科学副大臣	岸田 文雄
52	14.8.21～23	旭川大雪アリーナ (ほか)	家庭や地域の「教育力」が大切といわれる今日、次代を担う青少年のためにどう活動すべきか、今後のPTAとしての活動の在り方について研究協議した。	文部科学大臣	遠山 敦子
53	15.8.20～22	ワールド記念ホール (ほか)	次代を担う高校生の「若い芽」を21世紀をリードする人間にいかにして育むか、そのためにPTAが家庭や地域と共に子ども達にどうかかわっていくか、今日的な課題について、研究協議した。	文部科学大臣 政務官	池坊 保子
54	16.8.18～20	香川県高松市 総合体育館(ほか)	次の時代を担い、心豊かで意欲と志をもって未来を切り拓く、「生きる力」もったたくましい青少年の育成が、いま求められている。しかし、青少年をとり巻く社会環境の急激な変化や、社会全体の価値観の多様化の中で子どもたちがおかしなつつある。このような問題を踏まえPTAとしてとり組むべき課題について研究協議した。	文部科学副大臣	稲葉 大和
55	17.8.26～28	長野市ビックハット (ほか)	自立と共生-輝く未来の主役たちのために-をメインテーマに掲げ、若者たちの夢と希望をささえ、家庭と地域の教育力を高め、若い芽の優しさ、たくまさを大きく伸ばすことを願って、私たちPTAが今取り組むべき課題について研究協議した。	文部科学大臣代理 生涯学習政策局	
56	18.8.23～25	秋田市立体育館 (ほか)	今まさに青少年たちを取り巻く環境の激変する中、「夢・可能性・次代を拓き共に生きる力」をテーマに、「私たち親として今何が出来るか」そして「今何を実践すべきか」を研究協議した。	文部科学大臣 政務官	有村 治子
57	19.8.23～25	さいたまスーパーアリーナ (ほか)	夢 希望 彩り豊かに 輝く明日を創造する力をテーマに彩の国・埼玉で全国の仲間を結集し、子供たちの取り巻く環境を真摯に見据えつつ、将来の展望等研究協議した。	文部科学副大臣	池坊 保子
58	20.8.21～23	愛知県名古屋 日本ガイシスポーツプラザ (ほか)	青少年を取り巻く社会環境が変化し、価値観も多様化している。生活の場である家庭・学校・地域社会がその役割と責任を自覚し、支援することが大切であり、親子の絆、地域の絆、人間としての絆を今どう深めるか協議した。	文部科学副大臣	山内 俊夫



回	年月日	場 所	主な協議題等	臨席大臣等	
59	21.8.26～28	沖縄県宜野湾市 沖縄コンベンション センター(ほか)	国際化・情報化の進展や少子高齢化社会到来など急激な社会変化に伴い、学校に求める教育内容も多様化している。思いやりのある豊かな心(チムグクル)を基軸とした教育再生が求められている中、学校・家庭・地域の連携協力と家庭教育の充実について協議した。	文部科学副大臣	山内 俊夫
60	22.8.19～21	日本武道館(ほか)	子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中で求められているものは、柔軟性のある生きる力としての人間力である。これをバランスよく育むために、家庭・学校・地域・社会が連携していくための取り組みを研究討議し、さらに人間力を育てるネットワークの大きな輪を求めた。	文部科学大臣 政務官	高井 美穂
61	23.8.25～26	北海道立総合体育 センター 「北海きたえーる」(ほか)	いのち 輝け!～人・夢・愛 ひたむきに頑張る君たちを応援したい～をテーマに、子どもの命をこの世に送り出したものとして、改めて「いのち」を育み、他人を思いやる心や美しいものに感動する心を培い、社会に貢献できる大人に育てる方策について語り合った。	文部科学大臣 政務官	笠 浩史
62	24.8.23～24	和歌山ビッグホエール 武道・体育センター 和歌山ビッグウエーブ (ほか)	和をもって響き合え!～つれもて広げる 共育の輪～をテーマに、人と人との「つながり」を再確認し、子どもも大人も共に育つ社会をめざして、私たちのできること、私たちがやるべきことは何なのかについて、真剣に研究協議を行った。	文部科学省生涯 学習政策局長	合田 隆史
63	25.8.21～22	山口県スポーツ 文化センター アリーナ(ほか)	夢から志へ～たくましく生きるチカラを育むために、今、私たちができること～をテーマに、子ども達自身が夢を紡ぎ、公に裏付けられた志を育むために地域社会総がかりで教育現場を支える方策を研究討議した。	文部科学大臣	下村 博文
64	26.8.21～23	福井県 サンドーム福井 福井フェニックスプラザ 敦賀市民文化センター (ほか)	教育と考福～未来に引き継ぐ知と恵み～をテーマに「家庭」「学校」「地域」がそれぞれの役割を見つめ直し、ともに学び連携しあうPTA活動の深化を目指して研究討議した。	文部科学大臣	下村 博文
65	27.8.19～21	岩手県 岩手産業文化センター 盛岡市アイスアリーナ (ほか)	未来圏からの風をつかめ!～新時代を担う君たちと共に～をテーマに東日本大震災後、東北初の開催となった。「防災・復興教育」と「情報化社会と教育」を中心に活発な討議がなされた。	文部科学大臣	下村 博文
66	28.8.24～26	千葉県 幕張メッセ(ほか)	「再発見!愛」～今こそ信じよう愛の絆～をテーマに「学校」「家族」「地域社会」の絆を深め、「人を思いやる気持ち」「優しさ」を育む教育について活発な討議がなされた。	文部科学大臣	松野 博一
67	29.8.23～25	静岡県 小笠山総合運動公園 エコパアクトシティ浜松 静岡市民文化会館 (ほか)	「有徳の人づくり」～未来のために行動する「一人」を育てよう～をテーマに子どもたちが高い志、未来を切り開く力を養うための環境を整えることについて研究討議した。	文部科学大臣	林 芳正
68	30.8.19～21	佐賀県 佐賀県総合体育館 佐賀市文化会館 唐津市文化体育館(ほか)	「広めよう 高めよう 慈しむ力」～君たちが作る希望の明日を～をテーマに混迷の時代を生き抜く子どもたちに、慈しむ心を忘れず、希望の明日をつくっていくための環境、PTAの役割について研究討議した。	文部科学大臣 政務官	新妻 秀規
69	令和元年 R1.8.22～23	京都府 「京都市勸業館みやこめッセ」 及び「ロームシアター京都」	「Kyoから! 未来を拓く」～受け継ぎ、創る新たなストーリー～をテーマにこれまでのPTA研修会や研究大会で産み蓄えられた財産をもう一度見つけ直し、子どもたちの健やかな未来を創るためには、どのように考えて何をすればよいのかということについて研究討議した。	文部科学副大臣	永岡 桂子

令和3年度 役員名簿



資料

役職名	氏名	担当	選出枠	県名	備考
会長 (代表理事)	泉 満	総務委員長	中国四国	香 川	
副 会 長	山田 博章	進路対策委員長	理 事 会	和 歌 山	
副 会 長	鎌田美千子	調査広報委員長	理 事 会	宮 城	
専務理事 (業務執行理事)	新井田 寛	賠償責任補償制度運営委員長	理 事 会	北 海 道	
常務理事 (業務執行理事)	中川 徹		全国高等学校長協会		事務局長
理 事 事	中野真衣子	健全育成委員長	理 事 会	神 奈 川	
理 事 事	西川 昌孝		理 事 会	鳥 取	
理 事 事	海東 剛哲	研修委員長	北 海 道	北 海 道	北海道地区会長
理 事 事	田名部智之		東 北	青 森	東北地区会長
理 事 事	米山 賢		関 東	神 奈 川	関東地区会長
理 事 事	内海 潤		東 京	東 京	東京地区会長
理 事 事	堀井 鉄也		北 信 越	富 山	北信越地区会長
理 事 事	関 隆之		東 海	静 岡	東海地区会長
理 事 事	谷口 直樹		近 畿	大 阪 府	近畿地区会長
理 事 事	中東 勢治		中国四国	徳 島	中国四国地区会長
理 事 事	小柳 義則		九 州	長 崎	九州地区会長

代表監事	金田 淳		理 事 会	栃 木	
監 事	黒田 耕作		東 海	愛 知	

顧 問	牧田 和樹		前会長		
相 談 役	佐野 元彦		元会長		
相 談 役	上村 肇		全国高等学校長協会事務局長		



総務委員会		
職名	所属県名	氏名
会長	香川	泉 満
副会長	和歌山	山田 博章
副会長	宮城	鎌田 美千子
専務理事	北海道	新井田 寛
常務理事	事務局長	中川 徹
理事	神奈川	中野 真衣子
理事	鳥取	西川 昌孝
理事	北海道	海東 剛哲

健全育成委員会		
職名	所属県名	氏名
委員長	神奈川	中野 真衣子
委員	北海道	村井 為敦
委員	岩手	大柏 良
委員	千葉	須合 勝雄
委員	東京	藤井 真由美
委員	石川	村井 繁夫
委員	愛知	保永 真生
委員	京都府	鈴木 良彦
委員	愛媛	飛地 明國
委員	大分	和田 俊二

進路対策委員会		
職名	所属県名	氏名
委員長	和歌山	山田 博章
委員	北海道	金井 禪
委員	山形	布施 将英
委員	茨城	木村 光広
委員	東京	樫山 美智子
委員	新潟	脇屋 淳子
委員	三重	中村 誠
委員	和歌山	福田 雄介
委員	鳥根	飯塚 大幸
委員	沖縄	宮里 憲

調査広報委員会		
職名	所属県名	氏名
委員長	宮城	鎌田 美千子
委員	北海道	高橋 憲司
委員	福島	武田 賢一
委員	埼玉	繁田 剛
委員	東京	野間 恵子
委員	長野	丸山 順平
委員	岐阜	加藤 大武
委員	兵庫	原田 康成
委員	香川	千切谷 耕一郎
委員	福岡	渡嘉敷 久志

研修委員会		
職名	所属県名	氏名
委員	北海道	海東 剛哲
委員	鳥取	西川 昌孝
委員	宮城	千葉 真己恵
委員	群馬	山口 明
委員	東京	内海 潤
委員	福井	小林 一朗
委員	静岡	関 隆之
委員	奈良	播島 聰
委員	広島	岡崎 光治
委員	宮崎	脇山 富夫

賠償責任補償制度運営委員会		
職名	所属県名	氏名
委員長	北海道	新井田 寛
委員	北海道	井村 美彦
委員	福島	大和田 修
委員	埼玉	島崎 育夫
委員	東京	事務局長
委員	新潟	岩田 宏樹
委員	岐阜	鈴木 賢治
委員	京都府	北村 元秀
委員	広島	土谷 流廣
委員	佐賀	久保 隆慶



NO	都道府県市高P連名称	事務局所在地	電話・FAX
1	北海道高等学校PTA連合会	〒060-0005 北海道札幌市中央区北5条西6-1 第2北海道通信ビル7F	TEL 011-232-0007 FAX 011-232-0006
2	青森県高等学校PTA連合会	〒030-0113 青森県青森市第二問屋町4-11-6 計量検定グループ庁舎内	TEL 017-757-8586 FAX 017-757-8587
3	岩手県高等学校PTA連合会	〒020-8515 岩手県盛岡市上田3-2-1 岩手県立盛岡第一高等学校内	TEL 019-625-6386 FAX 019-613-7795
4	秋田県高等学校PTA連合会	〒010-0955 秋田県秋田市山王中島町1-1 秋田県生涯学習センター5F	TEL 018-863-6681 FAX 018-863-8360
5	宮城県高等学校PTA連合会	〒983-0836 宮城県仙台市宮城野区幸町4-5-1 宮城県青年会館内	TEL 022-299-4621 FAX 022-352-0538
6	山形県高等学校PTA連合会	〒991-8501 山形県寒河江市大字西根字石川西355 村山総合支庁西村山地域振興局	TEL 0237-85-0070 FAX 0237-85-0072
7	福島県高等学校PTA連合会	〒960-8153 福島県福島市黒岩字田部屋53-5 福島県青少年会館内	TEL 024-545-3368 FAX 024-545-3402
8	茨城県高等学校PTA連合会	〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎3F 茨城県水戸生涯学習センター内	TEL 029-221-1448 FAX 029-231-1660
9	栃木県高等学校PTA連合会	〒320-0066 栃木県宇都宮市駒生1-1-6 栃木県教育会館内	TEL 028-625-1882 FAX 028-622-6327
10	群馬県高等学校PTA連合会	〒371-0801 群馬県前橋市文京町2-20-22 群馬県生涯学習センター内	TEL 027-223-3173 FAX 027-223-3199
11	埼玉県高等学校PTA連合会	〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂2-2-20 かぶらぎビル5A	TEL 048-822-3690 FAX 048-825-3030
12	千葉県高等学校PTA連合会	〒263-0011 千葉県千葉市稲毛区天台町285 千葉県総合スポーツセンター宿泊研修所内	TEL 043-255-0687 FAX 043-255-0681
13	神奈川県立高等学校PTA連合会	〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル9F	TEL 045-641-0337 FAX 045-641-0338
14	山梨県高等学校PTA連合会	〒400-0031 山梨県甲府市丸の内3-33-7 山梨県教育会館内	TEL 055-226-7290 FAX 055-226-7133
15	東京都公立高等学校PTA連合会	〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-29-10 田丸ビル205号	TEL 03-5941-5067 FAX 03-5941-5068
16	新潟県高等学校PTA連合会	〒950-0965 新潟県新潟市中央区新光町10番地3 技術士センタービルII-701	TEL 025-384-8244 FAX 025-384-8288

NO	都道府県市高P連名称	事務局所在地	電話・FAX
17	富山県高等学校PTA連合会	〒930-0018 富山県富山市千歳町1-5-1 富山県教育記念館41号	TEL 076-432-2810 FAX 076-432-1501
18	石川県高等学校PTA連合会	〒920-0918 石川県金沢市尾山町10-5 石川県文教会館内	TEL 076-232-1847 FAX 076-232-1846
19	福井県高等学校PTA連合会	〒918-8135 福井県福井市下六条町14-1 福井県生活学習館2F	TEL 0776-41-4053 FAX 0776-41-4023
20	長野県高等学校PTA連合会	〒380-0935 長野県長野市中御所1-20-1 裾花ビル2F	TEL 026-223-2015 FAX 026-223-2035
21	岐阜県高等学校PTA連合会	〒500-8889 岐阜県岐阜市大縄場3-1 岐阜県立岐阜高等学校内	TEL 058-201-1200 FAX 058-253-0146
22	静岡県公立高等学校PTA連合会	〒420-0853 静岡県静岡市葵区追手町9-18 静岡中央ビル6F	TEL 054-255-4678 FAX 054-255-4699
23	愛知県公立高等学校PTA連合会	〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄1-49-10 愛知県教育会館6F	TEL 052-261-5886 FAX 052-241-7048
24	三重県高等学校PTA連合会	〒514-0002 三重県津市島崎町314 三重県島崎会館2F	TEL 059-223-1881 FAX 059-223-1897
25	大阪府立高等学校PTA協議会	〒540-0022 大阪府大阪市中央区糸屋町2-1-1 三和センチュリービル701号	TEL 06-6809-6440 FAX 06-6809-6445
26	大阪市立高等学校PTA協議会	〒534-0024 大阪府大阪市都島区東野田町4-15-14	TEL 06-6353-9087 FAX 06-6353-9091
27	京都府立高等学校PTA連合会	〒602-8054 京都府京都市上京区西洞院通下立売上ル 京都府庁西別館3F	TEL 075-411-0073 FAX 075-411-0073
28	京都市立高等学校PTA連絡協議会	〒601-8004 京都府京都市南区東九条東山王町27 元山王小学校生涯学習部分室	TEL 075-693-7461 FAX 075-693-7462
29	滋賀県公立高等学校PTA連合会	〒524-0022 滋賀県守山市守山3-12-34 滋賀県立守山中学校・高等学校内	TEL 077-599-0506 FAX 077-599-0506
30	奈良県高等学校PTA協議会	〒635-0015 奈良県大和高田市幸町2-33 奈良県産業会館2F	TEL 0745-44-8670 FAX 0745-44-8670
31	和歌山県高等学校PTA連合会	〒640-8312 和歌山県和歌山市森小手穂136 和歌山県立和歌山東高等学校内	TEL 073-488-7210 FAX 073-488-7786
32	兵庫県公立高等学校PTA連合会	〒650-0012 兵庫県神戸市中央区北長狭通5-5-12 兵庫県土地改良会館内	TEL 078-371-7080 FAX 078-371-0056

NO	都道府県市高P連名称	事務局所在地	電話・FAX
33	神戸市立高等学校PTA連合会	〒658-0032 兵庫県神戸市東灘区向洋町中4-4 神戸市立六甲アイランド高等学校内	TEL 078-858-4000 FAX 078-858-0145
34	鳥取県高等学校PTA連合会	〒680-0846 鳥取県鳥取市扇町21 県民ふれあい会館3F	TEL 0857-27-0730 FAX 0857-27-0739
35	島根県高等学校PTA連合会	〒690-0876 島根県松江市黒田町538	TEL 0852-22-8602 FAX 0852-22-8735
36	山口県公立高等学校PTA連合会	〒753-0072 山口県山口市大手町2-18 山口県教育会館2F	TEL 083-923-4761 FAX 083-923-4785
37	広島県高等学校PTA連合会	〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀11-28 朝日広告社ビル4F	TEL 082-223-3347 FAX 082-223-3351
38	岡山県高等学校PTA連合会	〒703-8258 岡山県岡山市中区西川原251-1 おかやま西川原プラザ別館	TEL 086-230-1213 FAX 086-230-1835
39	徳島県高等学校PTA連合会	〒770-0003 徳島県徳島市北田宮1-8-68 県教育会館2F	TEL 088-678-7775 FAX 088-678-7776
40	香川県高等学校PTA連合会	〒760-0022 香川県高松市西内町7-11 香川県高等学校PTA会館内	TEL 087-851-4614 FAX 087-851-4628
41	愛媛県高等学校PTA連合会	〒790-0801 愛媛県松山市歩行町1-7-4 愛媛県PTA会館内	TEL 089-909-7300 FAX 089-909-7311
42	高知県高等学校PTA連合会	〒780-0972 高知県高知市中万々78 高知県立高知ろう学校内	TEL 088-802-7890 FAX 088-802-7891
43	福岡県公立高等学校PTA連合会	〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-2-4 福岡生活衛生食品会館3F	TEL 092-641-8747 FAX 092-641-8948
44	佐賀県高等学校PTA連合会	〒840-0016 佐賀県佐賀市南佐賀3-11-15 佐賀県立佐賀東高等学校内	TEL 0952-29-2573 FAX 0952-26-5435
45	長崎県公立高等学校PTA連合会	〒852-8014 長崎県長崎市竹の久保町12-9	TEL 095-861-3146 FAX 095-861-3147
46	熊本県公立高等学校PTA連合会	〒860-0844 熊本県熊本市中央区水道町14-21 熊本県婦人会館3F	TEL 096-326-3932 FAX 096-326-5527
47	大分県高等学校PTA連合会	〒870-0951 大分県大分市下郡496-38 大分県教育会館2F	TEL 097-556-5925 FAX 097-556-6035
48	宮崎県高等学校PTA連合会	〒880-0803 宮崎県宮崎市旭1-3-10 県婦人会館2F	TEL 0985-20-8879 FAX 0985-20-8890

NO	都道府縣市高P連名称	事務局所在地	電話・FAX
49	鹿児島県PTA連合会	〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町7-4 自治会館内	TEL 099-206-1072 FAX 099-206-1073
50	沖縄県高等学校PTA連合会	〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-6-1 沖縄県教職員共済会館八汐荘3F	TEL 098-866-6420 FAX 098-866-6429

名称	事務局所在地	電話・FAX
一般社団法人全国高等学校PTA連合会	〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-1 奥田ビル301号	TEL 03-5835-5711 FAX 03-5835-5757



【収入の部】

(単位:円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	対予算増減(A)-(B)	摘 要
参 加 費	66,690,000	67,242,500	△ 552,500	6,500円×10,345人
自 己 財 源	15,700,000	12,808,336	2,891,664	京都府立PTA10,808,336 京都市立PTA2,000,000
近畿地区高P連負担金・補助金	3,000,000	3,000,000	0	近畿地区各府県市負担金2,100,000 同補助金900,000
地 元 補 助 金	7,000,000	7,000,000	0	京都府5,000,000 京都市2,000,000
全 P 連 補 助 金	2,600,000	2,577,766	22,234	
広 告 協 賛 金	4,510,000	5,634,000	△ 1,124,000	広告費、協賛金
雑 収 入	0	230	△ 230	預金利息
収入合計	99,500,000	98,262,832	1,237,168	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	対予算増減(A)-(B)	摘 要	
補助対象経費	報 償 費	1,600,000	908,173	691,827	講演者、コーディネーター、パネリスト他謝礼
	旅 費	400,000	32,604	367,396	講演者等旅費
	需 用 費	7,100,000	8,118,988	△ 1,018,988	大会ポスター、開催案内、大会要項会報会報等 印刷
	役 務 費	31,000,000	32,960,576	△ 1,960,576	会場設営費・撤去費用、映像、参加者登録
	使用料及び賃借料	21,400,000	23,693,677	△ 2,293,677	会場使用料、会場設備使用料
小 計	61,500,000	65,714,018	△ 4,214,018		
補償対象外経費	報 償 費	1,300,000	900,248	399,752	看護師・手話通訳謝礼、アトラクション出演費
	旅 費	1,700,000	1,099,952	600,048	実行委員会委員、各委員会旅費
	需 用 費	2,700,000	1,893,203	806,797	コピー印刷、事務用品、消耗品
	役 務 費	17,000,000	17,046,609	△ 46,609	企画運営管理費、郵送料、ホームページ作成・管理
	使用料及び賃借料	1,300,000	671,870	628,130	実行委員会事務局備品賃借、タクシー借上
	賃 金	6,800,000	6,352,249	447,751	実行委員会事務局賃金等
	会 議 費	1,300,000	1,173,803	126,197	実行委員会、各委員会開催経費
	食 糧 費	2,000,000	1,132,794	867,206	大会スタッフ弁当代
	雑 費	3,400,000	2,278,086	1,121,914	スタッフポロシャツ、保険料他
	予 備 費	500,000	0	500,000	
小 計	38,000,000	32,548,814	5,541,186		
合 計	99,500,000	98,262,832	1,237,168		

$$\begin{array}{rcl} \text{総収入額} & - & \text{総支出額} = \text{差引残額} \\ 98,262,832 & - & 98,262,832 = 0 \end{array}$$

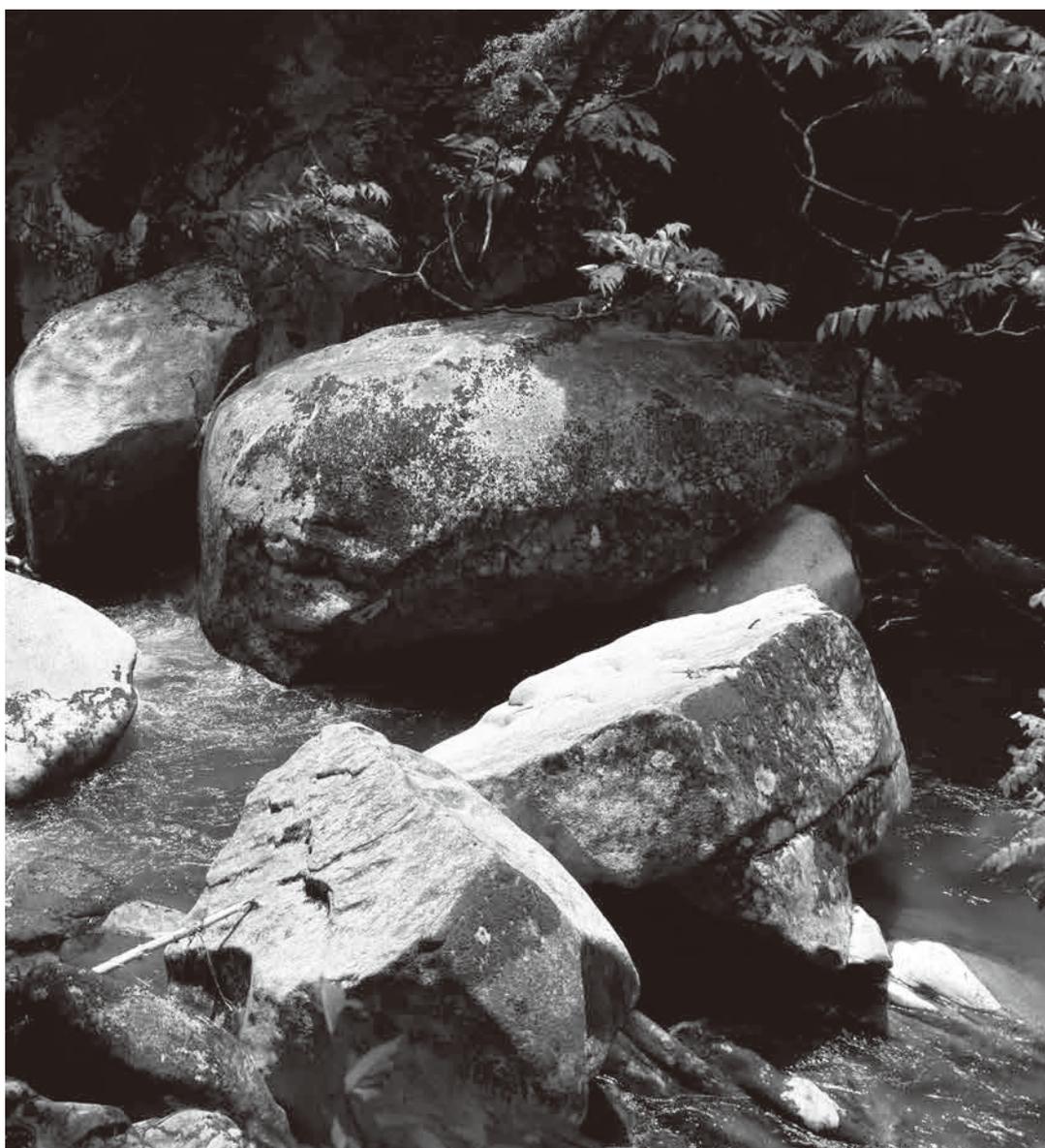
令和2年3月31日

上記のとおり、京都大会決算として報告します。

第69回全国高等学校PTA連合会大会
京都大会実行委員長 奥野貴史



協賛企業



鬼の舌震(奥出雲町)

えん
ご縁づくり

～新たな明日への礎のために～

エールに応える。 親と子の 笑顔を支える。



大学生になると、子どもは親から離れ、
自立への一歩を踏み出す時期です。
親は、心配な気持ちをグッとこらえて、
心の中で精一杯のエールを送ります。
大学生協は、親御さんの想いを受け取り、
学生の皆さんへつなげていくために、
新生活準備や毎日の食事、就職のことなど、
子どもの日々の生活をサポートしていきます。

離れていても
親と子をつなぐ大学生協

全国大学生協同組合連合会(略称:全国大学生協連)には、214の大学生協が加入しており、155万人を超える学生・院生・留学生・教職員が組合員となっています。

志望校を決めたら、まずアクセス!きっと役立つ情報が見つかります!

詳しくはホームページをご覧ください。

〇〇大学生協

検索

<https://www.univcoop.or.jp/> ※志望されている大学名を入れて検索してください。

 UNIV. 全国大学生協同組合連合会
CO-OP

「大学生協についてもっと知りたい」という方は、ここからアクセスできます!



こちらの表紙の冊子をご一読ください。

ハズムチャンネル

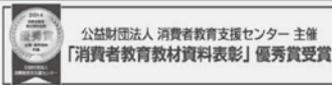


TSK

さんいん中央テレビ

正しく使おう！インターネット 『事例に学ぶ情報モラル』

情報モラル教材 **無料配布** のご案内



中高生版は第9回「消費者教育教材資料表彰」優秀賞を受賞

「情報モラル」の学習にお役立てください

インターネットで起きた実際の炎上事例を題材にしています。問題点を整理しながら「適切なふるまい」や「安全な使い方」を学ぶことができます。

ポイント
1

具体例を挙げ、子供たちが「自分」にも起こりうる事、「自分」が起こしうる事として実感出来る

教材は小学生版（4～6年生）と中高生版の2種類

小学生版



中高生版



※お申し込み時期により、お時間を頂く場合があります
※送料も含めて無料です。

ポイント
2

パワーポイントスライドと、事例などを解説した指導者用手引書、児童・生徒用冊子
教材はパワーポイント（ダウンロード）、指導者用手引書（×1冊）、児童・生徒用冊子（×希望部数）で構成されています

パワーポイントスライド

ダウンロード
・PowerPoint（スライド約30枚）

指導者用手引書

送付（A4判）×1冊
・教材の使い方
・学習のねらい
・ワークシート解説

生徒用冊子

送付（A4判）×希望部数
・ワークシート
・情報モラルチェックシート
・復習

・手引書、冊子は数に限りがありますので、ご希望に添えない場合もあります。あらかじめご了承下さい。
・手引書、冊子はデータでのお届けも選択できます。

お申し込みは
WEBから

「グリー教材」で検索 →

グリー教材

検索

URL
<https://corp.gree.net/jp/ja/sustainability/>

MAIL jp-awareness@gree.net

グリー株式会社

2022年度 新課程「情報 I」スタート！

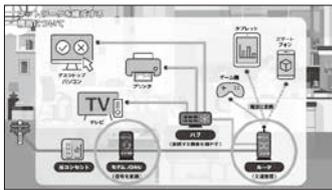
2022年度の高校の新課程スタートに合わせて、
情報教育をサポートするコンテンツをご用意しています。

2022年度発売予定！

「情報活用力」 学習支援教材

(学校団体専用教材)

P* デジタル・
情報活用力
スタディ 学習プログラム



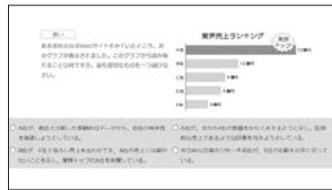
重要なポイントをまとめた動画、
ブラウザだけで実施できるプロ
グラミング教材等、「情報 I」の
学習が丸ごとできる教材です。

2022年度発売予定！

「情報活用力」 定着度確認テスト

(学校団体専用テスト)

P+ デジタル・
情報活用力
プラス+テスト



結果は受検後即確認ができる
完全CBT[※]型テスト。問題解決型
を含む新課程を踏まえた出題
です。 ※CBT… Computer Based Testingの略。
紙での結果返却はありません。

教員専用

情報 I 対策セミナー



「情報 I」に関するオンラインセミナー
を開催。過去の動画は、高校の先生専
用サイト「ハイスクールオンライン」から
無料でご視聴いただけます。

▶ハイスクールオンライン
TOP > 新課程 > 新課程レポート



- ①：新課程「情報」の
内容と課題整理
- ②：先生方と一緒に考える
「情報 I」に向けた準備

お問い合わせ

※ここで紹介の内容は予定であり、予告なく変更する場合があります。

「Pスタディ」「Pプラス」は、現在無料お試し版を受付中です。詳細はこちらをご覧ください。

ベネッセ Pプラス

検索

【高校の先生専用】お客様サービスセンター

TEL

0120-350455 (通話料無料)

受付時間(祝日・年末・年始を除く)
月～金 8:00～18:00 ± 8:00～17:00

祝 第70回全国高等学校PTA連合会大会 島根大会

残念ながら、島根県松江市に訪問できなかった皆様へ!!
コロナ収束後、改めて松江市にお越しくださいね。
この広告をスマートフォン・携帯電話等のカメラで撮った画像を
「堀川遊覧船乗船場」窓口でご提示いただきますと、そのグループ全
員を割引します。
皆様のお越しを心からお待ちしています。

料 金 大人1,500円 ⇒ 1,300円 小人800円 ⇒ 700円

有効期限 令和4年3月31日まで

堀川遊覧船管理事務所

島根県松江市黒田町507-1 TEL(0852)27-0417



島根トヨタグループ
SHIMANE TOYOTA GROUP

島根トヨタ自動車株式会社
トヨタカローラ島根株式会社
トヨタカローラ鳥取株式会社
ネットトヨタ島根株式会社

祝

第70回全国高等学校 PTA 連合会大会

島根大会

2021年「矢上高校と地域の未来をつくる会(コンソーシアム)」を設立し、
高校のますますの魅力化に取り組みを始めました



Shimane Prefectural Yakami High School

島根県立矢上高等学校

矢上高校卒業生会(矢高会)

祝 第70回全国高等学校 PTA 連合会大会

島根大会



島根県立浜田高等学校 PTA

島根県立
浜田高等学校



LIFE IS ART



casa cube
モデルハウス見学
予約受付中

casa cube



斐川ショールーム
8月下旬オープン予定



☎0120-53-3150 [電話受付時間 9:00-17:00]

カナツ建工業株式会社

〒690-0877 島根県松江市春日町642-1

そのまま、わがままも。

<https://www.casa-izumo.com/>

HPIはコチラ



casa izumo

検索

第70回 全国高等学校PTA連合会大会 島根大会

の開催をお喜び申し上げます



株式会社日本旅行 TiS松江支店

〒690-0003 松江市朝日町472-2 JR松江駅構内 TEL 0852-23-3320

祝 第70回全国高等学校PTA連合会大会 島根大会

ぜん観光バス & ZENクレーン

(リフト付きトイレ付き観光バス)

(小型クレーン作業)



TEL 0855-24-8202 (バス・クレーン専用問い合わせ)

(事務所) 〒697-0003 島根県浜田市国分町1819番地22

TEL 0855-28-3901 FAX 0855-24-8203

有限会社 ぜん
代表取締役 前澤 信也



仮設資材のリース・販売、足場工事付きレンタル

ホリオ機械工業株式会社

代表取締役 堀尾 公隆

本社 〒690-0044 松江市浜乃木三丁目2番68号
TEL.0852-26-1818 FAX.0852-26-3838

営業所 松江事務センター・米子営業所・浜田営業所 関連会社 有限会社 ホリックス



<https://horio-rental.co.jp/>

今こそ医療。

学校法人 澤田学園



松江総合医療専門学校

理事長 澤田 勝寛

住所/松江市上大野町2081-4

TEL(0852) 88-3131



神話と信仰そして北前船とジオパークの世界
大山隠岐国立公園 島根半島・宍道湖中海ジオパーク

加賀の潜戸(国指定 名勝・天然記念物) 巡り

潜戸遊覧船 ☎0852-85-9111

サザエごはん お食事処「なぎさ」☎0852-85-3568

キャンプ 海水浴 桂島 ☎0852-85-2902

ジオパーク公認ガイド山田和彦☎090-4140-1032



いつも心にエネルギーを

荒木燃料(株)

代表取締役 石松 俊之

島根県松江市八幡町796-33

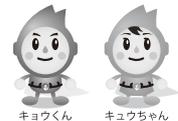
TEL0852-37-1216 FAX0852-37-2491



松江ガス供給株式会社 MATSUE GAS KYOKYU INC.

〒690-0044 島根県松江市浜乃木六丁目10番1号
TEL (0852) 25-3427 FAX (0852) 23-4775

代表取締役 石松 俊之



化学のプロ集団



神戸天然物化学株式会社

KNC Laboratories Co., Ltd.

URL <http://www.kncweb.co.jp>

本社 〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町7-1-19 TEL 078(955)9900 FAX 078(955)9901
出雲工場 〒693-0043 島根県出雲市長浜町1372-12 TEL 0853(28)8893 FAX 0853(28)8033

祝 第70回全国高等学校PTA連合会大会 島根大会



島根県立浜田商業高等学校

・商業科 ・情報処理科

〒697-0062 島根県浜田市熱田町675番地
TEL 0855-27-0064 FAX 0855-27-2440(職員室)
0855-27-2841(事務室)

ホームページ:<https://www.shimane-hamasho.ed.jp/>

PTA会長 前澤 信也

強い精神を育む坐禅体験
団体研修 承ります



一畑薬師

いち ばた やく し

祈祷 坐禅 写経 法話 永代供養

電話0853-67-0111 ichibata.jp



地質から地域を見渡し、水資源で地域を興す

協和地建コンサルタント株式会社

代表取締役社長 石倉 昭和

松江市東津田町1326-1 TEL0852-21-0411

<http://kyouwacc.com/>

船舶の設計・建造・修理、海洋構造物・鋼構造物の設計・製造・設置・修理



有限会社

福島造船鉄工所

本社 松江市御手船場町561番地 TEL(0852)21-6286代

森山工場 松江市美保関町森山22-1 TEL(0852)72-3535

第2森山工場 松江市美保関町下字部尾1122 TEL(0852)72-2323

<http://fukuship.co.jp>

新たな価値の創造を目指して



JETSYSTEM

JAPAN ELECTRIC TECHNOLOGY SYSTEM CO.,LTD

〒690-0038 島根県松江市平成町182-7

TEL|0852-27-3930 |FAX|0852-27-3969

HPはこちら <https://www.jetssystem.co.jp/>



輸入車のことならプラチナ


platinum®

株式会社プラチナ

代表取締役 内田雄之




MNOQ
Kozo x Design

基本理念：「誠実」「确实」「スピード」がモットー
お客様に信頼・選ばれる代理店をめざし取り組んでまいります。



有限会社 コテラ総合保険

代表取締役 小寺 武三

住所／ 浜田市下府町496番地1

TEL. 0855-28-2121

[http:// www.kotera.co.jp](http://www.kotera.co.jp)

床下調湿木炭

炭  八

 出雲屋炭八

地域のために魅力を創造する

imACS

イマックス株式会社



〒693-0066 島根県出雲市高岡町 166-1
TEL : 0853-21-0009 FAX : 0853-23-1065



イマックス株式会社は、水道施設工事 給排水衛生・空調設備工事の設計、施工及びメンテナンスを通して、地域のライフラインを衛事業を行っています。



いづもソラリエ
出雲 SOLARiE
Izumo SOLAR infinite energy

アイ・ねっと株式会社

いづもソラリエ
『出雲SOLARiE 1000年の森づくり』事業を通して、
出雲北山山系の環境整備に貢献しています。

国内・海外の旅

近畿日本ツーリスト特約店
（社）全国旅行業協会 正会員
島根県知事登録旅行業第2-22号

KYT (株)安来旅行

代表取締役 小川 直明

〒692-0011 島根県安来市安来町1966-22番地
☎(0854)22-5252(代) FAX(0854)22-5293
E-mail: tabi@hal.ne.jp

「お客さま」を思い、「人」を思う。

ハートフルマインド・カンパニー

日新火災海上保険株式会社

島根サービス支店

〒690-0887 島根県松江市殿町516 山陰鴻池ビル4F
TEL:0852-22-3525

<https://www.nisshinfire.co.jp/>

建築石材・墓石・記念碑などの石材総合商社

株式会社 石販

www.sekihan.net

出雲市斐川町学頭3389-1
東京事務所・中国廈門事務所(福建省)

やりたいことを
見つける幸せ。



岡山商科大学

最新のトピックスは商大ブログで！



和・洋菓子用パッケージの専門メーカー

株式会社 パッケージ"中澤

本社・工場 〒690-0021 島根県松江市矢田町250番地2
TEL (0852)24-0123(代) FAX (0852)26-8114

中筋グループ

(株)中筋組 まるなか建設(株)

(株)ナカサン (株)中筋商事

(株)エステック (株)かみありづき

(有)中筋ファーム



かもと 整形外科クリニック

心療科・整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:45~12:15	○	○	○	△	○	8:45 }
14:30~18:00	○	○	○	△	○	14:00

休診日:木曜・日曜・祝日 ☎21-6633
電話予約あり 送迎サービスあり

法人名:医療法人古沢整形外科
理事長:古沢正治 院長:嘉本慎也

健全経営の推進・租税正義の実現

有限会社松江会計事務所

取締役社長・公認会計士・税理士 福田 龍太

住所 松江市黒田町435番地7 TEL0852-25-2301
URL <http://matue-kaikei.tkcfnf.com>

水処理施設 設計・施工/環境装置メンテナンス
給排水衛生設備/各種プラント

林産業株式会社

代表取締役 林 和弘

出雲市灘分町2281番地2

TEL(0853)62-1144 FAX(0853)62-1145



松江市東本町1-34 TEL(0852)25-6089

山陰では数少ない牛たん料理専門店です。
店内は禁煙で2名様より個室対応、快適に
お楽しみいただけます。



全力!
お役立ち
宣言!!



お金のことなら
なんでもお気軽に
ご相談ください!

サクッと カンタン! ネットで!
+ 仮申込み +



ローンが組めるかどうかカンタンにご確認いただけます!

中国労働金庫

<https://www.chugoku.rokin.or.jp/>

有限会社 川津商会 ◆図書教材

〒690-0826 松江市学園南 1-11-17 ◆備 品

TEL/FAX (0852)21-3695 /31-0033 ◆教育心理検査

中華蕎麦 獎 津田本店

松江市東津田町1133(西松屋さん隣) TEL:0852-23-8840

(株)奥出雲社中



総合防災設備・設計・施工・保守

長谷川防災合同会社

〒690-0021 島根県松江市矢田町209-8
TEL・FAX 0852-78-2101

サンベ電気株式会社

代表取締役 安達 昌

松江市西津田十丁目13番36号 TEL0852-27-1008

ヒラタ工業株式会社

代表取締役社長 三好 洋平

島根県出雲市西代町1000番地の1 TEL(0853)63-0880(代)

OA機器、事務用品、オフィス家具、医療施設用家具、福祉施設用家具、PC関連
学校教材、オフィスレイアウト、デザインetc.

オフィス空間創造企業

Space Creation Company 〒690-0011
株式会社 太閤堂 松江市東津田町398-1
TEL 0852-21-3234
URL:<http://www.taikodo.com>





利弘健公認会計士・税理士事務所
ストラテジープロッツ合同会社



〒690-0001 松江市東朝日町151-34 東朝日町イトビル Tel:0852-61-5333

SHOEI
松栄印刷有限会社

事務機・紙・文具・OFFICE家具・OA印刷機リソグラフ



株式会社 **大川清風堂**

〒697-0023 浜田市長沢町319-1 TEL (0855) 23-2456・FAX23-2116



株式会社 **岩田印刷**

代表取締役 小藤 芳明

安来市安来町677-3 TEL 0854-22-0260



学校法人 大阪滋慶学園

出雲医療看護専門学校

3年制

- 看護学科
- 理学療法士学科
- 臨床工学技士学科

2年制

- 医療総合学科
- 臨床工学技士専攻科
(認可申請中)

1年制

〒693-0001 島根県出雲市今市町1151-1 (出雲市駅より徒歩6分)

☎ **0120-868-123**

食物学科 児童学科 社会福祉学科 栄養学科 幼児教育学科



食と子どもと福祉!
美作大学・美作大学短期大学部

〒708-8511 岡山県津山市北園町50



0868-22-5570



0868-23-6936



kouhou@mimasaka.ac.jp



https://mimasaka.jp/



元気で幸せな社会をつくるために人・物・心を動かす
先進的な技術と感動サービスを提供します



株式会社**バイタルリード**

代表取締役 森山 昌幸

島根県出雲市荻村町247-2

☎ 0853-22-9690 www.vitallead.co.jp

山陰冷暖株式会社

代表取締役 高橋 章

住所/出雲市今市町840番地3 TEL(0853)21-3415



マツダオートザム松江

0852-39-0789

松江市西尾町20-1



今岡工業株式会社

島根県出雲市塩冶神前2丁目8番16号

TEL(0853)23-7778 FAX(0853)22-5959



CSA www.raiden.co.jp

株式会社シーエスエー

代表取締役社長 和田 正志

御 礼

第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会開催にあたり
協賛金をお寄せいただいた企業様、団体様に心よりお礼を申し上げます。
ありがとうございました。

島根県高等学校PTA連合会

島根大会オンライン配信のご案内

○令和3年8月25日(水)のオンライン配信

全体会は、会場からオンラインライブ配信します。

分科会は、前撮りしたものをオンライン配信します。

各分科会の所要時間は、アトラクション20分、基調講演・協議150分が基準

(第2分科会は、アトラクション20分、基調講演60分)

○オンラインアーカイブ配信について

大会終了後、分科会は12月31日(金)までアーカイブを視聴できます。

全体会についても、大会終了後何日かを経て、12月31日(金)までアーカイブを視聴できます。

○動画配信ページ(パスコード付き)

動画配信ページには、大会HPのバナーまたは次のURL、QRコードから入ることができます。また、大会までには分科会ごとの動画ページに直接アクセスできるURLとQRコードをお知らせいたしますので、こちらをご利用いただけますようお願いいたします。(全体会については、大会終了を経てしばらくして、動画配信ページに直接アクセスできるURLとQRコードをお知らせいたします。)

大会サイト動画配信ページURL

https://mtg.shimakp.jp/shimane_deliveryvideo

大会サイト動画配信ページURL



※注意

動画は、YouTubeで配信いたします。大会HP上でご覧になると、アクセスが多くなり正常に作動することが出来なくなる恐れがあります。YouTubeへ直接リンク(画面左下の『見る▷YouTube』をクリック)よりご覧ください。

○その他

大会までに、大会HPから動画配信ページにアクセスする導入図を作成しお届けできるように計画しております。



島根県高等学校 PTA 連合会

高校生総合保障制度

(こども総合保険)

有限会社メイジは

保険を通じて皆さまに安心をお届けできるよう、誠心誠意ご提案とサポートをいたします。

お客様の立場に立ち、常に感謝の気持ちを持って対応します。

コンプライアンスを重視します。

地域社会に貢献し、お客さまと共に発展することを目指します。

最新・最良の商品とサービスを提供するため、自己研鑽に努め成長します。



担当代理店



TEL.0120-001-230 (通話料無料)

〒699-0631 出雲市斐川町直江 4888-4

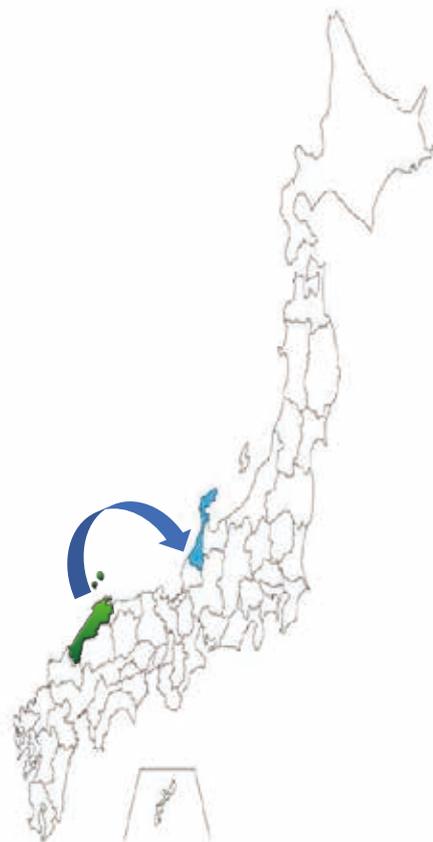
<https://www.meiji-hokenclub.co.jp>

NEXT → 石川県

「輝く未来への礎」

いしずえ
～親から始める新時代の教育～

2022年8月25日(木) ▶ 26日(金)



表紙イラスト

島根県立矢上高等学校 美術部3年 河手 風雅
「しまねにおいでよ！」

画面全体に島根県の伝統や文化、特産品を描きにぎわいを表現することで明るい絵にしました。たくさん色で細かく描き、どこを見ても楽しめるようになっています。イラストから島根県の魅力を知っていただき、たくさん興味を持っていただけると嬉しいです。

(クイズ: 絵の中に島根県各地に伝説のある河童がいます。何匹いるでしょう? 答えは、目次のページにあります)